

※令和6年9月25日修正（修正箇所赤字）

徳島大学

2025



令和7年度

入学者選抜要項

総合科学部

医学部

歯学部

薬学部

理工学部

生物資源産業学部

- 「入学者選抜要項」は、本学が実施する選抜の基本的な内容を記載しています。各選抜の詳細な内容については、必ず各選抜の「**学生募集要項**」で確認してください。なお、学生募集要項は、本学ホームページ上でのみ公表します。
- 本学は、全選抜においてインターネット出願となっています。

本学ホームページ受験生サイト（<https://www.tokushima-u.ac.jp/admission/>）



令和7年度入学者選抜実施日程

【大学入学共通テストを課す選抜】

区分	実施学部等	出願受付期間	第1段階選抜 (実施する場合)	入学試験日	合格者発表日	入学手続期間
一般選抜	前期日程 全学部	令和7年1月27日(月) ～2月5日(水)	令和7年2月12日(水) 医学部医学科、 歯学部歯学科、薬学部	令和7年2月25日(火) 医学部医学科・医科栄養学科、 歯学部歯学科、薬学部、 生物資源産業学部は 2月25日(火)・26日(水)	令和7年3月7日(金) 14時	令和7年3月8日(土) ～3月15日(土)
	後期日程 全学部 ※医学部医学科・医科栄養学科・ 保健学科検査技術科学専攻、理工 学部(夜間主)を除く。		令和7年2月28日(金) 歯学部歯学科、薬学部	令和7年3月12日(水)	令和7年3月21日(金) 14時	令和7年3月22日(土) ～3月27日(木)

区分	実施学部等	出願受付期間	第1次選考	第2次選考	合格者発表日	入学手続期間
総合型選抜	医学部医学科	令和6年10月18日(金) ～10月25日(金)	令和6年11月15日(金)	令和6年11月23日(土) ※選考結果通知:令和6年12月20日(金)	令和7年2月12日(水) 16時	令和7年2月13日(木) ～2月19日(水)
学校推薦型 選抜Ⅱ	全学部 ※理工学部(夜間主)を除く。	令和7年1月21日(火) ～1月24日(金)	令和7年2月6日(木) ※医学部保健学科、生物資源産業学部を除く。	令和7年2月9日(日) ※生物資源産業学部を除く。		

【大学入学共通テストを課さない選抜】

区分	実施学部等	出願受付期間	第1次選考 (実施する場合)	入学試験日	合格者発表日	入学手続期間
学校推薦型 選抜Ⅰ	総合科学部	令和6年11月5日(火) ～11月11日(月)	令和6年11月15日(金) 理工学部(昼間)(次世代光フロン ティア入試)、生物資源産業学部	令和6年11月23日(土) 令和6年11月21日(木)・ 22日(金)	令和6年12月20日(金) 14時	令和7年2月13日(木) ～2月19日(水)
	医学部医科栄養学科		令和6年11月22日(金)			
帰国生徒選抜	総合科学部			令和6年11月23日(土)		
社会人選抜	総合科学部 医学部保健学科看護学専攻、 理工学部(夜間主)			令和6年11月23日(土) 令和6年11月22日(金)		

区分	実施学部等	出願受付期間	入学試験日	合格者発表日	入学手続期間
私費外国人 留学生選抜	総合科学部、生物資源産業学部	令和6年12月3日(火) ～12月20日(金)	令和7年2月9日(日)	令和7年3月7日(金) 14時	令和7年3月8日(土) ～3月15日(土)
	医学部医学科・保健学科、薬学部		令和7年2月25日(火)		
	歯学部歯学科		令和7年2月25日(火)・26日(水)		
	理工学部(昼間)		令和7年2月14日(金)		

理念・目標

<理念>

国立大学法人徳島大学は、自主と自律の精神に基づき、真理の探究と知の創造に努め、卓越した学術及び文化を継承し向上させ、世界に開かれた大学として、豊かで健全な未来社会の実現に貢献する。

<目標>

- 【教 育】** 1. 学生が志をもって学び、感じ、考え、生涯にわたって学び続ける知と実践にわたる体系的な教育を行う。
 2. 自律して人類の諸問題の解決に立ち向かう、進取の気風を身につけた人材の育成を行う。
- 【研 究】** 1. 自由な発想により真理を探究する研究を行う。
 2. 人類の問題を解決する研究を行う。
 3. 研究成果を社会に迅速に還元し、国際及び地域社会の平和な発展に貢献する。
- 【社会貢献】** 1. 地域社会と世界を結ぶ知的なネットワークの拠点となり、平和で文化的な国際社会と活力ある地域社会を構築する。
 2. 産官学の組織と連携し、社会の発展基盤を支える拠点となり、大学の開放と社会人の学び直しを支援し、地域社会に新産業を創出することに貢献する。

目 次

共 通 事 項	1	社 会 人 選 抜	56
1 入学者選抜の概要	1	1 募集人員及び出願資格	56
2 募集人員	1	2 選抜方法	56
3 各選抜の実施方法	2	私費外国人留学生選抜	58
4 障がい等のある入学志願者との事前相談	4	1 募集人員	58
5 入試過去問題の使用	4	2 出願資格	58
6 大規模自然災害により被災した 入学志願者の検定料免除	5	3 選抜方法	61
7 検定料の返還	5	入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	62
8 学生募集要項等の入手・請求方法	5		
一 般 選 抜	6		
1 募集人員	6		
2 出願資格	6		
3 選抜方法	7		
総 合 型 選 抜	25		
1 募集人員	25		
2 出願要件及び選抜方法等	25		
学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅰ	28		
1 募集人員及び推薦人員	28		
2 推薦要件及び選抜方法等	29		
学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅱ	37		
1 募集人員及び推薦人員	37		
2 推薦要件及び選抜方法等	38		
帰 国 生 徒 選 抜	55		
1 募集人員	55		
2 出願資格	55		
3 選抜方法	55		

個人情報取扱

- (1) 出願書類等に記載された氏名、生年月日、その他の個人情報については、入学者選抜、合格通知及び入学手続等の入試業務を行う目的をもって、本学が管理します。
また、同情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍管理、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金、就職支援等）、授業料等に関する業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析、入学者選抜方法の調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）及び学生支援関係業務（授業料免除、奨学金等）のために利用します。
- (3) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限り、合否及び入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に通知します。

教科・科目名等の略称について

大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力検査の出題教科・科目等名及び出願資格の履修教科・科目等名について、略称を用いる場合は、次のように表記します。

教科名	科 目 名
国語→国	国語→国
地理歴史→地歴	「地理総合，地理探究」→「地理」「歴史総合，日本史探究」→「日」「歴史総合，世界史探究」→「世」 「公共，倫理」→「倫」「公共，政治・経済」→「政経」 「地理総合 / 歴史総合 / 公共」→「地理 / 歴史 / 公共」
公民→公民	「旧世界史A」→「旧世A」「旧世界史B」→「旧世B」「旧日本史A」→「旧日A」「旧日本史B」→「旧日B」 「旧地理A」→「旧地理A」「旧地理B」→「旧地理B」 「旧現代社会」→「旧現社」「旧倫理」→「旧倫」「旧政治・経済」→「旧政経」「旧倫理，旧政治・経済」→「旧倫・政経」
数学→数	「数学Ⅰ，数学A」→「数Ⅰ・数A」「数学Ⅱ，数学B，数学C」→「数Ⅱ・数B・数C」 「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」「数学Ⅲ」→「数Ⅲ」 「数学A」→「数A」「数学B」→「数B」「数学C」→「数C」 「旧数学Ⅰ」→「旧数Ⅰ」「旧数学Ⅰ・旧数学A」→「旧数Ⅰ・旧数A」「旧数学Ⅱ」→「旧数Ⅱ」 「旧数学Ⅱ・旧数学B」→「旧数Ⅱ・旧数B」 「旧簿記・会計」→「旧簿」「旧情報関係基礎」→「旧情基」
理科→理科	「物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎」→「理基礎」 「物理基礎」→「物基」「化学基礎」→「化基」「生物基礎」→「生基」「地学基礎」→「地学基礎」 「物理」→「物」「化学」→「化」「生物」→「生」「地学」→「地学」
外国語→外	「英語」→「英」「ドイツ語」→「独」「フランス語」→「仏」「中国語」→「中」「韓国語」→「韓」
情報→情	情報Ⅰ→情Ⅰ 旧情報→旧情
総合問題→総合	総合問題→総合
高等学校学習指導要領に基づく教育課程について、略称を用いる場合は、次のように表記します。	
平成30年文部科学省告示第68号の高等学校学習指導要領（以下「新指導要領」という。）に基づく教育課程	新教育課程
平成21年文部科学省告示第34号の高等学校学習指導要領に基づく教育課程	旧教育課程

共 通 事 項

1 入学者選抜の概要

本学では、令和7年度入学者選抜として一般選抜を実施するほか、総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生徒選抜、社会人選抜及び私費外国人留学生選抜を行います。学校推薦型選抜では、大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜Ⅰ（推薦Ⅰ）及び大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜Ⅱ（推薦Ⅱ）を実施します。

2 募 集 人 員

(単位：人)

学部・学科等		入学定員	募 集 人 員								
			一 般 選 抜		総合型 選 抜	学校推薦型選抜		帰国生徒 選 抜	社会人 選 抜	私費外国 人留学生 選 抜	
			前 期 日 程	後 期 日 程		推薦Ⅰ	推薦Ⅱ				
総合科学部	社会総合科学科	170	85	20	/	20	45	若干	若干	若干	
医学部	医 学 科	100	55	/	8	/	37	/	/	若干	
	医科栄養学科	50	25	/	/	12	13	/	/	/	
	保健 学科	看護学専攻	70	40	10	/	/	20	若干	若干	
		放射線技術専攻	37	21	8	/	/	8	/	若干	
		検査技術専攻	17	12	/	/	/	5	/	若干	
	学 部 計		274	153	18	8	12	83	/	/	/
歯学部	歯 学 科	40	24	6	/	/	10	/	/	若干	
	口腔保健学科	15	5	5	/	/	5	/	/	/	
	学 部 計		55	29	11	/	/	15	/	/	/
薬学部	薬 学 科	80	50	20	/	/	10	/	/	若干	
理工学部	理工学科(昼間)	580	315	92	/	15	158	/	/	/	
	履 修 コ ー ス	数理科学コース	(30)	(19)	(5)	/	/	(6)	/	/	若干
		自然科学コース	(34)	(20)	(5)	/	/	(9)	/	/	若干
		社会基盤デザインコース	(79)	(41)	(12)	/	(2)	(24)	/	/	若干
		機械科学コース	(108)	(59)	(22)	/	(2)	(25)	/	/	若干
		応用化学システムコース	(78)	(37)	(15)	/	(2)	(24)	/	/	若干
		電気電子システムコース	(98)	(61)	(13)	/	(2)	(22)	/	/	若干
		知能情報コース	(74)	(40)	(10)	/	(1)	(23)	/	/	若干
		光システムコース	(49)	(23)	(10)	/	(6)	(10)	/	/	若干
	医光/医工融合プログラム		30	15	/	/	/	15	/	/	/
	理工学科(夜間主)	45	45	/	/	/	/	/	/	/	
	履 修 コ ー ス	社会基盤デザインコース	(10)	(10)	/	/	若干	/	若干	/	/
		機械科学コース	(10)	(10)	/	/	若干	/	若干	/	/
		応用化学システムコース	(5)	(5)	/	/	若干	/	若干	/	/
電気電子システムコース		(10)	(10)	/	/	若干	/	若干	/	/	
知能情報コース		(10)	(10)	/	/	若干	/	若干	/	/	
生物資源 産業学部	生物資源産業学科	100	44	22	/	12	22	/	/	若干	
合 計		1,304	721	183	8	59	333	/	/	/	

- (注) 1 総合型選抜及び学校推薦型選抜の合格者が募集人員に満たない場合は、不足人員を一般選抜で補充します。
 2 推薦Ⅰ、帰国生徒選抜、社会人選抜及び私費外国人留学生選抜の募集人員「若干人」は、募集する学科・専攻・コースにおいて、原則として一般選抜前期日程の募集人員に含まれます。
 3 理工学部理工学科の()内の数は、各コースの受入人員の目安です。
 4 医学部医学科の募集人員は、現在調整中です。確定次第、本学ホームページ等でお知らせします。
 5 理工学部理工学科(夜間主)の入学定員及び募集人員は、30人とするよう調整中です。https://www.tokushima-u.ac.jp/fs/4/4/0/4/0/7/_/R7riko_hennkou.pdf

3 各選抜の実施方法

(1) 一般選抜

学部・学科等	選抜方法等	前期日程				後期日程								備考 (欠員の補充方法等)		
		募集人員	個別学力検査等			募集人員	個別学力検査等						2段階選抜 (①得点率 ②倍率)			
			個別学力検査を課す	面接を行う	志願理由書を課す		個別学力検査を課す	面接を行う	集団討論を行う	小論文を課す	志望理由書を課す	志望調書を書く				
総合科学部	社会総合科学科	85人	○	-	-	-	20人	-	-	-	○	-	-	-		
医学部	医学科※	55人	○	○	-	①900点満点中 600点以上 ②5倍 ^(注1)										
	医科栄養学科	25人	○	○	-	-										
	保健学科	看護学専攻	40人	○	○	-	-	10人	-	○	○	○	-	-	-	
		放射線技術専攻	21人	○	○	-	-	8人	-	○	-	○	-	-	-	
		検査技術専攻	12人	○	-	○	-									
歯学部	歯学科	24人	○	○	-	②8倍 ^(注2)	6人	-	○	-	○	-	-	②25倍 ^(注2)	追加合格、場合により欠員補充第2次募集	
	口腔保健学科	5人	○	○	-	-	5人	-	○	-	-	-	-	-		
薬学部	薬学科	50人	○	○	-	②5倍 ^(注3)	20人	○	○	-	-	○	-	①750点満点中 500点以上 ②10倍 ^(注4)		
理工学部※	理工学科(昼間)	315人					92人									
	履修コース	数理科学コース(19人)						(5人)								
		自然科学コース(20人)						(5人)								
		社会基盤デザインコース(41人)						(12人)								
		機械科学コース(59人)	○	-	-	-		(22人)	○	-	-	-	-	○	-	
		応用化学システムコース(37人)						(15人)								
		電気電子システムコース(61人)						(13人)								
		知能情報コース(40人)						(10人)								
		光システムコース(23人)						(10人)								
	医光/医工融合プログラム	15人														
理工学科(夜間主)	45人															
履修コース	社会基盤デザインコース(10人)															
	機械科学コース(10人)	○	-	-	-											
	応用化学システムコース(5人)															
	電気電子システムコース(10人)															
	知能情報コース(10人)															
産業生物資源学部	生物資源産業学科	44人	○	○	-	-	22人	○	-	-	-	-	-	-		

(注1) 医学部医学科(前期日程)の試験実施に当たっては、大学入学共通テストの成績において、本学科の指定する各科目の合計点が600点(配点合計900点満点)に達していない場合は、2段階選抜を実施します。また、600点以上に達していても入学志願者数が募集人員の上記に定める倍率を超えた場合には、2段階選抜を実施することがあります。

(注2) 歯学部歯学科の試験実施に当たっては、入学志願者数が募集人員を大幅に上回り、上表に示す倍率を超えた場合は、2段階選抜を実施することがあります。

(注3) 薬学部(前期日程)の試験実施に当たっては、入学志願者数が募集人員の5倍を超えた場合は2段階選抜を実施することがあります。

(注4) 薬学部(後期日程)の試験実施に当たっては、大学入学共通テストの成績において、本学部の指定する各科目の合計点が500点(配点合計750点満点)に達していない場合は、2段階選抜を実施します。また、500点に達していても入学志願者数が募集人員の10倍を超えた場合は、2段階選抜を実施することがあります。

※理工学部理工学科の募集人員の()内の数は、各コースの受入人員の目安です(次ページの表も同じ)。

※医学部医学科の募集人員は、現在調整中です。確定次第、本学ホームページ等でお知らせします。

※理工学部理工学科(夜間主)の募集人員は、30人とするよう調整中です。https://www.tokushima-u.ac.jp/fs/4/4/0/4/0/7/_/R7riko_hennkou.pdf

(2) 総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生徒選抜、社会人選抜、私費外国人留学生選抜

学部・学科等		選抜方法等			学校推薦型選抜								帰国生徒	社会人	私費外国人留学生			
		総合型選抜			推薦Ⅰ				推薦Ⅱ									
		募集人員	選抜方法等		募集人員	選抜方法等			募集人員	選抜方法等								
面接を行う	総合討論を課す		面接を行う	集団討論を課す		小論文を課す	面接を行う	集団討論を課す		論文提出を課す	述下討論を課す							
総合科学部	社会総合科学科				20人 活動実績重視型 15人	英語能力重視型 5人	○	-	○	45人 6(7)教科型 30人	4教科型 15人	○	-	-	若干人	若干人	若干人	
医学部	医学科(注1)	8人	○	○						37人 一般枠 20人	地域枠 17人	○	○	-			若干人	
	医科栄養学科				12人		○	○	-	13人		○	-	-				
	保健学科	看護学専攻									20人		○	○	-		若干人	若干人
		放射線技術科学専攻									8人		○	-	-			若干人
検査技術科学専攻										5人		○	-	-			若干人	
歯学部	歯学科									10人		○	○	-			若干人	
	口腔保健学科									5人		○	○	-				
薬学部	薬学科									10人 ※1 5人	※2 5人	○	-	○			若干人	
理工学部	理工学科(昼間)(注2)				15人					158人								
	履修コース	数理科学コース				-					(6人)							
		自然科学コース				-					(9人)							
		社会基盤デザインコース				(2人)					(24人)							
		機械科学コース				(2人)		○	-	-	(25人)		○	-	-			若干人
		応用化学システムコース				(2人)					(24人)							
		電気電子システムコース				(2人)					(22人)							
		知能情報コース				(1人)					(23人)							
		光システムコース				(1人) (5人)※3					(10人)							
	医光/医工融合プログラム									15人								
理工学科(夜間)				若干人														
履修コース	社会基盤デザインコース				若干人												若干人	
	機械科学コース				若干人		○	-	-									
	応用化学システムコース				若干人													
	電気電子システムコース				若干人													
	知能情報コース				若干人													
産業生物資源学部	生物資源産業学科				12人 ※4 2人	※5 4人	※6 6人		○	-	○	22人	-	-	-		若干人	

共通事項

※1 創薬研究者育成型(長井枠)

※2 先導的地域医療薬剤師育成型(地方貢献枠)

※3 次世代光フロンティア入試

※4 専門高校・総合学科全国枠

※5 専門高校・総合学科地域枠

※6 地域産業振興枠

(注1) 医学部医学科については、現在調整中です。確定次第、本学ホームページ等でお知らせします。

(注2) 理工学部理工学科の学校推薦型選抜における推薦の要件のうち、「専門教育を主とする学科に在籍する者」に係る「情報に関する科目」の新旧対照表は、次のとおりです。

学科名	課程	新課程	旧課程
工業に関する学科		工業情報数理	工業数理基礎
			情報技術基礎
商業に関する学科		情報処理	情報処理
水産に関する学科		海洋情報技術	海洋情報技術
家庭に関する学科		生活産業情報	生活産業情報
農業に関する学科		農業と情報	農業情報処理
看護に関する学科		看護情報	看護情報活用
情報に関する学科		情報産業と社会	情報産業と社会
			情報と問題解決
福祉に関する学科		福祉情報	福祉情報活用

4 障がい等のある入学志願者との事前相談

「大学入学共通テスト受験上の配慮」に準ずる配慮及び修学上の配慮を必要とする場合は、次のとおり入試課に申し出てください。

申請後、入試課から回答文書を送付しますので、出願する際は写しを出願書類と併せて提出してください。

※「大学入学共通テスト受験上の配慮」に申請した場合にも、本学の受験にあたって申請が必要です。

(1) 時期

相談内容によっては対応に時間を要することもあるため、出願前のできるだけ早い時期に相談してください。

選 抜 区 分	時 期
総合型選抜	令和6年10月11日(金)まで
学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない)	令和6年10月28日(月)まで
帰国生徒選抜	
社会人選抜	
私費外国人留学生選抜	令和6年11月26日(火)まで
学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す)	令和7年1月7日(火)まで
一般選抜	令和7年1月20日(月)まで

(2) 方法

詳細は、本学ホームページ受験生サイトをご覧ください。「徳島大学入学試験における事前相談内容」を出力し、

①～⑧の内容を記載の上、提出してください。

- ① 氏名、生年月日
- ② 選抜区分・志望学部・学科・専攻・コース
- ③ 現住所・電話番号及び保護者の連絡先
- ④ 障がいの種類・程度
- ⑤ 受験の際に配慮を希望する事項及び内容
- ⑥ 修学の際に配慮を希望する事項及び内容
- ⑦ 出身学校等で在学中にとられていた配慮及び出身学校等名
- ⑧ 日常生活の状況等

5 入試過去問題の使用

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。

「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧は、下記 URL を確認してください。

<https://www.nyushikakomon.jp/>

6 大規模自然災害により被災した入学志願者の検定料免除

本学では、被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るために、令和7年度学部入学者選抜において、以下のとおり検定料免除の特例措置を講じます。

- (1) 免除対象となる入学者選抜
 - 一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生徒選抜、社会人選抜
- (2) 措置内容
 - 検定料（17,000円 夜間主10,000円）の免除
- (3) 免除対象者
 - ① 東日本大震災及び令和6年度に災害救助法適用地域において被災された志願者で、次のいずれかに該当する者
 - ア 主たる学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失の被害を受けた場合
 - イ 主たる学資負担者が死亡又は行方不明の場合
 - ② 居住地が、福島第一原子力発電所の事故により、警戒区域又は計画的避難区域に指定された者
- (4) その他
 - 申請方法、申請書類等の詳細は、本学ホームページ受験生サイトを確認してください。

7 検定料の返還

納入された検定料は、原則返還しません。

ただし、次のいずれかに該当する場合は、検定料の全額又はその一部を返還します。

- ① 出願書類が受理されなかった場合
- ② 検定料を払い込んだが、出願書類を提出しなかった場合
- ③ 検定料を二重に払い込んだ場合
- ④ 第一段階目の選抜の結果、不合格となった場合
- ⑤ 出願受付後に本学の出願無資格者であることが判明した場合

①～③に該当する場合は全額を、④～⑤に該当する場合はその一部（総合科学部、医学部、歯学部、薬学部、理工学部（昼間）及び生物資源産業学部は13,000円、理工学部（夜間主）は7,800円）を返還します。

①の該当者については、出願書類を返送する際に併せて通知します。②～⑤の該当者は、申請方法、申請書類等を本学ホームページ受験生サイトで確認の上、令和7年3月31日（月）までに申し出てください。

なお、検定料返還の手続には、返還請求書到着後2か月程度かかる場合があります。

8 学生募集要項等の入手・請求方法

(1) 令和7年度学生募集要項について

各選抜の学生募集要項は、本学ホームページ受験生サイトにPDF版を掲載することで公表します。それぞれの選抜について、入学者選抜要項より詳細な内容となりますので、出願される場合は必ずご確認ください。

また、それぞれの選抜への出願の際に必要な様式（推薦書等）も掲載しますので、印刷し使用してください。

選抜区分	公表予定時期
総合型選抜	令和6年9月下旬
学校推薦型選抜Ⅰ	
帰国生徒選抜	
社会人選抜	
私費外国人留学生選抜	令和6年11月下旬
一般選抜	
学校推薦型選抜Ⅱ	

(2) 大学案内等の請求方法

本学のホームページから、テレメールを利用して大学案内等の資料請求ができます。

詳細は、本学ホームページ受験生サイトを確認してください。

一 般 選 抜

1 募 集 人 員

学 部	学 科 等	募 集 人 員		
		前期日程	後期日程	
総合科学部	社会総合科学科	85人	20人	
医学部	医学科	55人		
	医科栄養学科	10人 (英語受験方式) 15人 (英語・化学受験方式)		
	保健学科	看護学専攻	40人	10人
		放射線技術科学専攻	21人	8人
		検査技術科学専攻	12人	
学部計		153人	18人	
歯学部	歯学科	24人	6人	
	口腔保健学科	5人	5人	
	学部計	29人	11人	
薬学部	薬学科	50人	20人	
理工学部	理工学科 (昼間)	315人	92人	
	履修コース	数理科学コース	(19人)	(5人)
		自然科学コース	(20人)	(5人)
		社会基盤デザインコース	(41人)	(12人)
		機械科学コース	(59人)	(22人)
		応用化学システムコース	(37人)	(15人)
		電気電子システムコース	(61人)	(13人)
		知能情報コース	(40人)	(10人)
		光システムコース	(23人)	(10人)
	医光/医工融合プログラム		15人	
	理工学科 (夜間主)	45人		
	履修コース	社会基盤デザインコース	(10人)	
		機械科学コース	(10人)	
応用化学システムコース		(5人)		
電気電子システムコース		(10人)		
知能情報コース		(10人)		
生物資源学部	生物資源産業学科	44人	22人	
合 計		721人	183人	

- (注) 1 総合型選抜及び学校推薦型選抜の合格者が募集人員に満たない場合は、不足人員を一般選抜で補充します。
 2 学校推薦型選抜 (推薦1)、帰国生徒選抜、社会人選抜及び私費外国人留学生選抜の募集人員「若干人」は、募集する学科・専攻・コースの前期日程の募集人員に含まれます。
 3 理工学部理工学科の履修コースの () 内の数は、各コースの受入人員の目安です。
 4 医学部医学科の募集人員は、現在調整中です。確定次第、本学ホームページ受験生サイト等でお知らせします。
 5 理工学部理工学科 (夜間主) の募集人員は、前期日程30人とするよう調整中です。確定次第、本学ホームページ受験生サイト等でお知らせします。

2 出 願 資 格

本学に入学を志願することができる者は、次の(1)~(9)のいずれかに該当し、かつ、令和7年度大学入学共通テストのうち本学が指定する全教科・科目を受験した者としてします。

なお、本学では、過年度の大学入学共通テストの成績は利用しません。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育若しくは通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者

- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは令和7年3月修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和7年3月修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者又は廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者
- (8) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業認定審査規則（令和4年文部科学省令第18条）による高等学校卒業認定審査に合格した者
- (9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの

(注) (9)の出願資格認定については、本学ホームページ受験生サイトを参照又は入試課に照会してください。申請を行う場合は、本選抜の申請期限に注意してください。

なお、本学が認定する出願資格は、本学に限り有効です。

3 選 抜 方 法

(1) 選抜方式

- ① 本学の一般選抜は、分離分割方式の前期日程及び後期日程で実施します。選考にあたっては、大学入学共通テストの成績、個別学力検査等の成績を総合して判定します。
なお、合格者となるには、本学が実施する個別学力検査等をすべて受験する必要があります。
- ② 同選抜で本学に入学を志願する者は、令和7年度大学入学共通テストのうち本学が指定した全教科・科目を受験しておく必要があります。指定した教科・科目を受験せず本学に出願した者は無資格者となりますので、本学の個別学力検査等を受験することはできません。
なお、本学では、過年度の大学入学共通テストの成績は利用しません。
- ③ 本学では、同一学部、異なる学部・学科を問わず、前期日程と後期日程に併願することができます。
- ④ 一般選抜における調査書の活用方法については、本要項の「入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）」の章で各学部・学科・専攻の「入学者選抜方法における選抜内容」に明記していますので、確認してください。

(2) 大学入学共通テストの利用教科・科目等について

- ① 利用教科・科目等の選択方法は、新教育課程、旧教育課程いずれの場合も、大学入試センターが定めるとおりです。本学への出願が可能な科目選択等については、学部・学科別に指定があります。
- ② 学科等が指定する大学入学共通テストの利用教科・科目において、「新教育課程による出題科目」に対応する「旧教育課程による出題科目」がないものは「-」と表記します。
- ③ 2科目を課す教科については、配点表中に2科目の配点合計を示します。各科目の配点は、特に指定がない限り同点とします。
- ④ 地歴、公民及び理科で1科目を課している場合において、2科目受験者については、学部等が個別に定めている場合を除き、「第1解答科目」の成績を採用します。
なお、出願する学科等が指定する科目を「第1解答科目」で受験せず「第2解答科目」で受験した場合は、当該利用教科を受験したものと見なした上で、成績は「0点」とします。
- ⑤ 地歴、公民から「地理/歴史/公共」を、理科から「理基礎」を選択する場合は、科目の出題範囲からそれぞれ2つの出題範囲を選択解答する必要があります。
- ⑥ 外国語の「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニング」を含みます。
「英語」の成績は、リーディング（100点満点）を200点満点に、リスニング（100点満点）を50点満点に換算し、合計250点満点を各学科等が定める配点に換算します。ただし、リスニングを免除された受験者については、他の外国語の科目受験者と同様にリーディングの得点のみ利用します。
- ⑦ 「情報」については、点数化を行わず、「総合判定の参考」とします。

⑧ 専門学科に関する科目について

旧教育課程による出題科目の「旧簿記・会計」及び「旧情報関係基礎」を利用科目に指定する学科等で当該科目を選択できる者は、高等学校（中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）の専門学科及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した（見込みを含む。）者に限ります。

(3) 個別学力検査等の内容について

① 個別学力検査における各教科・科目等の出題範囲は次のとおりです。

教科	科目	出題範囲
国語	国語	「現代の国語」「言語文化」「論理国語」「文学国語」「古典探究」
数学	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	全範囲
	数学A	「図形の性質」「場合の数と確率」
	数学B	「数列」
	数学C	「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」
理科	物理基礎・物理	全範囲
	化学基礎・化学	全範囲
	生物基礎・生物	全範囲
外国語	英語	「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」 ※「読むこと」、「書くこと」に関する出題を行います。
総合問題		日本語で書かれた文章や図表等により、次の力を問う記述・論述式の出題を行います。 ①化学（化基・化）に関する基礎学力と思考・判断力（実験データの解析力等を問う場合あり） ②現代の社会における諸問題（バイオテクノロジー、食料、農業等で抱える問題）や生物資源産業への深い関心と、自らの考えを表現する力 ※②は小論文の要素を含めた出題を行います。

② 面接等は、次のとおり実施します。なお、点数化していない面接等は、総合判定とします。

前期日程		
医学部	医学科	複数の面接担当者による集団面接を行います。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定します。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となる場合があります。
	保健学科 看護学専攻 放射線技術 科学専攻	
	医科栄養学科	
歯学部	歯学科	複数の面接担当者による個人面接を行い、提出書類等の確認をします。本学部が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定します。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となる場合があります。
	口腔保健学科	
薬学部	薬学科	複数の面接担当者による集団面接を行い、提出書類等の確認をします。本学部が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定します。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となる場合があります。
生物資源 産業学部	生物資源産業学科	複数の面接担当者による集団面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づいて集団面接を行い、提出書類等の確認を行う場合があります。

後期日程		
医学部	保健学科	看護学専攻 【集団討論】※看護学専攻のみ 複数の評価担当者による集団討論を行います。試験室で提示されたテーマをもとに討論を行います。 【個人面接】※看護学専攻、放射線技術科学専攻 複数の面接担当者による個人面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行います。提出書類などの内容を確認する場合があります。
	放射線技術科学専攻	
歯学部	歯学科	複数の面接担当者による個人面接を行い、提出書類等の確認をする場合があります。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定します。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがあります。
	口腔保健学科	
薬学部	薬学科	複数の面接担当者による集団面接を行い、提出書類等の確認をする場合があります。本学部が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定します。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがあります。

③ 小論文は、次のとおり実施します。

後期日程		
総合科学部	社会総合科学科	社会的な課題に関する基礎的な能力（関心、理解力、表現力）を判定します。
医学部	保健学科 (看護学専攻・放射線技術科学専攻)	保健・医療に関する文章や図表等をもとに論述式の出題を行います。
歯学部	歯学科	日本語及び英語で書かれた文章や図表等をもとに、現代の社会における諸問題について考察し、みずからの考えを表現する出題を行います。

④ 志望理由書は、次のとおり取り扱います。

前期日程		
医学部	保健学科 検査技術科学専攻	アドミッション・ポリシーに基づいて総合的に評価を行い、合否を判定します。

後期日程		
薬学部	薬学科	アドミッション・ポリシーに基づいて評価を行い、合否を判定します。

⑤ 志望調書は、次のとおり取り扱います。

後期日程		
理工学部	理工学科	志望理由等に関連したテーマ・問題で作成した志望調書（300字以内）について、アドミッション・ポリシーに基づいて評価します。

(4) 2段階選抜について

① 実施について

医学部医学科、歯学部歯学科及び薬学部においては、次のとおり2段階選抜を行います。

2段階選抜を実施する場合は、令和7年度大学入学共通テストにおいて各学部・学科等が指定する教科・科目の成績等により下記の日程で第1段階選抜を行います。

選 抜 区 分	日 程
前期日程	令和7年2月12日(水)
後期日程	令和7年2月28日(金)

ア 医学部医学科

試験実施に当たっては、大学入学共通テストの成績において、本学科の指定する各科目の合計点が600点(配点合計900点満点(傾斜後の配点))に達していない場合は2段階選抜を実施します。また、600点以上に達していても入学志願者数が募集人員の5倍を超えた場合は、2段階選抜を実施することがあります。

イ 歯学部歯学科

試験実施に当たっては、入学志願者数が募集人員を大幅に上回り、以下に定める倍率を超えた場合は2段階選抜を実施することがあります。

(前期日程)：8倍 (後期日程)：25倍

ウ 薬学部

前期日程の試験実施に当たっては、入学志願者数が募集人員の5倍を超えた場合は2段階選抜を実施することがあります。

後期日程の試験実施に当たっては、大学入学共通テストの成績において、本学部の指定する各科目の合計点が500点(配点合計750点満点(傾斜後の配点))に達していない場合は2段階選抜を実施します。また、500点以上に達していても入学志願者数が募集人員の10倍を超えた場合は、2段階選抜を実施することがあります。

② 2段階選抜実施の有無について

医学部医学科、歯学部歯学科及び薬学部の2段階選抜実施の有無については、前・後期日程とも令和7年2月12日(水)16時以降に、本学ホームページにより発表します。

③ 第1段階選抜結果の通知

医学部医学科、歯学部歯学科及び薬学部において2段階選抜を実施した場合は、第1段階選抜の合格者には合格通知書を、不合格者には不合格通知書を、下記の日程で送付します。

選 抜 区 分	発送予定日
前期日程 (医学部医学科、歯学部歯学科、薬学部)	令和7年2月12日(水)
後期日程 (歯学部歯学科、薬学部)	令和7年2月28日(金)

(5) 入学者選抜の実施教科・科目等

学部・学科等		総合科学部社会総合科学科					
日程	大学入学共通テストの利用教科・科目				個別学力検査等		
	教科	科		目 等		教科等	科目等
		新教育課程による出題科目		旧教育課程による出題科目			
前期	国 地歴 公民 数	国 地理、日、世、倫、政経 } から2 地理/歴史/公共 数Ⅰ・数A、数Ⅰから1 数Ⅱ・数B・数C		— 旧世B、旧日B、旧地理Bから1又は2 旧現社、旧倫、旧政経、旧倫・政経から1又は0 } から2 旧数Ⅰ、旧数Ⅰ・旧数Aから1 旧数Ⅱ、旧数Ⅱ・旧数B、旧簿、旧情基から1		国 外	国 英
後期	理科 外 情	理基礎、物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ		— — 旧情		その他	小論文

【大学入学共通テストの利用教科・科目確認表】

この表では、新教育課程による出題科目を選択する場合の選択方法について表記しています。

◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□囲みの数字は成績利用科目数を示します。

国語	地 理 歴 史 ， 公 民						数 学			理 科				外 国 語				情報	
	地理総合、 地理探究	歴史総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	公共、 倫理	公共、 政治・ 経済	地理総合/ 歴史総合/ 公 共	①		②	物理基礎/ 化学基礎/ 生物基礎/ 地学基礎				英語 (リスニングを含む。)	ドイツ語	フランス語	中国語		韓国語
							数学Ⅰ、 数学A	数学Ⅱ、 数学B、 数学C	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎							
◎	○	○	○	○	○	○ ○ ○ 0又は2	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
□	□						□	□	□	□				□				□	

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	配点合計	
前 期	大学入学 共通テスト	パターン①	200	100	300	100	200	●		900	
		パターン②	200	200	100	100	300	●		900	
		パターン③	200	300	100	100	200	●		900	
	計	個別学力検査等	200				200				400
		パターン①	400	100	300	100	400				1,300
		パターン②	400	200	100	100	500				1,300
後 期	大学入学共通テスト	200	200	200	100	200	●			900	
後 期	個別学力検査等								400	400	
後 期	計	200	200	200	100	200			400	1,300	

注1 前期日程の大学入学共通テストの成績は、本学科が指定する科目等の成績をそれぞれパターン①～③に換算し、受験者ごとに最も高得点となるパターンを採用します。
2 ●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。

一
般
選
抜

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目				個別学力検査等	
	教科	科 目 等		教科等	科目等	
		新教育課程による出題科目	旧教育課程による出題科目			
前期	国 地歴 公民 数 理科 外 情	国 地理、日、世、倫、政経 } から 1 地理 / 歴史 / 公共 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 物、化、生から 2 英、独、仏、中、韓から 1 情Ⅰ	— 旧世B、旧日B、旧地理B 旧現社、旧倫、旧政経、旧倫・政経 } から 1 旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B、旧簿、旧情基から 1 — — 旧情	数 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B・数C 英 集団面接	

【大学入学共通テストの利用教科・科目確認表】

この表では、新教育課程による出題科目を選択する場合の選択方法について表記しています。

◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□囲みの数字は成績利用科目数を示します。

国語	地 理 歴 史 ， 公 民					数 学			理 科				外 国 語				情 報					
国語	地理総合、 地理探究	歴史総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	公共、倫理	公共、政治・経済	①		②	物理基礎／ 化学基礎／ 生物基礎／ 地学基礎				物理	化学	生物	地学	英語 (リスニングを含む)	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
						地理総合／ 歴史総合／ 公 共	歴史総合／ 歴史総合／ 公 共		数学Ⅰ、 数学A	数学Ⅱ、 数学B、 数学C	物理基礎	化学基礎										
◎	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎
□	□					□	□	□	□				□	□				□				

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	面接	配点合計
前 期	大学入学共通テスト	150	50		200	300	200	●		900
	個別学力検査等				200		200		●	400
	計	150	50		400	300	400			1,300

●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。

	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目				個別学力検査等	
		教科	科目等		教科等	科目等	
			新教育課程による出題科目	旧教育課程による出題科目			
英語受験方式 (募集人員10人)	前期	国 地歴 公民 数 理科 外 情	国 地理、日、世、倫、政経 } から1 地理/歴史/公共 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 理基礎、物、化、生から1 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ	— 旧世B、旧日B、旧地理B 旧現社、旧倫、旧政経、旧倫・旧政経 } から1 旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B、旧簿、旧情基から1 — — 旧情	外 その他	英 個人面接	
英語・化学受験方式 (募集人員15人)	前期	国 地歴 公民 数 理科 外 情	国 地理、日、世、倫、政経 } から1 地理/歴史/公共 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 物、化、生から1 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ	— 旧世B、旧日B、旧地理B 旧現社、旧倫、旧政経、旧倫・旧政経 } から1 旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B、旧簿、旧情基から1 — — 旧情	理科 外 その他	化基、化 英 個人面接	

【大学入学共通テストの利用教科・科目確認表】

この表では、新教育課程による出題科目を選択する場合の選択方法について表記しています。

◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□囲みの数字は成績利用科目数を示します。

受験方式	国語		地理歴史、公民					数 学			理 科				外 国 語				情報				
	国語	地理総合、 地理探究	歴史総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	公共、 倫理	公共、 政治・ 経済	地理総合/ 歴史総合/ 公 共		①	②	物理基礎/ 化学基礎/ 生物基礎/ 地学基礎				英語 (リスニングを含む。)	ドイツ語	フランス語	中国語		韓国語			
							地理総合	歴史総合	公共	数学Ⅰ、 数学A	数学Ⅱ、 数学B、 数学C	物理基礎	化学基礎	生物基礎							地学基礎		
英語	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	◎	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎	
	□	□					0又は2		□	□	□				□				□				
英語・化学	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	◎	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	◎
	□	□					0又は2		□	□	□				□				□				

注 理科で「理基礎」を受験する場合は、「物基」「化基」「生基」から2つ選択してください。

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

英 語	日 程	試 験 区 分	国 語	地 歴	公 民	数 学	理 科	外 国 語	情 報	面 接	配点合計
英 語	前 期	大学入学共通テスト	100	50		200	200	100	●		650
		個別学力検査等						200		150	350
		計	100	50		200	200	300		150	1,000
英 語・ 化 学	前 期	大学入学共通テスト	100	50		200	200	100	●		650
		個別学力検査等					200	200		150	550
		計	100	50		200	400	300		150	1,200

注・●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。

・個別学力検査等（個人面接を含む。）におけるいずれかの得点が一定水準以下の場合は、合計点のいかにかわらず不合格とします。

一
般
選
抜

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目				個別学力検査等		
	教科	科目		等	教科等	科目等	
		新教育課程による出題科目					旧教育課程による出題科目
前期	国 地歴 公民 数	国 地理、日、世、倫、政経 } から1 地理/歴史/公共 数Ⅰ・数A、数Ⅰから1 数Ⅱ・数B・数C		— 旧世A、旧世B、旧日A、旧日B、旧地理A、旧地理B } から1 旧現社、旧倫、旧政経、旧倫・政経 旧数Ⅰ、旧数Ⅰ・旧数Aから1 旧数Ⅱ、旧数Ⅱ・旧数B、旧簿、旧情基から1		外 その他	英 集団面接
後期	理科 外 情	物、化、生から2又は理基礎 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ		— — 旧情		その他	個人面接 集団討論 小論文

【大学入学共通テストの利用教科・科目確認表】

この表では、新教育課程による出題科目を選択する場合の選択方法について表記しています。

◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□囲みの数字は成績利用科目数を示します。

国語	地理 歴史、公民							数 学		理 科				外 国 語				情報	
	地理総合、 地理探究	歴史総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	公共、 倫理	公共、 政治・経済	地理総合/ 歴史総合/ 公 共		① 数学Ⅰ、 数学A	② 数学Ⅱ、 数学B、 数学C	物理基礎/ 化学基礎/ 生物基礎/ 地学基礎				英語 (リスニングを含む)	ドイツ語	フランス語	中国語		韓国語
						地理総合	歴史総合			公共	物理基礎	化学基礎	生物基礎						
◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎
□	□					0又は2		□	□	0又は2 (注1)				□				□	
										又は				□ (注2)					

注1 理科で「理基礎」を選択する場合、「生基」は必ず選択した上で、「物基」「化基」から1つ選択してください。

なお、「理基礎」を含む2科目を受験した場合は、「理基礎」が「第2解答科目」であっても、理科の得点は、「理基礎」(100点満点)を200点満点に換算して利用します。

2 理科で「物」「化」「生」から2科目を受験する場合、「生」は必ず選択してください。

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴公民	数 学	理 科	外国語	情 報	小論文	面 接	集団討論	配点合計
前 期	大学入学共通テスト	100	100	200	200	100	●				700
	個別学力検査等					200			●		200
	計	100	100	200	200	300					900
後 期	大学入学共通テスト	20	20	40	60	60	●				200
	個別学力検査等							100	100		200
	計	20	20	40	60	60		100	100		400

●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。

●個別学力検査等におけるいずれかの得点が一定水準以下の場合は、合計点のいかにかわらず不合格とします。

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目				個別学力検査等	
	教科	科目		等	教科等	科目等
		新教育課程による出題科目				
前期	国 地歴 公民 数	国 地理、日、世、倫、政経 } から1 地理/歴史/公共		— 旧世B、旧日B、旧地理B 旧現社、旧倫、旧政経、旧倫・政経 } から1 旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B、旧簿、旧情基から1	数 理科 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B・数C 物基・物 集団面接
後期	理科 外情	物 理基礎、化、生から1 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ				

【大学入学共通テストの利用教科・科目確認表】

この表では、新教育課程による出題科目を選択する場合の選択方法について表記しています。

◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□囲みの数字は成績利用科目数を示します。

国語	地理 歴史、公民							数 学				理 科				外 国 語				情報			
	地理総合、 地理探究	歴史総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	公共、 倫理	公共、 政治・ 経済	地理総合/ 歴史総合/ 公 共		①		②		物理基礎/ 化学基礎/ 生物基礎/ 地学基礎		物理	化学	生物	地学	英語 (リスニングを含む。)	ドイツ語		フランス語	中国語	韓国語
						地理総合	歴史総合	公共	数学Ⅰ、 数学A	数学Ⅱ、 数学B、 数学C	物理基礎	化学基礎	生物基礎										
◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	◎	×	○	○	×	◎	○	○	○	○	○	◎
□	□					0又は2		□	□	□	0又は2				□	□				□			

注 理科で「理基礎」を選択する場合は、「化基」「生基」を選択してください。

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴公民	数 学	理 科	外国語	情 報	小論文	面 接	配点合計
前 期	大学入学共通テスト	100	100	200	200	200	●			800
	個別学力検査等			200	200				●	400
	計	100	100	400	400	200				1,200
後 期	大学入学共通テスト	100	50	200	200	200	●			750
	個別学力検査等							200	200	400
	計	100	50	200	200	200		200	200	1,150

●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目				個別学力検査等	
	教科	科 目 等		教科等	科目等	
		新教育課程による出題科目	旧教育課程による出題科目			
前期	国 地歴 公民 数 理科 外情	国 地理、日、世、倫、政経 } から1 地理/歴史/公共 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 物、化、生から2 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ	— 旧世B、旧日B、旧地理B 旧現社、旧倫、旧政経、旧倫・政経 } から1 旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B、旧簿、旧情基から1 — — 旧情	数 理科 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B・数C 物基・物、化基・化 } から1 生基・生 英 個人面接	
後期	外情			その他	個人面接 小論文(日本語及び英語)	

【大学入学共通テストの利用教科・科目確認表】

この表では、新教育課程による出題科目を選択する場合の選択方法について表記しています。

◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□囲みの数字は成績利用科目数を示します。

国語	地 理 歴 史 ， 公 民							数 学		理 科				外 国 語				情報					
	地理総合、 地理探究	歴史総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	公共、 倫理	公共、 政治・ 経済	地理総合/ 歴史総合/ 公 共		① 数学Ⅰ、 数学A	② 数学Ⅱ、 数学B、 数学C	物理基礎/ 化学基礎/ 生物基礎/ 地学基礎				物理	化学	生物	地学		英語 (リスニングを含む)	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
						地理総合	歴史総合			公共	物理基礎	化学基礎	生物基礎										
◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	◎
□	□					0又は2		□	□	□				□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	配点合計
前期	大学入学共通テスト	100	50	100	200	100	●			550
	個別学力検査等				200	100			●	500
	計	100	50	300	300	300				1,050
後期	大学入学共通テスト	100	50	100	100	100	●			450
	個別学力検査等							200	●	200
	計	100	50	100	100	100		200		650

●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。

一
般
選
抜

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目				個別学力検査等		
	教科	科目		等	教科等	科目等	
		新教育課程による出題科目					旧教育課程による出題科目
前期	国 地歴 公民 数	国 地理、日、世、倫、政経 } から1 地理 / 歴史 / 公共 数Ⅰ・数A、数Ⅰから1 数Ⅱ・数B・数C		— 旧世B、旧日B、旧地理B 旧現社、旧倫、旧政経、旧倫・政経 } から1 旧数Ⅰ、旧数Ⅰ・旧数Aから1 旧数Ⅱ、旧数Ⅱ・旧数B、旧簿、旧情基から1		外 その他	英 個人面接
後期	理科 外情	物、化、生から2 又は理基礎 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ		— 旧情		その他	個人面接

【大学入学共通テストの利用教科・科目確認表】

この表では、新教育課程による出題科目を選択する場合の選択方法について表記しています。

◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□囲みの数字は成績利用科目数を示します。

国語	地理 歴史 , 公民						数 学		理 科				外 国 語				情報					
	地理総合、 地理探究	歴史総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	公共、倫理	公共、政治・ 経済	地理総合/ 歴史総合/ 公 共	① 数学Ⅰ、 数学A	② 数学Ⅱ、 数学B、 数学C	物理基礎/ 化学基礎/ 生物基礎/ 地学基礎				物理	化学	生物	地学		英語(リスニングを含む)	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
									物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎										
◎	○	○	○	○	○	○ ○ ○ 0又は2	○ ○	◎	○ ○ ○ ×	○ ○ ○ ×	○ ○ ○ ×	○ ○ ○ ×	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	◎
□	□						□	□	□ 又は □ (注1、2)				□				□					

注1 理科で「理基礎」を含む2科目を受験した場合は、「第1解答科目」又は「第2解答科目」のいずれかによらず、得点が高い方の科目のみを利用します。

なお、「理基礎」を受験する場合は、「物基」「化基」「生基」から2つ選択してください。

2 理科で基礎を付さない科目のみを受験する場合は、「物」「化」「生」から2科目選択してください。この場合、2科目の合計得点(200点満点)を100点満点に換算した上で利用します。

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴	公民	数 学	理 科	外国語	情 報	面 接	配点合計
前 期	大学入学共通テスト	100	50		100	100	100	●		450
	個別学力検査等						200		●	200
	計	100	50		100	100	300			650
後 期	大学入学共通テスト	100	50		100	100	100	●		450
	個別学力検査等								150	150
	計	100	50		100	100	100		150	600

●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目				個別学力検査等	
	教科	科 目 等		教科等	科目等	
		新教育課程による出題科目	旧教育課程による出題科目			
前期	国 地歴 公民 数 理科 化 外 情	国 地理、日、世、倫、政経 } から1 地理/歴史/公共 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 物、生から1 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ	— 旧世A、旧世B、旧日A、旧日B、旧地理A、旧地理B } から1 旧現社、旧倫、旧政経、旧倫・政経 } 旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B — 旧情	数 理科 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B・数C 化基・化 集団面接	
後期	国 地歴 公民 数 理科 外 情	国 地理、日、世、倫、政経 } から1 地理/歴史/公共 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 物、化、生から2 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ	— 旧世A、旧世B、旧日A、旧日B、旧地理A、旧地理B } から1 旧現社、旧倫、旧政経、旧倫・政経 } 旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B — 旧情	理科 その他	化基・化 集団面接 志望理由書	

【大学入学共通テストの利用教科・科目確認表】

この表では、新教育課程による出題科目を選択する場合の選択方法について表記しています。

◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□囲みの数字は成績利用科目数を示します。

日程	国語	地 理 歴 史 ， 公 民						数 学			理 科				外 国 語			情報								
		地理総合、 地理探究	歴史総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	公共、 倫理	公共、 政治・ 経済	地理総合/ 歴史総合/ 公 共			① 数学Ⅰ、 数学A	② 数学Ⅱ、 数学B、 数学C	物理基礎/ 化学基礎/ 生物基礎/ 地学基礎				英語（リスニングを含む）	ドイツ語		フランス語	中国語	韓国語					
							地理総合	歴史総合	公共			物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎											
前 期	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	◎	×	×	×	×	○	◎	○	○	×	○	○	○	○	◎
	□	□						□	□	□				□	□				□							
後 期	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎
	□	□						□	□	□				□	□				□							

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科			外国語	情報	面接	志望理由書	配点合計
						化	化基・化	物又は生					
前期	大学入学共通テスト	100	50		100	100		50	200	●			600
	個別学力検査等				200		200			●			400
	計	100	50		300		350		200				1,000
後期	大学入学共通テスト	100	50		200	200 (物、化、生から2)			200	●			750
	個別学力検査等						400			●	●		400
	計	100	50		200	600			200				1,150

注 ●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。

学部・学科等	理工学部理工学科（昼間）全コース（自然科学コースを除く。）
--------	-------------------------------

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目			個別学力検査等	
	教科	科目等		教科等	科目等
		新教育課程による出題科目	旧教育課程による出題科目		
前期	国 地歴 公民 数 理科	国 地理、日、世、倫、政経 } から1 地理 / 歴史 / 公共 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 物、化	— 旧世B、旧日B、旧地理B 旧現社、旧倫、旧政経、旧倫・政経 } から1 旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B	数 理科	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B・数C 物基・物 } から1 化基・化 }
後期	外 情	英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ	— 旧情	数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B・数C 志望調書

【大学入学共通テストの利用教科・科目確認表】

この表では、新教育課程による出題科目を選択する場合の選択方法について表記しています。

◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□囲みの数字は成績利用科目数を示します。

国語	地理 歴史、公民					数 学			理 科				外 国 語			情報						
国語	地理総合、 地理探究	歴史総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	公共、 倫理	公共、 政治・経済	①		②	物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎				英語 (リスニングを含む)	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ				
						数学Ⅰ、 数学A	数学Ⅱ、 数学B、 数学C		物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎										
◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	◎	×	×	×	◎	◎	×	×	○	○	○	○	◎
□	□					□		□	□				□			□						
						0又は2																

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴	公民	数 学	理 科	外国語	情 報	志望調書	配点合計
前 期	大学入学共通テスト	100	50		200	200	200	●		750
	個別学力検査等				300	200				500
	計	100	50		500	400	200			1,250
後 期	大学入学共通テスト	100	50		150	200	150	●		650
	個別学力検査等				350				25	375
	計	100	50		500	200	150		25	1,025

●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。

・選抜方法について

【前期日程】

出願できる志望コースは、1コースのみです。

【後期日程】

出願時に第1志望とするコースのほか、第2志望のコースを任意で選択できます。第2志望のコースを選択しない場合は、第1志望のコースのみで可否判定を行います。

・合格者の決定と1年入学時におけるコース配属について

【後期日程】

大学入学共通テストと個別学力検査等の成績により、各コースの合格者が決まります。全受験者を成績順に並べ、成績上位者から受験者の志望（第1志望及び第2志望（選択者のみ））に応じて、順次、合格者を決定します。第1志望又は第2志望（選択者のみ）のいずれかのコースに合格すれば、1年入学時に合格したコースへ配属します。

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目				個別学力検査等	
	教科	科目等		教科等	科目等	
		新教育課程による出題科目	旧教育課程による出題科目			
前期	国 地歴 公民 数	国 地理、日、世、倫、政経 } から1 地理 / 歴史 / 公共	— 旧世B、旧日B、旧地理B 旧現社、旧倫、旧政経、旧倫・政経 } から1 旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B	数 理科	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B・数C 物基・物 } から1 化基・化 } 生基・生 }	
後期	理科 外情	物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ	— 旧情	数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B・数C 志望調書	

【大学入学共通テストの利用教科・科目確認表】

この表では、新教育課程による出題科目を選択する場合の選択方法について表記しています。

◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□囲みの数字は成績利用科目数を示します。

国語	地理 歴史、公民							数 学				理 科				外 国 語				情報			
	地理総合、 地理探究	歴史総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	公共、 倫理	公共、 政治・ 経済	地理総合/ 歴史総合/ 公 共			①		②		物理基礎/ 化学基礎/ 生物基礎/ 地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語 (リスニングを含む。)	ドイツ語		フランス語	中国語	韓国語
						地理総合	歴史総合	公共	数学Ⅰ、 数学A	数学Ⅱ、 数学B、 数学C	物理基礎	化学基礎											
◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
□	□							□	□	□				□				□					

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	志望調書	配点合計
前 期	大学入学共通テスト	100	50		200	200	200	●		750
	個別学力検査等				300	200				500
	計	100	50		500	400	200			1,250
後 期	大学入学共通テスト	100	50		150	200	150	●		650
	個別学力検査等				350				25	375
	計	100	50		500	200	150		25	1,025

●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。

・ 選抜方法について

【前期日程】

出願できる志望コースは、1コースのみです。

【後期日程】

大学入学共通テストの理科で物理と化学を選択した者は、出願時に第2志望のコースを任意で選択できます。第2志望のコースを選択しない場合は、第1志望のコースのみで可否判定を行います。

・ 合格者の決定と1年入学時におけるコース配属について

【後期日程】

大学入学共通テストと個別学力検査等の成績により、各コースの合格者が決まります。全受験者を成績順に並べ、成績上位者から受験者の志望（第1志望及び第2志望（選択者のみ））に応じて、順次、合格者を決定します。第1志望又は第2志望（選択者のみ）のいずれかのコースに合格すれば、1年入学時に合格したコースへ配属します。

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目				個別学力検査等	
	教科	科目等		教科等	科目等	
		新教育課程による出題科目	旧教育課程による出題科目			
前期	国 地歴 公民 数 理科 外情	国 地理、日、世、倫、政経 } から1 地理 / 歴史 / 公共 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 物、化 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ	— 旧世B、旧日B、旧地理B 旧現社、旧倫、旧政経、旧倫・政経 } から1 旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B — — 旧情	数 理科	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B・数C 物基・物 } から1 化基・化 }	

【大学入学共通テストの利用教科・科目確認表】

この表では、新教育課程による出題科目を選択する場合の選択方法について表記しています。

◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□囲みの数字は成績利用科目数を示します。

国語	地理 歴史, 公民					数 学			理 科				外 国 語			情報						
国語	地理総合、 地理探究	歴史総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	公共、 倫理	公共、 政治・経済	①		②	物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎				物理	化学	生物	地学	英語 (リスニングを含む)	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
						地理総合 / 歴史総合 / 公共	歴史総合 / 地理総合 / 公共		数学Ⅰ、 数学A	数学Ⅱ、 数学B、 数学C	物理基礎	化学基礎										
◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	◎	◎	×	×	○	○	○	○	○	◎
□	□					□		□	□				□			□						
	0又は2																					

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴	公民	数 学	理 科	外国語	情 報	配点合計
前 期	大学入学共通テスト	100	50		200	200	200	●	750
	個別学力検査等				300	200			500
	計	100	50		500	400	200		1,250

- 印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。
- 医光 / 医工融合プログラムは、理工学部と医学部及び関連研究所による学部等横断型の特別プログラムです。
- 当プログラムは、大学卒業又は大学院（創成科学研究科、医学研究科）修了まで一貫した教育体制を取っています。入学から卒業又は修了まで当プログラムに所属し、教育・指導を受けることとなりますので、入学後の他コースへの変更は認めません。

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目				個別学力検査等	
	教科	科目等		教科等	科目等	
		新教育課程による出題科目	旧教育課程による出題科目			
前期	国 地歴 公民 数 理科 外情	国 地理、日、世、倫、政経 } から1 地理/歴史/公共 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 物、化 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ	— 旧世B、旧日B、旧地理B 旧現社、旧倫、旧政経、旧倫・政経 } から1 旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B — — 旧情	数 理科	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B・数C 物基・物 } から1 化基・化 }	

【大学入学共通テストの利用教科・科目確認表】

この表では、新教育課程による出題科目を選択する場合の選択方法について表記しています。

◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□囲みの数字は成績利用科目数を示します。

国語	地理 歴史, 公民					数 学		理 科				外 国 語				情報						
	地理総合、 地理探究	歴史総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	公共、 倫理	公共、 政治・経済	地理総合/ 歴史総合/ 公 共	① 数学Ⅰ、 数学A	② 数学Ⅱ、 数学B、 数学C	物理基礎/ 化学基礎/ 生物基礎/ 地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語 (リスニングを含む)	ドイツ語		フランス語	中国語	韓国語			
◎	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	◎	◎	×	×	○	○	○	○	○	◎
□	□					□		□	□				□				□					
	0又は2																					

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴	公民	数 学	理 科	外国語	情 報	配点合計
前 期	大学入学共通テスト	100	50		200	200	200	●	750
	個別学力検査等				200	100			300
	計	100	50		400	300	200		1,050

・●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。
 ・出願できる志望コースは、1コースのみです。

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目				個別学力検査等	
	教科	科目等		教科等	科目等	
		新教育課程による出題科目	旧教育課程による出題科目			
前期	国 地歴 公民 数 理科 化	国 地理、日、世、倫、政経 } から1 地理/歴史/公共 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	— 旧世A、旧世B、旧日A、旧日B、旧地理A、旧地理B } から1 旧現社、旧倫、旧政経、旧倫・政経 } から1 旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B	理科 その他	化基・化 集団面接	
後期	外情	物、生から1 英情Ⅰ	— 旧情	総合	総合（化基・化を含む）	

【大学入学共通テストの利用教科・科目確認表】

この表では、新教育課程による出題科目を選択する場合の選択方法について表記しています。

◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□囲みの数字は成績利用科目数を示します。

国語	地理歴史、公民					数 学			理 科				外 国 語			情報						
国語	地理総合、 地理探究	歴史総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	公共、 倫理	公共、 政治・経済	①		②	物理基礎/ 化学基礎/ 生物基礎/ 地学基礎				物理	化学	生物	地学	英語 (リスニングを含む)	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
						地理総合 歴史総合 公共	公共		数学Ⅰ、 数学A	数学Ⅰ 数学Ⅱ、 数学B、 数学C	物理基礎	化学基礎										
◎	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	◎	○	×	◎	×	×	×	×	◎
□	□					□	□	□	□				□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	0又は2																					

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴	公民	数 学	理 科	外国語	情 報	総合問題	面 接	配点合計
前期	大学入学共通テスト	100	50		150	150	200	●			650
	個別学力検査等					200				150	350
	計	100	50		150	350	200			150	1,000
後期	大学入学共通テスト	50	50		200	200	200	●			700
	個別学力検査等								300		300
	計	50	50		200	200	200		300		1,000

- 印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。
- ・前期日程の理科については、「化学」必須(50点)、「物理」「生物」から1(100点)とします。
- ・後期日程で実施する総合問題における得点が一定水準以下の場合は、合計点のいかにかわらず不合格とします。

総 合 型 選 抜

1 募集人員

学 部	学 科	総合型選抜の呼称	募集人員
医学部	医学科	四国研究医型	8人 (各県受入人員の目安=徳島県2人、香川県2人、愛媛県2人、高知県2人)

(注) 合格者が募集人員に満たなかった場合は、不足人員を一般選抜で補充します。

2 出願要件及び選抜方法等

本選抜で本学に入学を志願する者は、令和7年度大学入学共通テストのうち本学が指定した全教科・科目を受験する必要があります。指定した教科・科目を受験しなかった者は、無資格者となります。

なお、本学では、過年度の大学入学共通テストの成績は利用しません。

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目等について

本選抜で本学に入学を志願する者は、令和7年度大学入学共通テストのうち、本学が指定する全ての教科・科目を受験する必要があります。

- ① 利用教科・科目等の選択方法は、新教育課程、旧教育課程いずれの場合も、大学入試センターが定めたとおりです。本選抜への出願が可能な科目選択等については、「(2) 出願要件及び選抜方法等」に示すとおりです。
- ② 本選抜で指定する大学入学共通テストの利用教科・科目において、「新教育課程による出題科目」に対応する「旧教育課程による出題科目」がないものは「-」と表記します。
- ③ 2科目を課す教科については、配点表中に2科目の配点合計を示します。各科目の配点は、特に指定がない限り同点とします。
- ④ 地歴、公民で2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。指定した科目を「第1解答科目」で受験せず「第2解答科目」で受験した場合は、当該利用教科を受験したものと見なした上で、成績は「0点」とします。
なお、地歴、公民から「地理/歴史/公共」を選択する場合は、科目の出題範囲から2つの出題範囲を選択解答する必要があります。
- ⑤ 外国語の「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニング」を含みます。
「英語」の成績は、リーディング(100点満点)を200点満点に、リスニング(100点満点)を50点満点に換算し、合計250点満点を200点満点に換算します。ただし、リスニングを免除された受験者については、他の外国語の科目受験者と同様にリーディングの得点のみ利用します。
- ⑥ 「情報」については、点数化を行わず、総合判定の参考とします。

(2) 出願要件及び選抜方法等

出 願 要 件	<p>次の要件をすべて満たしている者で、合格した場合は入学を確約できる者とする。</p> <p>(1) 次にあげる地域の高等学校^(注1)を令和5年4月1日から令和7年3月31日までに卒業又は卒業見込みであり、令和7年度大学入学共通テストにおいて本学科が指定した全教科・科目を受験する者 【徳島県、香川県、愛媛県、高知県】</p> <p>(2) 大学入学後、直ちに下記を確約できる者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徳島大学大学院医学研究科において大学院進学(MD-PhDコース^(注2)又は卒業後3年以内に4年間の博士課程) ・徳島大学病院又は徳島大学病院が指定する主要基幹病院において2年間の初期臨床研修 <p>(3) アドミッション・ポリシーを深く理解し、合致していることを明確に示すことができる者</p> <p>(4) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が3年次1学期あるいは前期終了時点で4.3以上の者</p>
---------	--

- (注1) 中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。
- (注2) 医学科4年生終了時点で大学院に進み研究力を身につけ、博士(医学)(PhD)を取得した後、5年生に戻り医師の免許(MD)を取得するコース。詳細は、徳島大学医学部教育支援センターホームページを確認のこと。

第1次選考、第2次選考そして大学入学共通テストの成績を総合して判定します。

1 第1次選考〔書類審査：200点〕

志望理由書、活動報告書、調査書、確約書
(各書類の詳細は、入学者受入方針を確認してください。)

2 第2次選考〔総合討論／個人面接〕

(1) 総合討論〔400点〕

- ① (小論文形式) 日本語で書かれた文章や図表等により、記述・論述式の出題を行います。(90分)
② (集団討論) ①の解答終了後に出題内容の中の題材による集団討論を行います。
③ (まとめレポート) ②の終了時に討論のまとめに関する簡単なレポート作成を行います。

(2) 個人面接〔300点〕

複数の面接担当者による個人面接を行います。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行います。評価に基づき、大学入学共通テスト等の成績にかかわらず不合格となることがあります。

3 最終選考〔大学入学共通テスト〕

総合討論及び個人面接による試験に合格した者で、大学入学共通テストの成績が本学部の指定する各科目の合計点(900点満点(傾斜後の配点))の概ね75%以上の者とします。

選抜方法等

教科	利用教科・科目等				配点
	新教育課程による出題科目		旧教育課程による出題科目		
国	国	国語	◎ □	国	200
地歴 公民	地理、日、世、倫、政経 } から1 地理 / 歴史 / 公共	地理総合、地理探求 歴史総合、日本史探究 歴史総合、世界史探究 公共、倫理 公共、政治・経済 地理総合 / 地理総合 歴史総合 / 歴史総合 公 共	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	旧世B、旧日B、旧地理B } から1 旧現社、旧倫、旧政経 } から1 旧倫・政経	100
数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	① 数学Ⅰ、数学A 数学Ⅰ ② 数学Ⅱ、数学B、数学C	◎ □ × ◎ □	旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B	200
理科	物、化、生から2	物理基礎 / 物理基礎 化学基礎 / 化学基礎 生物基礎 / 生物基礎 地学基礎 / 地学基礎 物理 化学 生物 地学	× × × × ○ ○ ○ ×	-	200
外	英、独、仏、中、韓から1	英語(リスニングを含む) ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	○ ○ ○ ○ ○	-	200
情	情Ⅰ	情報Ⅰ	◎ □	旧情	●
配点合計					900

注1 ◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□囲みの数字は成績利用科目数を示します。

2 ●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。

3 「地理歴史」、「公民」から2科目受験した場合は、「第1解答科目」を利用します。

	<p>4 本選抜の合否判定方法について</p> <p>(1) 第1次選考 書類審査の成績で判定します。第1次選考の最大通過者数は、受入人員の目安の4倍程度(各県)までとします。 第1次選考の結果を令和6年11月15日(金)付けで受験者宛に文書により発送し、同日16時以降に本学ホームページに通過者の受験番号を掲載します。</p> <p>(2) 第2次選考 第1次選考の成績及び総合討論・個人面接の成績を総合して判定します。第2次選考通過最低基準点(第2次選考受験者の総合点の平均点を目安)を設定し、当該基準点に達した者の中から、各県の成績上位2名を第2次選考通過対象者とします。2名に達しない県がある場合は、県に関係なく、第2次選考通過最低基準点に達した成績上位者(すでに決定した第2次選考通過対象者を除く。)から欠員分を通過対象とします。 なお、第2次選考通過者は、受験者数の状況等により募集人員に満たない場合もあります。 第2次選考の結果を令和6年12月20日(金)付けで受験者宛に文書により発送し、同日16時以降に本学ホームページにも通過者の受験番号を掲載します。 なお、最終合否決定は、大学入学共通テストの成績を総合して判定します。</p> <p>(3) 同点者の取扱い 第1次選考及び第2次選考の得点合計が同点の場合においては、次の順序で得点の高い者を上位者とします。 ① 第2次選考の合計点 ② 個人面接の得点</p>
<p>備考</p>	<p>1 本選抜の出願者は、本学を含む国公立大学が実施する一般選抜(以下「一般選抜」という。)へ出願することが可能です。ただし、本選抜に合格し入学手を完了した者は、一般選抜の合格者となりません。</p> <p>2 本選抜の合格者で本学への入学を辞退し一般選抜の受験を志望する者は、本学の定める手続による入学辞退の承認が得られない限り、一般選抜の合格者となりません。</p> <p>3 本選抜に出願する者は、本学を含む国公立大学が実施する学校推薦型選抜及び総合型選抜への出願はできません。ただし、本選抜の第1次選考又は第2次選考で未通過となった者に限り、それ以降に出願可能な学校推薦型選抜等へ出願することができます。</p> <p>4 本選抜に出願する者は、本学が実施する学校推薦型選抜Ⅱのうち、医学部医学科の地域枠への出願はできません。</p>

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

1 募集人員及び推薦人員

学 部	学 科 等	募集人員	各高等学校から推薦できる人員	
総合科学部	社会総合科学科	15人(活動実績重視型)	1校当たり2人	
		5人(英語能力重視型)	特に制限を設けない	
医学部	医科栄養学科	12人	1校当たり2人	
理工学部	理工学科(昼間)		15人	
	履修コース	社会基盤デザインコース	(2人)	1校当たり2人
		機械科学コース	(2人)	1校当たり2人
		応用化学システムコース	(2人)	1校当たり2人
		電気電子システムコース	(2人)	1校当たり2人
		知能情報コース	(1人)	1校当たり1人
		光システムコース	(1人)	1校当たり1人
			(5人)(次世代光フロンティア入試)	1校当たり1人
	理工学科(夜間主)			
	履修コース	社会基盤デザインコース	若干人	特に制限を設けない
		機械科学コース	若干人	
応用化学システムコース		若干人		
電気電子システムコース		若干人		
知能情報コース		若干人		
生物資源産業学部	生物資源産業学科	2人(専門高校・総合学科全国枠)	1校当たり2人	
		4人(専門高校・総合学科地域枠)		
		6人(地域産業振興枠)	1校当たり1人	

(注) 1 本学が実施する学校推薦型選抜に出願した者は、本学を含む国公私立大学が実施する他の総合型選抜及び学校推薦型選抜への出願はできません。

ただし、本学における推薦Ⅰで合格者とならなかった者は、推薦Ⅰと同一の学科・専攻・コースを志望する場合に限り、本学における推薦Ⅱに出願することができます。

2 学校推薦型選抜において記載されている「高等学校」には、中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

3 合格者が募集人員に満たない場合は、不足人員を一般選抜で補充します。

4 理工学部理工学科昼間の募集人員の()内の数は、各コースの受入人員の目安です。

5 理工学部理工学科夜間主の募集人員「若干人」は、前期日程の募集人員に含まれます。

6 生物資源産業学部について

① 専門高校・総合学科全国枠は、全国における高等学校の農業、工業、商業、水産に関する学科又は総合学科を卒業見込みの者を対象とします。

② 専門高校・総合学科地域枠は、徳島県内における高等学校の農業、工業、商業、水産に関する学科又は総合学科を卒業見込みの者を対象とします。

7 統廃合された高等学校等から推薦できる人数については、経過措置を設けていますので、本学ホームページ受験生サイトで確認してください。

2 推薦要件及び選抜方法等

学部・学科	総合科学部	
	社会総合科学科	〈活動実績重視型〉
募集人員	15人	
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校等の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者で、学業成績が優秀であり、大学教育を受けるのに十分な基礎学力を有している者、あるいは本学において、個別の入学資格審査^(注1)により、前段と同等であると認められた者で、令和7年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(2) 本学部の教育分野に強い関心と積極性をもつ者</p> <p>(3) 高等学校等における調査書「全体の学習成績の状況」が3.8以上の者</p> <p>(4) 高等学校等時代に部活動、校外活動、芸術及びスポーツ等のいずれかの分野で優れた実績を有する者で、入学後はその経験を活かしてリーダー的存在となりうる者</p> <p>(注1) 出願資格認定については、本学ホームページ受験生サイトを参照又は入試課に照会してください。申請期限に注意してください。</p> <p>2 推薦人員 各高等学校等から推薦できる人員は、1校当たり2人です。</p>	
選抜方法等	<p>下記1～3の選考結果を総合して判定します（総得点：400点満点）。</p> <p>1 書類審査 調査書、推薦書、指定調査書 書類審査は集団面接の得点に含めて選考を行います。</p> <p>2 小論文〔100点〕 本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力（論述能力、表現力等）を判定します。 小論文の得点が100点満点中60点未満の場合は、合格者となりません。</p> <p>3 集団面接〔300点〕 複数の面接担当者による集団面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づいて集団面接を行い、提出書類などの確認を行う場合があります。</p>	
備考		

学部・学科	総合科学部	
	社会総合科学科	〈英語能力重視型〉
募集人員	5人	
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校等の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者で、学業成績が優秀であり、大学教育を受けるのに十分な基礎学力を有している者、あるいは本学において、個別の入学資格審査^(注1)により、前段と同等であると認められた者で、令和7年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(2) 本学部の教育分野に強い関心と積極性をもつ者</p> <p>(3) 高等学校等における調査書「全体の学習成績の状況」が3.8以上の者</p> <p>(4) 調査書の英語の学習成績の状況が4.3以上の者又は次のいずれかの英語能力試験の成績を修めた者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実用英語技能検定 1,950点以上 ・TOEIC (L&R) 550点以上 ・TOEFL iBT 42点以上 ・IELTS 4.0以上 ・Cambridge English (リングスキルも可) 140点以上 <p>英語能力試験の成績は、出願時点において有効なもの、有効期限のない場合は、その受験日が出願時点から遡り2年以内であるものに限ります。証明書等のコピー(A4サイズ)は、必ず添付してください。</p> <p>(注1) 出願資格認定については、本学ホームページ受験生サイトを参照又は入試課に照会してください。申請期限に注意してください。</p> <p>2 推薦人員 各高等学校等から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>	
選抜方法等	<p>下記1～3の選考結果を総合して判定します(総得点:400点満点)。</p> <p>1 書類審査 調査書、推薦書、指定調査書(課題作文〔英語で記入〕を含む) 書類審査は個人面接の得点に含めて選考を行います。</p> <p>2 小論文(日本語)[100点] 本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力(論述能力、表現力等)を判定します。 小論文の得点が100点満点中60点未満の場合は、合格者となりません。</p> <p>3 個人面接(スピーチ等含む)[300点] 「関心・意欲・態度」「表現力」を、英語によるスピーチの内容、パフォーマンス、質疑応答での英語力、会話・コミュニケーション力に即して判定します。</p> <p>(1) 提出した指定調査書の課題作文について英語でスピーチ(3分)を行います。 (A5サイズまでのメモ用紙に限り持ち込み可)</p> <p>(2) (1)に対する簡単な質疑応答(英語)を行います。</p> <p>(3) 志望動機等に関する質疑応答(日本語)を行います。</p>	
備考		
その他	合格者は、2年次進級時に「国際教養コース」に優先的に所属できます。	

学部・学科	医 学 部	
	医 科 栄 養 学 科	〈主体性重視型〉
募集人員	12人	
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者で、学業成績が優秀であり、大学教育を受けるのに十分な基礎学力を有している者</p> <p>(2) 学業成績、人物ともに優れ、将来予防医学及び治療医学を基盤とする栄養学に関する研究に貢献することが期待できる者</p> <p>(3) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員は、1校当たり2人です。</p>	
選抜方法等	<p>下記1～4の選考結果を総合して判定します。</p> <p>1 書類審査 調査書、推薦書、志望理由書</p> <p>2 基礎学力考査 「英語」「数学(数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B、数C(ベクトルのみ))」の基礎学力を確認する考査(記述式)を行い、高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を判定します。 ※「英語」の出題範囲は、一般選抜の個別学力検査の出題範囲(P8)に準じた内容とします。</p> <p>3 集団討論 複数の評価担当者による集団討論を行います。</p> <p>4 個人面接 本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、可否を判定します。従って、基礎学力考査及び書類審査、集団討論の成績にかかわらず不合格になることがあります。</p>	
備考		

推
薦
|

学部・学科 ・コース	理 工 学 部																																																											
	理 工 学 科 (昼 間) <理工学経験重視型>																																																											
	社会基盤 デザインコース	機械科学コース	応用化学 システムコース	電気電子 システムコース	知能情報コース	光システムコース																																																						
募集人員	2人	2人	2人	2人	1人	1人																																																						
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校の工業に関する学科を令和7年3月卒業見込みの者であり、次の教科・科目を履修した(見込みを含む。)者</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">履 修 教 科 ・ 科 目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">数</td> <td>数Ⅰ</td> </tr> <tr> <td>数Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>工業情報数理※、数Ⅲから1</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>科学と人間生活、物基、化基から2</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">※旧課程を履修した者においては、「工業情報数理」を旧「工業数理基礎」に読み替えるものとする。</p> <p>(2) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が4.5以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から各コースに推薦できる人員は、1校当たり各コースの募集人員以内とします。</p>						履 修 教 科 ・ 科 目		数	数Ⅰ	数Ⅱ	工業情報数理※、数Ⅲから1	理	科学と人間生活、物基、化基から2																																														
履 修 教 科 ・ 科 目																																																												
数	数Ⅰ																																																											
	数Ⅱ																																																											
	工業情報数理※、数Ⅲから1																																																											
理	科学と人間生活、物基、化基から2																																																											
選抜方法等	<p>下記1～2の選考結果を総合して判定します。</p> <p>1 書類審査 調査書、推薦書、志望理由書、活動報告書</p> <p>2 個人面接（口頭試問あり） 複数の面接担当者による個人面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行い、提出書類等の確認をする場合があります。また、高校の基礎学力や理解力を確認するため、口頭試問を行う場合があります。口頭試問を行う場合における科目等の範囲は、下表のとおりです。</p> <p style="text-align: center;">【口頭試問において基礎学力・理解力を確認する科目の範囲】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">コース</th> <th colspan="3">数 学</th> <th colspan="2">理 科</th> <th rowspan="2">英 語</th> </tr> <tr> <th>数学Ⅰ・ 数 学 A</th> <th>数学Ⅱ・ 数 学 B</th> <th>数学Ⅲ・ 数 学 C</th> <th>物 理 ・ 物理基礎</th> <th>化 学 ・ 化学基礎</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会基盤デザイン^(注)</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>機 械 科 学</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>応用化学システム^(注)</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>電 気 電 子 シ ス テ ム</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>知 能 情 報</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>光 シ ス テ ム</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">注 社会基盤デザインコース及び応用化学システムコースにおいては、数学、理科及び英語の中から口頭試問を行う場合があります。</p>						コース	数 学			理 科		英 語	数学Ⅰ・ 数 学 A	数学Ⅱ・ 数 学 B	数学Ⅲ・ 数 学 C	物 理 ・ 物理基礎	化 学 ・ 化学基礎	社会基盤デザイン ^(注)		●		●	●	●	機 械 科 学		●		●			応用化学システム ^(注)		●		●	●	●	電 気 電 子 シ ス テ ム		●					知 能 情 報		●				●	光 シ ス テ ム		●				●
コース	数 学			理 科		英 語																																																						
	数学Ⅰ・ 数 学 A	数学Ⅱ・ 数 学 B	数学Ⅲ・ 数 学 C	物 理 ・ 物理基礎	化 学 ・ 化学基礎																																																							
社会基盤デザイン ^(注)		●		●	●	●																																																						
機 械 科 学		●		●																																																								
応用化学システム ^(注)		●		●	●	●																																																						
電 気 電 子 シ ス テ ム		●																																																										
知 能 情 報		●				●																																																						
光 シ ス テ ム		●				●																																																						
備 考																																																												

学部・学科 ・コース	理 工 学 部																				
	理 工 学 科 (昼 間) <次世代光フロンティア入試>																				
	光システムコース																				
募集人員	5人																				
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者とします。</p> <p>(1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者で、次の教科・科目を履修した（見込みを含む。）者</p> <p>① 普通科に在籍している者</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">履 修 教 科 ・ 科 目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数</td> <td>数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物基、化基、物、化</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「数学C」については、旧教育課程の履修者においては、一般選抜の個別学力検査の出題範囲（P8）を含む科目とする。</p> <p>② 理数に関する学科に在籍している者</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">履 修 教 科 ・ 科 目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数</td> <td>理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>理数物理、理数化学</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 専門教育を主とする学科に在籍している者（①の教科・科目でも可）</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">履 修 教 科 ・ 科 目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">数</td> <td>数Ⅰ、数Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>情報に関する科目※から1又は簿記及び財務会計Ⅰ</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>科学と人間生活、物基、化基から2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「情報に関する科目」は、4ページの新旧対照表で該当するいずれかの科目とする。</p> <p>(2) 学業成績、人物ともに優れ、発光・受光素子、光材料、光情報、生体光学など次世代光科学に関する研究に強い関心を持ち、将来、光科学を通じて生活を豊かにすることに意欲を有する者</p> <p>(3) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者であり、実用英語技能検定が1,700点以上の者又は Cambridge English（リンガスキルも可）120点以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員は、1校当たり1人です。</p>		履 修 教 科 ・ 科 目		数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C	理	物基、化基、物、化	履 修 教 科 ・ 科 目		数	理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ	理	理数物理、理数化学	履 修 教 科 ・ 科 目		数	数Ⅰ、数Ⅱ	情報に関する科目※から1又は簿記及び財務会計Ⅰ	理	科学と人間生活、物基、化基から2
履 修 教 科 ・ 科 目																					
数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C																				
理	物基、化基、物、化																				
履 修 教 科 ・ 科 目																					
数	理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ																				
理	理数物理、理数化学																				
履 修 教 科 ・ 科 目																					
数	数Ⅰ、数Ⅱ																				
	情報に関する科目※から1又は簿記及び財務会計Ⅰ																				
理	科学と人間生活、物基、化基から2																				
選抜方法等	<p>下記1～2の選考結果を総合して判定します。</p> <p>ただし、入学志願者数等の状況によっては、「1書類審査」の内容により第1次選考を行うことがあります。この場合は、第1次選考合格者にのみ、第2次選考として、個人面接を行います（総得点：150点満点）。</p> <p>1 書類審査 [50点] 調査書、推薦書、志望理由書、活動報告書</p> <p>2 個人面接（口頭試問を含む。）[100点] ※口頭試問は「数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C）」の中から試問します。口頭試問の得点が一定水準以下の場合は、合計点のいかんに関わらず不合格とします。</p>																				
備 考	<p>・実用英語技能検定及び Cambridge English（リンガスキルも可）の成績は、出願時までに取り得たもの（その受験日が出願時点から遡り2年6か月以内であること）に限ります。</p>																				

学部・学科 ・コース	理 工 学 部																																																									
	理 工 学 科 (夜 間 主) <理工学経験重視型>																																																									
	社会基盤 デザインコース	機械科学コース	応用化学 システムコース	電気電子 システムコース	知能情報コース																																																					
募集人員	若干人	若干人	若干人	若干人	若干人																																																					
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校の工業に関する学科を令和7年3月卒業見込みの者であり、次の教科・科目を履修した(見込みを含む。)者</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">履 修 教 科 ・ 科 目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">数</td> <td>数Ⅰ</td> </tr> <tr> <td>数Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>工業情報数理※、数Ⅲから1</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>科学と人間生活、物基、化基から2</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 40px;">※旧課程を履修した者においては、「工業情報数理」を旧「工業数理基礎」に読み替えるものとする。</p> <p>(2) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から各コースに推薦できる人員は、特に制限を設けません。</p>					履 修 教 科 ・ 科 目		数	数Ⅰ	数Ⅱ	工業情報数理※、数Ⅲから1	理	科学と人間生活、物基、化基から2																																													
履 修 教 科 ・ 科 目																																																										
数	数Ⅰ																																																									
	数Ⅱ																																																									
	工業情報数理※、数Ⅲから1																																																									
理	科学と人間生活、物基、化基から2																																																									
選抜方法等	<p>下記1～2の選考結果を総合して判定します。</p> <p>1 書類審査 調査書、推薦書、志望理由書、活動報告書</p> <p>2 個人面接(口頭試問あり) 複数の面接担当者による個人面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行い、提出書類等の確認をする場合があります。また、高校の基礎学力や理解力を確認するため、口頭試問を行う場合があります。口頭試問を行う場合における科目等の範囲は、下表のとおりです。</p> <p style="text-align: center;">【口頭試問において基礎学力・理解力を確認する科目の範囲】</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">コース</th> <th rowspan="2">科目</th> <th colspan="3">数学</th> <th colspan="2">理科</th> <th rowspan="2">英語</th> </tr> <tr> <th>数学Ⅰ・ 数学A</th> <th>数学Ⅱ・ 数学B</th> <th>数学Ⅲ・ 数学C</th> <th>物 理 ・ 物理基礎</th> <th>化 学 ・ 化学基礎</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会基盤デザイン^(注)</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>機 械 科 学</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>応用化学システム^(注)</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>電 気 電 子 シ ス テ ム</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>知 能 情 報</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 社会基盤デザインコース及び応用化学システムコースにおいては、数学、理科及び英語の中から口頭試問を行う場合があります。</p>					コース	科目	数学			理科		英語	数学Ⅰ・ 数学A	数学Ⅱ・ 数学B	数学Ⅲ・ 数学C	物 理 ・ 物理基礎	化 学 ・ 化学基礎	社会基盤デザイン ^(注)		●			●	●	●	機 械 科 学		●			●			応用化学システム ^(注)		●			●	●	●	電 気 電 子 シ ス テ ム		●						知 能 情 報		●					●
コース	科目	数学			理科			英語																																																		
		数学Ⅰ・ 数学A	数学Ⅱ・ 数学B	数学Ⅲ・ 数学C	物 理 ・ 物理基礎	化 学 ・ 化学基礎																																																				
社会基盤デザイン ^(注)		●			●	●	●																																																			
機 械 科 学		●			●																																																					
応用化学システム ^(注)		●			●	●	●																																																			
電 気 電 子 シ ス テ ム		●																																																								
知 能 情 報		●					●																																																			
備 考																																																										

学部・学科	生物資源産業学部
	生物資源産業学科 〈地方創生型〉
募集人員	6人（専門高校・総合学科全国枠2人、専門高校・総合学科地域枠4人）
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者とします。</p> <p>【専門高校・総合学科全国枠】</p> <p>(1) 全国における高等学校の農業、工業、商業、水産に関する学科又は総合学科を令和7年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 大学卒業又は大学院修了後にバイオ産業、食品産業、1次産業、6次産業のいずれかの担い手として強い意欲を持つ者又は生物資源・生物資源産業に関連する探究活動の経験を持つ者</p> <p>(3) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者</p> <p>【専門高校・総合学科地域枠】</p> <p>(1) 徳島県内における高等学校の農業、工業、商業、水産に関する学科又は総合学科を令和7年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 大学卒業又は大学院修了後に徳島県の産業を担い、地域創生に強い意欲を持つ者</p> <p>(3) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員は、専門学校・総合学科全国枠と専門高校・総合学科地域枠を合わせて1校当たり2人以内です。</p>
選抜方法等	<p>下記1～3の選考結果を総合して判定します。</p> <p>ただし、入学志願者数の状況によっては、「1書類審査」の内容により第1次選考を行うことがあります。この場合は、第1次選考合格者にのみ、第2次選考として、小論文、個人面接（口頭試問含む。）を行います（総得点：650点満点）。</p> <p>1 書類審査 [150点] 調査書、推薦書、活動報告書、学びの設計書</p> <p>2 小論文 [300点] 日本語で書かれた文章や図表等により、「思考力・判断力」「表現力」を問う論述式の出題を行います。</p> <p>3 個人面接（口頭試問含む。） [200点] 複数の面接担当者による個人面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づいて個人面接を行い、提出書類等の確認を行う場合があります。 また、高校の基礎学力を確認するため、口頭試問（化学基礎・化学）を行います。</p>
備考	小論文又は口頭試問の得点が一定水準以下の場合は、総得点のいかんに関わらず不合格とします。

推
薦
|

学部・学科	生物資源産業学部
	生物資源産業学科 <地方創生型>
募集人員	6人（地域産業振興枠）
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者で、学業成績が優秀であり、自ら住む地域の農林水畜産業や生物資源産業に愛着をもち、将来において地域産業振興のリーダーとして実現性のある新しい価値を創造し、地方創生に意欲を持つ者</p> <p>(2) 大学卒業又は大学院修了後に、徳島県内高校卒業者は徳島県内、徳島県外高校卒業者は出身都道府県内又は徳島県内におけるバイオ産業、食品産業、1次産業、6次産業のいずれかの担い手として強く志望する者</p> <p>(3) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者であり、実用英語技能検定が1,700点以上の者又は Cambridge English（リンガスキルも可）120点以上の者</p> <p>(4) 高等学校において「化学」又は「理数化学」のいずれかを履修した（見込みを含む。）者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員は、1校当たり1人です。</p>
選抜方法等	<p>下記1～3の選考結果を総合して判定します。</p> <p>ただし、入学志願者数の状況によっては、書類審査に基づく第1次選考を行うことがあります。この場合は、第1次選考合格者以外にも、第2次選考として、小論文及び個人面接による選抜を行います。また、小論文又は口頭試問の得点が一定水準以下の場合は、合計点のいかんに関わらず不合格とします。</p> <p>1 書類審査 [150点] 調査書、推薦書、活動報告書、学びの設計書</p> <p>2 小論文 [300点]</p> <p>3 個人面接（プレゼンテーション、口頭試問が中心） [200点] ※プレゼンテーションは「学びの設計書」に関する内容（日本語で5分） ※口頭試問は「化学基礎・化学」</p>
備考	<p>※本枠は、徳島県内のみならず全国各地の地域産業振興への貢献に意欲のある志願者を選抜します。</p> <p>・実用英語技能検定及び Cambridge English（リンガスキルも可）の成績は、出願時まで取得したもの（受験日が出願時点から遡り2年6か月以内であること）に限ります。</p>

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

1 募集人員及び推薦人員

学 部	学 科 等	募 集 人 員	各高等学校から推薦できる人員	
総合科学部	社会総合科学科	30人 (大学入学共通テスト利用 6(7)教科型)	制限なし	
		15人 (大学入学共通テスト利用 4教科型)		
医学部	医 学 科	37人 (一般枠20人、 地域枠(地域特別枠)17人)		
	医 科 栄 養 学 科	13人		
	保健学科	看護学専攻		20人
		放射線技術科学専攻		8人
		検査技術科学専攻		5人
学部計		83人		
歯学部	歯 学 科	10人		
	口 腔 保 健 学 科	5人		
	学部計			15人
薬学部	薬 学 科	5人 (創薬研究者育成型)		
		5人 (先導的地域医療 薬剤師育成型)		
理工学部	理 工 学 科 (昼 間)			158人
	履 修 コ ー ス	数 理 科 学 コ ー ス	(6人)	
		自 然 科 学 コ ー ス	(9人)	
		社 会 基 盤 デ ザ イン コ ー ス	(24人)	
		機 械 科 学 コ ー ス	(25人)	
		応 用 化 学 シ ス テ ム コ ー ス	(24人)	
		電 気 電 子 シ ス テ ム コ ー ス	(22人)	
		知 能 情 報 コ ー ス	(23人)	
		光 シ ス テ ム コ ー ス	(10人)	
医 光 / 医 工 融 合 プ ロ グ ラ ム		15人		
生物資源産業学部	生 物 資 源 産 業 学 科	22人		

(注) 1 本学が実施する学校推薦型選抜に出願した者は、本学を含む国公立大学が実施する他の総合型選抜及び学校推薦型選抜への出願はできません。

ただし、本学における推薦Ⅰで合格者とならなかった者は、推薦Ⅰと同一の学科・専攻・コースを志望する場合には限り、本学における推薦Ⅱに出願することができます。

2 学校推薦型選抜において記載されている「高等学校」には、中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

3 合格者が募集人員に満たない場合は、不足人員を一般選抜で補充します。

4 薬学部は、入学志願者数の状況によっては、第1次選考通過者を募集人員の約5倍とする場合があります。

5 理工学部理工学科の募集人員の()内の数は、各コースの受入人員の目安です。

6 医学部医学科の募集人員は、現在調整中です。確定次第、本学ホームページ等でお知らせします。

推
薦
Ⅱ

2 推薦要件及び選抜方法等

本選抜で本学に入学を志願する者は、令和7年度大学入学共通テストのうち本学が指定した全教科・科目を受験する必要があります。指定した教科・科目を受験しなかった者は無資格者となります。

なお、本学では、過年度の大学入学共通テストの成績は利用しません。

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目等について

本選抜で本学に入学を志願する者は、令和7年度大学入学共通テストのうち、本学が指定する全ての教科・科目を受験する必要があります。

- ① 利用教科・科目等の選択方法は、新教育課程、旧教育課程いずれの場合も、大学入試センターが定めるとおりです。本学への出願が可能な科目選択等については、学部・学科別に指定があります。
- ② 学科等が指定する大学入学共通テストの利用教科・科目において、「新教育課程による出題科目」に対応する「旧教育課程による出題科目」がないものは「-」と表記します。
- ③ 2科目を課す教科については、配点表中に2科目の配点合計を示します。各科目の配点は、特に指定がない限り同点とします。
- ④ 地歴、公民及び理科で1科目を課している場合において、2科目受験者については、学部等が個別に定めている場合を除き、「第1解答科目」の成績を採用します。
なお、出願する学科等が指定する科目を「第1解答科目」で受験せず「第2解答科目」で受験した場合は、当該利用教科を受験したものと見なした上で、成績は「0点」とします。
- ⑤ 地歴、公民から「地理／歴史／公共」を、理科から「理基礎」を選択する場合は、科目の出題範囲からそれぞれ2つの出題範囲を選択解答する必要があります。
- ⑥ 外国語の「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニング」を含みます。
「英語」の成績は、リーディング(100点満点)を200点満点に、リスニング(100点満点)を50点満点に換算し、合計250点満点を各学科等が定める配点に換算します。ただし、リスニングを免除された受験者については、他の外国語の科目受験者と同様にリーディングの得点のみ利用します。
- ⑦ 「情報」については、点数化を行わず「総合判定の参考」とします。
- ⑧ 専門学科に関する科目について

旧教育課程による出題科目の「旧簿記・会計」及び「旧情報関係基礎」を利用科目に指定する学科等で当該科目を選択できる者は、高等学校(中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。)の専門学科及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した(見込みを含む。)者に限ります。

(2) 出願資格について

各学科の推薦要件に定めている「個別の入学資格審査」については、本学ホームページの受験生サイトを参照又は入試課へ照会してください。申請を行う場合は、本選抜の申請期限に注意してください。

(3) 推薦要件及び選抜方法等

学部・学科	総合科学部				
	社会総合科学科 〈大学入学共通テスト利用6(7)教科型〉				
募集人員	30人				
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校等の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者で、学業成績が優秀であり、幅広い基礎学力を有している者、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認められた者で、令和7年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(2) 令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学部が指定した全教科・科目を受験した者</p> <p>(3) 本学部の教育分野に強い関心をもつ者又は専攻したい領域への意欲が強い者</p> <p>(4) 高等学校等における調査書「全体の学習成績の状況」が3.8以上の者</p> <p>(5) 高等学校等時代に教科、部活動、校外活動を通じて旺盛な知的好奇心を培い、入学後は学術的指向性が発揮されることが期待できる者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校等から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>				
選抜方法等	第1次選考及び第2次選考の結果を総合して判定します。				
	1 第1次選考 〈大学入学共通テスト／書類審査〉 (900点)				
	(1) 大学入学共通テスト 本選抜で指定する大学入学共通テストの利用教科・科目等及び配点は、次のとおりです。 なお、大学入学共通テストの成績が全国平均点（大学入試センターが発表する各科目の平均点の合計点）程度に達しない場合は、合格者となりません。				
	教科	利用教科・科目等		配点	
	国	国	国語	◎ □ 200	
	地歴 公民	地理、日、世、倫、政経 } から2 地理 / 歴史 / 公共	地理総合、地理探究	○	} □ 200
			歴史総合、日本史探究	○	
			歴史総合、世界史探究	○	
			公共、倫理	○	
			公共、政治・経済	○	
地理総合 / 歴史総合 / 公共			地理総合 ○ 歴史総合 ○ 公共 ○	○又は2	
数	数Ⅰ・数A、数Ⅰから1 数Ⅱ・数B・数C	① 数学Ⅰ、数学A	○	} □ 200	
		数学Ⅰ	○		
理科	理基礎、物、化、生、地学から1	物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎	物理基礎	○	} □ 100
			化学基礎	○	
			生物基礎	○	
			地学基礎	○	
		物理	○	} □	
		化学	○		
		生物	○		
		地学	○		
外	英、独、仏、中、韓から1	英語（リスニングを含む。）	○	} □ 200	
		ドイツ語	○		
		フランス語	○		
		中国語	○		
		韓国語	○		
情	情Ⅰ	情報Ⅰ	◎ □ ●	900	
配点合計					
注1 ◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□囲みの数字は成績利用科目数を示します。					
注2 ●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。					
(2) 書類審査〈調査書、推薦書、志望理由書〉 アドミッション・ポリシーとの適合等について評価を行います。アドミッション・ポリシーに適合していないと判定した場合は、合格者となりません。 なお、審査書類は、第2次選考においても集団面接の得点に含めて選考を行います。					
2 第2次選考〈集団面接〉〔600点〕 複数の面接担当者による集団面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づき評価を行い、審査書類等の内容について確認を行う場合があります。					
備考					

推薦

学部・学科	総合科学部																																																																
	社会総合科学科		〈大学入学共通テスト利用4教科型〉																																																														
募集人員	15人																																																																
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校等の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者で、学業成績が優秀であり、基礎学力を有している者、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認められた者で、令和7年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(2) 令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学部が指定した全教科・科目を受験した者</p> <p>(3) 本学部の教育分野に強い関心をもつ者又は専攻したい領域への意欲が強い者</p> <p>(4) 高等学校等における調査書「全体の学習成績の状況」が3.8以上の者</p> <p>(5) 高等学校等時代に教科、部活動、校外活動を通じて旺盛な知的好奇心を培い、入学後は学術的指向性が発揮されることが期待できる者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校等から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>																																																																
選抜方法等	<p>第1次選考及び第2次選考の結果を総合して判定します。</p> <p>1 第1次選考〈大学入学共通テスト／書類審査〉(900点)</p> <p>(1) 大学入学共通テスト 本選抜で指定する大学入学共通テストの利用教科・科目等及び配点は、次のとおりです。 なお、大学入学共通テストの成績が全国平均点（大学入試センターが発表する各科目の平均点の合計点）程度に達しない場合は、合格者となりません。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th colspan="2">利用教科・科目</th> <th>◎</th> <th>□</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>国語</td> <td>◎</td> <td>□</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">地歴 公民</td> <td rowspan="6">地理、日、世、倫、政経 地理 / 歴史 / 公共</td> <td>地理総合、地理探究</td> <td>○</td> <td rowspan="6">}</td> <td rowspan="6">300</td> </tr> <tr> <td>歴史総合、日本史探究</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>歴史総合、世界史探究</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>公共、倫理</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>公共、政治・経済</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>地理総合 / 歴史総合 / 公共</td> <td>地理総合 歴史総合 公共</td> <td>○ ○ ○</td> <td>0 又は 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">数</td> <td rowspan="2">数Ⅰ・数A、数Ⅰ 数Ⅱ・数B・数C</td> <td>① 数学Ⅰ、数学A</td> <td>○</td> <td rowspan="2">}</td> <td rowspan="2">300</td> </tr> <tr> <td>② 数学Ⅱ、数学B、数学C</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">外</td> <td rowspan="4">英、独、仏、中、韓から1</td> <td>英語（リスニングを含む。）</td> <td>○</td> <td rowspan="4">}</td> <td rowspan="4">300</td> </tr> <tr> <td>ドイツ語</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>フランス語</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>中国語</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">情</td> <td rowspan="2">情Ⅰ</td> <td>情報Ⅰ</td> <td>◎</td> <td>□</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">配点合計</td> <td></td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 ◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□印の数字は成績利用科目数を示します。 注2 ●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。 注3 地歴、公民及び数学で受験した科目のうち、最も得点が高い科目を利用します。なお、地歴、公民を2科目受験した場合、成績の利用対象は「第一解答科目」のみです。</p> <p>(2) 書類審査〈調査書、推薦書、志望理由書〉 アドミッション・ポリシーとの適合等について評価を行います。アドミッション・ポリシーに適合していないと判定した場合は、合格者となりません。 なお、審査書類は、第2次選考においても集団面接の得点に含めて選考を行います。</p> <p>2 第2次選考〈集団面接〉(600点) 複数の面接担当者による集団面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づき評価を行い、審査書類等の内容について確認を行う場合があります。</p>				教科	利用教科・科目		◎	□	配点	国	国	国語	◎	□	300	地歴 公民	地理、日、世、倫、政経 地理 / 歴史 / 公共	地理総合、地理探究	○	}	300	歴史総合、日本史探究	○	歴史総合、世界史探究	○	公共、倫理	○	公共、政治・経済	○	地理総合 / 歴史総合 / 公共	地理総合 歴史総合 公共	○ ○ ○	0 又は 2	数	数Ⅰ・数A、数Ⅰ 数Ⅱ・数B・数C	① 数学Ⅰ、数学A	○	}	300	② 数学Ⅱ、数学B、数学C	○	外	英、独、仏、中、韓から1	英語（リスニングを含む。）	○	}	300	ドイツ語	○	フランス語	○	中国語	○	情	情Ⅰ	情報Ⅰ	◎	□	●	配点合計				900
教科	利用教科・科目		◎	□	配点																																																												
国	国	国語	◎	□	300																																																												
地歴 公民	地理、日、世、倫、政経 地理 / 歴史 / 公共	地理総合、地理探究	○	}	300																																																												
		歴史総合、日本史探究	○																																																														
		歴史総合、世界史探究	○																																																														
		公共、倫理	○																																																														
		公共、政治・経済	○																																																														
		地理総合 / 歴史総合 / 公共	地理総合 歴史総合 公共			○ ○ ○	0 又は 2																																																										
数	数Ⅰ・数A、数Ⅰ 数Ⅱ・数B・数C	① 数学Ⅰ、数学A	○	}	300																																																												
		② 数学Ⅱ、数学B、数学C	○																																																														
外	英、独、仏、中、韓から1	英語（リスニングを含む。）	○	}	300																																																												
		ドイツ語	○																																																														
		フランス語	○																																																														
		中国語	○																																																														
情	情Ⅰ	情報Ⅰ	◎	□	●																																																												
		配点合計				900																																																											
備考																																																																	

学部・学科	医 学 部																																																																																				
	医 学 科			〈適性と学力重視型〉																																																																																	
募集人員	37人（一般枠20人、地域枠（地域特別枠）17人）																																																																																				
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者とします。</p> <p>【一般枠・地域枠（地域特別枠）共通】</p> <p>(1) 高等学校を令和5年4月1日から令和7年3月31日までに卒業した者又は卒業見込みの者で、令和7年度大学入学共通テストにおいて本学部が指定した全教科・科目を受験した者</p> <p>(2) 本学で学ぶにふさわしく、かつ、大学院（博士課程）への進学に意のある者</p> <p>(3) 将来像として、次のいずれかを希望する者</p> <p>① 病める人の気持ちができるような思いやりのある温かい心をもつ医師をめざす者</p> <p>② 医学研究の発展に貢献する医学者をめざす者</p> <p>③ 医療行政、福祉の領域で国民の健康の維持・増進に尽くす者</p> <p>(4) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が4.3以上の者</p> <p>(5) スポーツ・文化活動、ボランティア活動又は国際交流活動等を通して、広い視野をもち充実した高等学校生活を送っている者</p> <p>【地域枠（地域特別枠）のみ】 地域枠（地域特別枠）は、次の要件を満たしていること。</p> <p>① 将来、医師として徳島県での医療を担うという強い意志を有する者</p> <p>② 徳島県が実施する面接を受け、徳島県から推薦状を受けた者</p> <p>③ 地域特別枠として入学を確約できる者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>																																																																																				
選抜方法等	<p>第1次選考及び第2次選考の結果を総合して判定します。</p> <p>1 第1次選考〔大学入学共通テスト／書類審査〕</p> <p>(1) 大学入学共通テスト 本選抜で指定する大学入学共通テストの利用教科・科目等及び配点は、次のとおりです。 なお、大学入学共通テストの成績が本学科が指定する各科目の合計点（傾斜後：900点満点）の概ね75%未満の場合は、合格者となりません。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">教科</th> <th colspan="4">利用教科・科目</th> <th rowspan="2">配点</th> </tr> <tr> <th colspan="3">新教育課程による出題科目</th> <th>旧教育課程による出題科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>国語</td> <td>◎</td> <td>□</td> <td>—</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">地歴 公民</td> <td rowspan="6">地理、日、世、倫、政経 }から1 地理/歴史/公共</td> <td>地理総合、地理探究</td> <td>○</td> <td rowspan="6">}から1 旧世B、旧日B、旧地理B } 旧現社、旧倫、旧政経 } 旧倫・政経</td> <td rowspan="6">}</td> <td rowspan="6">100</td> </tr> <tr> <td>歴史総合、日本史探究</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>歴史総合、世界史探究</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>公共、倫理</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>公共、政治・経済</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>地理総合/歴史総合/公共</td> <td>地理総合 ○ 歴史総合 ○ 公共 ○</td> <td>0又は2</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C</td> <td>① 数学Ⅰ、数学A 数学Ⅰ</td> <td>◎</td> <td>□</td> <td rowspan="2">旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B }から1 旧簿、旧情基</td> <td rowspan="2">200</td> </tr> <tr> <td>② 数学Ⅱ、数学B、数学C</td> <td>◎</td> <td>□</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>物、化、生から2</td> <td>物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎</td> <td>物理基礎 × 化学基礎 × 生物基礎 × 地学基礎 ×</td> <td rowspan="6">}から2 旧物、旧化、旧生 } 旧物、旧化、旧生 } 旧物、旧化、旧生 } 旧物、旧化、旧生 } 旧物、旧化、旧生 } 旧物、旧化、旧生 }</td> <td rowspan="6">}</td> <td rowspan="6">200</td> </tr> <tr> <td>物理</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>化学</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>生物</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>地学</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英、独、仏、中、韓から1</td> <td>英語（リスニングを含む。） ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語</td> <td>○ ○ ○ ○ ○</td> <td>□</td> <td>—</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>情</td> <td>情Ⅰ</td> <td>情報Ⅰ</td> <td>◎</td> <td>□</td> <td>旧情</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td colspan="5">配点合計</td> <td></td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 ◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□印の数字は成績利用科目数を示します。 2 ●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。</p>				教科	利用教科・科目				配点	新教育課程による出題科目			旧教育課程による出題科目	国	国	国語	◎	□	—	200	地歴 公民	地理、日、世、倫、政経 }から1 地理/歴史/公共	地理総合、地理探究	○	}から1 旧世B、旧日B、旧地理B } 旧現社、旧倫、旧政経 } 旧倫・政経	}	100	歴史総合、日本史探究	○	歴史総合、世界史探究	○	公共、倫理	○	公共、政治・経済	○	地理総合/歴史総合/公共	地理総合 ○ 歴史総合 ○ 公共 ○	0又は2	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	① 数学Ⅰ、数学A 数学Ⅰ	◎	□	旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B }から1 旧簿、旧情基	200	② 数学Ⅱ、数学B、数学C	◎	□	理科	物、化、生から2	物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎	物理基礎 × 化学基礎 × 生物基礎 × 地学基礎 ×	}から2 旧物、旧化、旧生 } 旧物、旧化、旧生 } 旧物、旧化、旧生 } 旧物、旧化、旧生 } 旧物、旧化、旧生 } 旧物、旧化、旧生 }	}	200	物理	○	化学	○	生物	○	地学	×	外	英、独、仏、中、韓から1	英語（リスニングを含む。） ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	○ ○ ○ ○ ○	□	—	200	情	情Ⅰ	情報Ⅰ	◎	□	旧情	●	配点合計						900
教科	利用教科・科目					配点																																																																															
	新教育課程による出題科目			旧教育課程による出題科目																																																																																	
国	国	国語	◎	□	—	200																																																																															
地歴 公民	地理、日、世、倫、政経 }から1 地理/歴史/公共	地理総合、地理探究	○	}から1 旧世B、旧日B、旧地理B } 旧現社、旧倫、旧政経 } 旧倫・政経	}	100																																																																															
		歴史総合、日本史探究	○																																																																																		
		歴史総合、世界史探究	○																																																																																		
		公共、倫理	○																																																																																		
		公共、政治・経済	○																																																																																		
		地理総合/歴史総合/公共	地理総合 ○ 歴史総合 ○ 公共 ○				0又は2																																																																														
数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	① 数学Ⅰ、数学A 数学Ⅰ	◎	□	旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B }から1 旧簿、旧情基	200																																																																															
② 数学Ⅱ、数学B、数学C	◎	□																																																																																			
理科	物、化、生から2	物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎	物理基礎 × 化学基礎 × 生物基礎 × 地学基礎 ×	}から2 旧物、旧化、旧生 } 旧物、旧化、旧生 } 旧物、旧化、旧生 } 旧物、旧化、旧生 } 旧物、旧化、旧生 } 旧物、旧化、旧生 }	}	200																																																																															
物理	○																																																																																				
化学	○																																																																																				
生物	○																																																																																				
地学	×																																																																																				
外	英、独、仏、中、韓から1	英語（リスニングを含む。） ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	○ ○ ○ ○ ○				□	—	200																																																																												
情	情Ⅰ	情報Ⅰ	◎	□	旧情	●																																																																															
配点合計						900																																																																															
	(2) 書類審査〈調査書、推薦書、志望理由書、推薦状、確約書（地域枠のみ）〉																																																																																				

推
薦
Ⅱ

	<p>2 第2次選考〈集団討論／集団面接〉(200点)</p> <p>(1) 集団討論 複数の評価担当者による集団討論を行います。</p> <p>(2) 集団面接 複数の面接担当者による集団面接を行います。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、アドミッション・ポリシーへの適合性等について評価を行います。評価に基づき、大学入学共通テスト等の成績にかかわらず不合格となることがあります。</p> <p>(3) 個人面接 ※地域枠(地域特別枠)のみ 複数の面接担当者による個人面接を行います。地域医療に対して責任を持って行動できる主体性等について評価します。</p>
備 考	<p>1 地域枠(地域特別枠)として17人を選抜した後、一般枠の志願者及び地域枠で合格者とならなかった者のうち、成績上位から20人を一般枠として選抜します。 なお、地域枠への出願の有無及び地域枠の選抜における個人面接の評価が、一般枠の選抜に影響することはありません。</p> <p>2 一般枠は、全国から学生募集を行います。地域枠(地域特別枠)については、令和7年度徳島大学医学部医学科学校推薦型選抜Ⅱに係る「徳島県地域枠推薦学生」募集要項(令和6年9月頃公表予定)(https://anshin.prof.tokushima.jp/med/bunya/ishi/)を確認し、徳島県が発行した推薦状を必ず提出してください。https://www.pref.tokushima.lg.jp/med/</p> <p>地域特別枠は、入学後に徳島県の医師修学資金を受け、卒業後の一定期間を徳島県の公的医療機関において従事することを前提とした学生募集です。</p> <p>※募集人員は、現在調整中です。</p>

学部・学科	医 学 部																																																																																										
	医 科 栄 養 学 科			〈主体性と学力重視型〉																																																																																							
募集人員	13人																																																																																										
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校を令和5年4月1日から令和7年3月31日までに卒業した者又は卒業見込みの者で、令和7年度大学入学共通テストにおいて本学部が指定した全教科・科目を受験した者</p> <p>(2) 学業成績、人物ともに優れ、将来予防医学及び治療医学を基盤とする栄養学に関する研究に貢献することが期待できる者</p> <p>(3) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>																																																																																										
選抜方法等	<p>第1次選考及び第2次選考の結果を総合して判定します。</p> <p>1 第1次選考〈大学入学共通テスト／書類審査〉</p> <p>(1) 大学入学共通テスト 本選抜で指定する大学入学共通テストの利用教科・科目等及び配点は、次のとおりです。 なお、大学入学共通テストの成績が全国平均点（大学入試センターが発表する各科目の平均点の合計点）程度に達しない場合は、合格者となりません。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">教科</th> <th colspan="4">利用教科・科目等</th> <th rowspan="2">配点</th> </tr> <tr> <th colspan="2">新教育課程による出題科目</th> <th colspan="2">旧教育課程による出題科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>国語</td> <td>◎</td> <td>□</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">地歴 公民</td> <td rowspan="6">地理、日、世、倫、政経 } から1 地理/歴史/公共</td> <td>地理総合、地理探究</td> <td>○</td> <td rowspan="6">□</td> <td rowspan="6">50</td> </tr> <tr> <td>歴史総合、日本史探究</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>歴史総合、世界史探究</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>公共、倫理</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>公共、政治・経済</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>地理総合/歴史総合/公共</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">数</td> <td rowspan="2">数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C</td> <td>① 数学Ⅰ、数学A</td> <td>◎</td> <td rowspan="2">□</td> <td rowspan="2">100</td> </tr> <tr> <td>② 数学Ⅱ、数学B、数学C</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">理科</td> <td rowspan="7">理基礎、物、化、生から1</td> <td>物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎</td> <td>○</td> <td rowspan="7">□</td> <td rowspan="7">100</td> </tr> <tr> <td>物理基礎</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>化学基礎</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>生物基礎</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>地学基礎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>物理</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>化学</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>生物</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">外</td> <td rowspan="5">英、独、仏、中、韓から1</td> <td>英語（リスニングを含む。）</td> <td>○</td> <td rowspan="5">□</td> <td rowspan="5">100</td> </tr> <tr> <td>ドイツ語</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>フランス語</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>中国語</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>韓国語</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>情</td> <td>情Ⅰ</td> <td>情報Ⅰ</td> <td>◎</td> <td>□</td> <td>旧情</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td colspan="5">配点合計</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 ◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□囲みの数字は成績利用科目数を示します。 注2 ●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。</p> <p>(2) 書類審査〈調査書、推薦書、志望理由書〉</p> <p>2 第2次選考〈個人面接〉 複数の面接担当者による個人面接を行います。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、アドミッション・ポリシーへの適合性等について評価を行います。評価に基づき、大学入学共通テスト等の成績にかかわらず不合格となることがあります。</p>				教科	利用教科・科目等				配点	新教育課程による出題科目		旧教育課程による出題科目		国	国	国語	◎	□	50	地歴 公民	地理、日、世、倫、政経 } から1 地理/歴史/公共	地理総合、地理探究	○	□	50	歴史総合、日本史探究	○	歴史総合、世界史探究	○	公共、倫理	○	公共、政治・経済	○	地理総合/歴史総合/公共	○	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	① 数学Ⅰ、数学A	◎	□	100	② 数学Ⅱ、数学B、数学C	◎	理科	理基礎、物、化、生から1	物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎	○	□	100	物理基礎	○	化学基礎	○	生物基礎	○	地学基礎	×	物理	○	化学	○	生物	○	外	英、独、仏、中、韓から1	英語（リスニングを含む。）	○	□	100	ドイツ語	○	フランス語	○	中国語	○	韓国語	○	情	情Ⅰ	情報Ⅰ	◎	□	旧情	●	配点合計					400
教科	利用教科・科目等					配点																																																																																					
	新教育課程による出題科目		旧教育課程による出題科目																																																																																								
国	国	国語	◎	□	50																																																																																						
地歴 公民	地理、日、世、倫、政経 } から1 地理/歴史/公共	地理総合、地理探究	○	□	50																																																																																						
		歴史総合、日本史探究	○																																																																																								
		歴史総合、世界史探究	○																																																																																								
		公共、倫理	○																																																																																								
		公共、政治・経済	○																																																																																								
		地理総合/歴史総合/公共	○																																																																																								
数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	① 数学Ⅰ、数学A	◎	□	100																																																																																						
		② 数学Ⅱ、数学B、数学C	◎																																																																																								
理科	理基礎、物、化、生から1	物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎	○	□	100																																																																																						
		物理基礎	○																																																																																								
		化学基礎	○																																																																																								
		生物基礎	○																																																																																								
		地学基礎	×																																																																																								
		物理	○																																																																																								
		化学	○																																																																																								
生物	○																																																																																										
外	英、独、仏、中、韓から1	英語（リスニングを含む。）	○	□	100																																																																																						
		ドイツ語	○																																																																																								
		フランス語	○																																																																																								
		中国語	○																																																																																								
		韓国語	○																																																																																								
情	情Ⅰ	情報Ⅰ	◎	□	旧情	●																																																																																					
配点合計					400																																																																																						
備考																																																																																											

推
薦
Ⅱ

学部・学科 ・専攻	医 学 部																																																																			
	保 健 学 科		〈主体性・表現力重視型〉																																																																	
	看 護 学 専 攻																																																																			
募集人員	20人																																																																			
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みであり、令和7年度大学入学共通テストにおいて本学部が指定した全教科・科目を受験した者</p> <p>(2) 学業成績、人物ともに優れ、国際化・高度化する医療の発展を支える看護技術を修得するために必要な基礎学力を有し、健康の維持、増進及び生活の質を高める看護学に貢献することが期待できる者</p> <p>(3) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>																																																																			
選抜方法等	<p>大学入学共通テストの成績及び個別学力検査等の結果を総合して判定します。</p> <p>1 大学入学共通テスト 本選抜で指定する大学入学共通テストの利用教科・科目等及び配点は、次のとおりです。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th colspan="3">利用教科・科目等</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>国語</td> <td>◎ □</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">地歴 公民</td> <td rowspan="6">地理、日、世、倫、政経 } から1 地理 / 歴史 / 公共</td> <td>地理総合、地理探究</td> <td>○</td> <td rowspan="6">} □ } □ } □ } □ } □ } □</td> </tr> <tr> <td>歴史総合、日本史探究</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>歴史総合、世界史探究</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>公共、倫理</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>公共、政治・経済</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>地理総合 / 歴史総合 / 公共</td> <td>地理総合 / 歴史総合 / 公共</td> <td>○ / ○ / ○ } 0又は2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">数</td> <td rowspan="3">数Ⅰ・数A、数Ⅰから1 数Ⅱ・数B・数C</td> <td>① 数学Ⅰ、数学A</td> <td>○</td> <td rowspan="3">} □ } □ } □</td> </tr> <tr> <td>数学Ⅰ</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>② 数学Ⅱ、数学B、数学C</td> <td>◎ □</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">理科</td> <td rowspan="6">物、化、生から2 又は理基礎</td> <td>物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎</td> <td>物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎</td> <td>○ / ○ / ○ / × } 0又は2 (注3)</td> </tr> <tr> <td>物理</td> <td>○</td> <td rowspan="4">} □ } □ } □ } □</td> </tr> <tr> <td>化学</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>生物</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>地学</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英、独、仏、中、韓から1</td> <td>英語(リスニングを含む。) ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語</td> <td>○ / ○ / ○ / ○ / ○</td> <td>} □</td> </tr> <tr> <td>情</td> <td>情Ⅰ</td> <td>情報Ⅰ</td> <td>◎ □</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">配 点 合 計</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 ◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□印みの数字は成績利用科目数を示します。 注2 ●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。 注3 理科で「理基礎」を含む2科目を受験した場合は、「理基礎」が「第2解答科目」であっても、理科の得点は、「理基礎」(100点満点)を利用します。 なお、「理基礎」を受験する場合、「生基」は必ず選択してください。 注4 理科で「物」「化」「生」から2科目を受験する場合、「生」は必ず選択してください。 なお、「物」「化」「生」から2科目を受験した場合の配点は、2科目の合計200点満点を100点満点に換算して利用します。</p> <p>2 個別学力検査等〈書類審査／集団討論／個人面接〉</p> <p>(1) 書類審査〈調査書、推薦書、志望理由書〉</p> <p>(2) 集団討論及び個人面接〔200点〕 複数の評価担当者による集団討論及び複数の面接担当者による個人面接を行います。 集団討論では、試験室で提示されるテーマをもとに討論を行います。 面接では、アドミッション・ポリシーに基づく評価を行います。また、提出書類等の内容を確認する場合があります。 なお、面接点数が一定水準以下の場合は、大学入学共通テストの成績等との合計点数に関わらず不合格となることがあります。</p>				教科	利用教科・科目等			配点	国	国	国語	◎ □	50	地歴 公民	地理、日、世、倫、政経 } から1 地理 / 歴史 / 公共	地理総合、地理探究	○	} □ } □ } □ } □ } □ } □	歴史総合、日本史探究	○	歴史総合、世界史探究	○	公共、倫理	○	公共、政治・経済	○	地理総合 / 歴史総合 / 公共	地理総合 / 歴史総合 / 公共	○ / ○ / ○ } 0又は2	数	数Ⅰ・数A、数Ⅰから1 数Ⅱ・数B・数C	① 数学Ⅰ、数学A	○	} □ } □ } □	数学Ⅰ	○	② 数学Ⅱ、数学B、数学C	◎ □	理科	物、化、生から2 又は理基礎	物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎	物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎	○ / ○ / ○ / × } 0又は2 (注3)	物理	○	} □ } □ } □ } □	化学	○	生物	○	地学	×	外	英、独、仏、中、韓から1	英語(リスニングを含む。) ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	○ / ○ / ○ / ○ / ○	} □	情	情Ⅰ	情報Ⅰ	◎ □	●	配 点 合 計				400
教科	利用教科・科目等			配点																																																																
国	国	国語	◎ □	50																																																																
地歴 公民	地理、日、世、倫、政経 } から1 地理 / 歴史 / 公共	地理総合、地理探究	○	} □ } □ } □ } □ } □ } □																																																																
		歴史総合、日本史探究	○																																																																	
		歴史総合、世界史探究	○																																																																	
		公共、倫理	○																																																																	
		公共、政治・経済	○																																																																	
		地理総合 / 歴史総合 / 公共	地理総合 / 歴史総合 / 公共		○ / ○ / ○ } 0又は2																																																															
数	数Ⅰ・数A、数Ⅰから1 数Ⅱ・数B・数C	① 数学Ⅰ、数学A	○	} □ } □ } □																																																																
		数学Ⅰ	○																																																																	
		② 数学Ⅱ、数学B、数学C	◎ □																																																																	
理科	物、化、生から2 又は理基礎	物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎	物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎	○ / ○ / ○ / × } 0又は2 (注3)																																																																
		物理	○	} □ } □ } □ } □																																																																
		化学	○																																																																	
		生物	○																																																																	
		地学	×																																																																	
		外	英、独、仏、中、韓から1	英語(リスニングを含む。) ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	○ / ○ / ○ / ○ / ○	} □																																																														
情	情Ⅰ	情報Ⅰ	◎ □	●																																																																
配 点 合 計				400																																																																
備 考																																																																				

学部・学科 ・専攻	医 学 部																																																												
	保 健 学 科			〈主体性重視型〉																																																									
	放 射 線 技 術 科 学 専 攻																																																												
募集人員	8人																																																												
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みであり、令和7年度大学入学共通テストにおいて本学部が指定した全教科・科目を受験した者</p> <p>(2) 学業成績、人物ともに優れ、放射線技術科学を基盤として、放射線医療の向上に貢献することが期待できる者</p> <p>(3) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が4.3以上の者</p> <p>(4) 高等学校において「物理」又は「理数物理」のいずれかを履修した（見込みを含む。）者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>																																																												
選抜方法等	<p>大学入学共通テストの成績及び個別学力検査等の結果を総合して判定します。</p> <p>1 大学入学共通テスト 本選抜で指定する大学入学共通テストの利用教科・科目等及び配点は、次のとおりです。s</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th colspan="3">利 用 教 科 ・ 科 目 等</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">数</td> <td rowspan="2">数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C</td> <td>①</td> <td>数学Ⅰ，数学A 数学Ⅰ</td> <td>◎ ×</td> <td rowspan="2">200</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>数学Ⅱ，数学B，数学C</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">理科</td> <td rowspan="5">理基礎、物、化、生から2</td> <td rowspan="4">物理基礎／ 化学基礎／ 生物基礎／ 地学基礎</td> <td>物理基礎</td> <td>×</td> <td rowspan="5">200</td> </tr> <tr> <td>化学基礎</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>生物基礎</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>地学基礎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>物理</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>化学</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>生物</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>地学</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英、独、仏、中、韓から1</td> <td>英語（リスニングを含む。）</td> <td>○</td> <td rowspan="5">100</td> </tr> <tr> <td>ドイツ語</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>フランス語</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>中国語</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>韓国語</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>情</td> <td>情Ⅰ</td> <td>情報Ⅰ</td> <td>◎</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">配 点 合 計</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 ◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□囲みの数字は成績利用科目数を示します。 2 ●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。</p> <p>2 個別学力検査等〈書類審査／個人面接〉</p> <p>(1) 書類審査〈調査書、推薦書、志望理由書〉</p> <p>(2) 個人面接 複数の面接担当者による個人面接を行います。本専攻が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、アドミッション・ポリシーへの適合性等についての評価を行います。評価に基づき、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがあります。</p>				教科	利 用 教 科 ・ 科 目 等			配点	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	①	数学Ⅰ，数学A 数学Ⅰ	◎ ×	200	②	数学Ⅱ，数学B，数学C	◎	理科	理基礎、物、化、生から2	物理基礎／ 化学基礎／ 生物基礎／ 地学基礎	物理基礎	×	200	化学基礎	○	生物基礎	○	地学基礎	×	物理	◎	化学	○	生物	○	地学	×	外	英、独、仏、中、韓から1	英語（リスニングを含む。）	○	100	ドイツ語	○	フランス語	○	中国語	○	韓国語	○	情	情Ⅰ	情報Ⅰ	◎	●	配 点 合 計				500
教科	利 用 教 科 ・ 科 目 等			配点																																																									
数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	①	数学Ⅰ，数学A 数学Ⅰ	◎ ×	200																																																								
		②	数学Ⅱ，数学B，数学C	◎																																																									
理科	理基礎、物、化、生から2	物理基礎／ 化学基礎／ 生物基礎／ 地学基礎	物理基礎	×	200																																																								
			化学基礎	○																																																									
			生物基礎	○																																																									
			地学基礎	×																																																									
		物理	◎																																																										
化学	○																																																												
生物	○																																																												
地学	×																																																												
外	英、独、仏、中、韓から1	英語（リスニングを含む。）	○	100																																																									
ドイツ語	○																																																												
フランス語	○																																																												
中国語	○																																																												
韓国語	○																																																												
情	情Ⅰ	情報Ⅰ	◎	●																																																									
配 点 合 計				500																																																									
備 考																																																													

推
薦
Ⅱ

学部・学科 ・専攻	医 学 部																																																																
	保 健 学 科			〈主体性・表現力重視型〉																																																													
	検 査 技 術 科 学 専 攻																																																																
募集人員	5人																																																																
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みであり令和7年度大学入学共通テストにおいて本学部が指定した全教科・科目を受験した者</p> <p>(2) 学業成績、人物ともに優れ、国際化・高度化する医療の発展を支える検査技術を修得するために必要な基礎学力を有し、検査技術の発展に貢献することが期待できる者</p> <p>(3) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が4.3以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>																																																																
選抜方法等	<p>大学入学共通テストの成績及び個別学力検査等の結果を総合して判定します。</p> <p>1 大学入学共通テスト 本選抜で指定する大学入学共通テストの利用教科・科目等及び配点は、次のとおりです。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th colspan="3">利 用 教 科 ・ 科 目 等</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">数</td> <td rowspan="3">数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C</td> <td>①</td> <td>数学Ⅰ, 数学A</td> <td>◎</td> <td rowspan="3">100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>数学Ⅰ</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>数学Ⅱ, 数学B, 数学C</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">理科</td> <td rowspan="7">化 物、生から1</td> <td rowspan="4">物理基礎／ 化学基礎／ 生物基礎／ 地学基礎</td> <td>物理基礎</td> <td>×</td> <td rowspan="7">150</td> </tr> <tr> <td>化学基礎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>生物基礎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>地学基礎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>物理</td> <td>○</td> <td rowspan="4">☐</td> </tr> <tr> <td>化学</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>生物</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>地学</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">外</td> <td rowspan="5">英、独、仏、中、韓から1</td> <td>英語 (リスニングを含む。)</td> <td>○</td> <td rowspan="5">150</td> </tr> <tr> <td>ドイツ語</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>フランス語</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>中国語</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>韓国語</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>情</td> <td>情Ⅰ</td> <td>情報Ⅰ</td> <td>◎</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">配 点 合 計</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 ◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□囲みの数字は成績利用科目数を示します。 注2 ●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。 注3 理科の配点は、化学を100点、物理又は生物を50点とします。</p> <p>2 個別学力検査等〈書類審査／集団面接〉</p> <p>(1) 書類審査〈調査書、推薦書、志望理由書〉</p> <p>(2) 集団面接〔200点〕 複数の面接担当者による集団面接を行います。面接では、アドミSSION・ポリシーに基づく評価を行います。また、提出書類等の内容を確認する場合があります。 なお、面接の評価が一定水準以下の場合は、大学入学共通テスト等との総合成績に関わらず不合格となることがあります。</p>				教科	利 用 教 科 ・ 科 目 等			配点	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	①	数学Ⅰ, 数学A	◎	100		数学Ⅰ	×	②	数学Ⅱ, 数学B, 数学C	◎	理科	化 物、生から1	物理基礎／ 化学基礎／ 生物基礎／ 地学基礎	物理基礎	×	150	化学基礎	×	生物基礎	×	地学基礎	×	物理	○	☐	化学	◎	生物	○	地学	×	外	英、独、仏、中、韓から1	英語 (リスニングを含む。)	○	150	ドイツ語	○	フランス語	○	中国語	○	韓国語	○	情	情Ⅰ	情報Ⅰ	◎	●	配 点 合 計				400
教科	利 用 教 科 ・ 科 目 等			配点																																																													
数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	①	数学Ⅰ, 数学A	◎	100																																																												
			数学Ⅰ	×																																																													
		②	数学Ⅱ, 数学B, 数学C	◎																																																													
理科	化 物、生から1	物理基礎／ 化学基礎／ 生物基礎／ 地学基礎	物理基礎	×	150																																																												
			化学基礎	×																																																													
			生物基礎	×																																																													
			地学基礎	×																																																													
		物理	○	☐																																																													
		化学	◎																																																														
		生物	○																																																														
地学	×																																																																
外	英、独、仏、中、韓から1	英語 (リスニングを含む。)	○	150																																																													
		ドイツ語	○																																																														
		フランス語	○																																																														
		中国語	○																																																														
		韓国語	○																																																														
情	情Ⅰ	情報Ⅰ	◎	●																																																													
配 点 合 計				400																																																													
備 考																																																																	

学部・学科	歯 学 部																																																																																		
	歯 学 科				〈主体性・表現力重視型〉																																																																														
募集人員	10人																																																																																		
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。 (1) 高等学校を令和5年4月1日から令和7年3月31日までに卒業した者又は卒業見込みの者であり、令和7年度大学入学共通テストにおいて本学部が指定した全教科・科目を受験した者 (2) 人物及び学業成績が優秀で、歯科医学を志し、大学教育を受けるにふさわしい能力、適性を備えている者 (3) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>																																																																																		
選抜方法等	<p>第1次選考及び第2次選考の結果を総合して判定します。</p> <p>1 第1次選考〈大学入学共通テスト／書類審査〉</p> <p>(1) 大学入学共通テスト 本選抜で指定する大学入学共通テストの利用教科・科目等及び配点は、次のとおりです。 なお、大学入学共通テストの成績が本学部が指定する各科目の合計点（傾斜後：550点満点）の概ね75%未満の場合は、合格者となりません。</p>																																																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">教科</th> <th colspan="4">利用教科・科目等</th> <th rowspan="2">配点</th> </tr> <tr> <th colspan="2">新教育課程による出題科目</th> <th colspan="2">旧教育課程による出題科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>国語</td> <td>◎</td> <td>□</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">地歴 公民</td> <td rowspan="6">地理、日、世、倫、政経 }から1 地理/歴史/公共</td> <td>地理総合、地理探究</td> <td>○</td> <td rowspan="6">}</td> <td rowspan="6">旧世B、旧日B、旧地理B }から1 旧現社、旧倫、旧政経 }から1 旧倫・政経</td> </tr> <tr> <td>歴史総合、日本史探究</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>歴史総合、世界史探究</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>公共、倫理</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>公共、政治・経済</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>地理総合/歴史総合/公共</td> <td>○</td> <td>○又は2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">数</td> <td rowspan="3">数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C</td> <td>① 数学Ⅰ、数学A</td> <td>◎</td> <td rowspan="3">}</td> <td rowspan="3">旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B }から1 旧簿、旧情基</td> </tr> <tr> <td>数学Ⅰ</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>② 数学Ⅱ、数学B、数学C</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">理科</td> <td rowspan="7">物、化、生から2</td> <td>物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎</td> <td>物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎</td> <td>×</td> <td rowspan="7">}</td> </tr> <tr> <td>物理</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>化学</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>生物</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>地学</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>英語(リスニングを含む。)</td> <td>○</td> <td rowspan="4">}</td> <td rowspan="4">-</td> </tr> <tr> <td>ドイツ語</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>フランス語</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>中国語</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">情</td> <td rowspan="2">情Ⅰ</td> <td>情報Ⅰ</td> <td>◎</td> <td>□</td> <td>旧情</td> </tr> <tr> <td colspan="4">配点合計</td> <td>550</td> </tr> </tbody> </table>					教科	利用教科・科目等				配点	新教育課程による出題科目		旧教育課程による出題科目		国	国	国語	◎	□	100	地歴 公民	地理、日、世、倫、政経 }から1 地理/歴史/公共	地理総合、地理探究	○	}	旧世B、旧日B、旧地理B }から1 旧現社、旧倫、旧政経 }から1 旧倫・政経	歴史総合、日本史探究	○	歴史総合、世界史探究	○	公共、倫理	○	公共、政治・経済	○	地理総合/歴史総合/公共	○	○又は2	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	① 数学Ⅰ、数学A	◎	}	旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B }から1 旧簿、旧情基	数学Ⅰ	×	② 数学Ⅱ、数学B、数学C	◎	理科	物、化、生から2	物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	×	}	物理	○	化学	○	生物	○	地学	×	英語(リスニングを含む。)	○	}	-	ドイツ語	○	フランス語	○	中国語	○	情	情Ⅰ	情報Ⅰ	◎	□	旧情	配点合計				550
	教科	利用教科・科目等					配点																																																																												
		新教育課程による出題科目		旧教育課程による出題科目																																																																															
	国	国	国語	◎	□	100																																																																													
	地歴 公民	地理、日、世、倫、政経 }から1 地理/歴史/公共	地理総合、地理探究	○	}	旧世B、旧日B、旧地理B }から1 旧現社、旧倫、旧政経 }から1 旧倫・政経																																																																													
			歴史総合、日本史探究	○																																																																															
			歴史総合、世界史探究	○																																																																															
			公共、倫理	○																																																																															
			公共、政治・経済	○																																																																															
			地理総合/歴史総合/公共	○			○又は2																																																																												
	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	① 数学Ⅰ、数学A	◎	}	旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B }から1 旧簿、旧情基																																																																													
			数学Ⅰ	×																																																																															
			② 数学Ⅱ、数学B、数学C	◎																																																																															
	理科	物、化、生から2	物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	×	}																																																																													
物理			○																																																																																
化学			○																																																																																
生物			○																																																																																
地学			×																																																																																
英語(リスニングを含む。)			○	}	-																																																																														
ドイツ語			○																																																																																
フランス語	○																																																																																		
中国語	○																																																																																		
情	情Ⅰ	情報Ⅰ	◎	□	旧情																																																																														
		配点合計				550																																																																													
<p>注1 ◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□囲みの数字は成績利用科目数を示します。 2 ●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。</p>																																																																																			
<p>(2) 書類審査〈調査書、推薦書、志望理由書〉 審査書類は、第2次選考の個人面接において内容を確認する場合があります。</p>																																																																																			
<p>2 第2次選考〈集団討論／個人面接〉〔200点〕 本学部が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、アドミッション・ポリシーへの適合性等について評価を行います。評価に基づき、大学入学共通テスト等の成績にかかわらず不合格となることがあります。</p> <p>(1) 集団討論 提示されるテーマに関して討論を行い、結論を導きます。 その過程を複数の担当者により評価します。</p> <p>(2) 個人面接 複数の面接担当者による個人面接を行います。また、提出書類等の内容を確認する場合があります。</p>																																																																																			
備考	<p>第1次選考の合格者が4名以下の場合、第2次選考において集団討論を実施せず、個人面接のみ200点の配点とします。この場合に、集団討論において評価予定だった項目は、個人面接及び出願時の提出書類を基に評価し、個人面接の得点に反映します。</p>																																																																																		

推
薦
Ⅱ

学部・学科	歯 学 部																																																																																					
	□ 腔 保 健 学 科			〈主体性・表現力重視型〉																																																																																		
募集人員	5人																																																																																					
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。 (1) 高等学校を令和5年4月1日から令和7年3月31日までに卒業した者又は卒業見込みの者であり、令和7年度大学入学共通テストにおいて本学部が指定した全教科・科目を受験した者 (2) 人物及び学業成績が優秀で、口腔保健学を志し、大学教育を受けるにふさわしい能力、適性を備えている者 (3) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>																																																																																					
選抜方法等	<p>第1次選考及び第2次選考の結果を総合して判定します。</p> <p>1 第1次選考〈大学入学共通テスト／書類審査〉 (1) 大学入学共通テスト 本選抜で指定する大学入学共通テストの利用教科・科目等及び配点は、次のとおりです。</p>																																																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">教科</th> <th colspan="4">利用教科・科目等</th> <th rowspan="2">配点</th> </tr> <tr> <th colspan="3">新教育課程による出題科目</th> <th>旧教育課程による出題科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>国語</td> <td>◎ □</td> <td>—</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">地歴 公民</td> <td rowspan="6">地理、日、世、倫、政経 } から1 地理/歴史/公共</td> <td>地理総合、地理探究</td> <td>○ ○</td> <td rowspan="6">旧世B、旧日B、旧地理B } から1 旧現社、旧倫、旧政経 旧倫・政経</td> <td rowspan="6">50</td> </tr> <tr> <td>歴史総合、日本史探究</td> <td>○ ○</td> </tr> <tr> <td>歴史総合、世界史探究</td> <td>○ ○</td> </tr> <tr> <td>公共、倫理</td> <td>○ ○</td> </tr> <tr> <td>公共、政治・経済</td> <td>○ ○</td> </tr> <tr> <td>地理総合/歴史総合/公共</td> <td>○ ○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">数</td> <td rowspan="2">数Ⅰ・数A、数Ⅰから1 数Ⅱ・数B・数C</td> <td>① 数学Ⅰ、数学A</td> <td>○ ○</td> <td rowspan="2">旧数Ⅰ、旧数Ⅰ・旧数Aから1 旧数Ⅱ、旧数Ⅱ・旧数B } から1 旧簿、旧情基</td> <td rowspan="2">100</td> </tr> <tr> <td>② 数学Ⅱ、数学B、数学C</td> <td>◎ □</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">理科</td> <td rowspan="6">物、化、生から2 又は理基礎</td> <td>物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎</td> <td>○ ○ ○ ○</td> <td rowspan="6">—</td> <td rowspan="6">100</td> </tr> <tr> <td>物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎</td> <td>○ ○ ○ ○</td> </tr> <tr> <td>物理</td> <td>○ ○</td> </tr> <tr> <td>化学</td> <td>○ ○</td> </tr> <tr> <td>生物</td> <td>○ ○</td> </tr> <tr> <td>地学</td> <td>× ×</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">外</td> <td rowspan="5">英、独、仏、中、韓から1</td> <td>英語(リスニングを含む)</td> <td>○ ○</td> <td rowspan="5">—</td> <td rowspan="5">100</td> </tr> <tr> <td>ドイツ語</td> <td>○ ○</td> </tr> <tr> <td>フランス語</td> <td>○ ○</td> </tr> <tr> <td>中国語</td> <td>○ ○</td> </tr> <tr> <td>韓国語</td> <td>○ ○</td> </tr> <tr> <td>情</td> <td>情Ⅰ</td> <td>情報Ⅰ</td> <td>◎ □</td> <td>旧情</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">配 点 合 計</td> <td></td> <td>450</td> </tr> </tbody> </table>				教科	利用教科・科目等				配点	新教育課程による出題科目			旧教育課程による出題科目	国	国	国語	◎ □	—	100	地歴 公民	地理、日、世、倫、政経 } から1 地理/歴史/公共	地理総合、地理探究	○ ○	旧世B、旧日B、旧地理B } から1 旧現社、旧倫、旧政経 旧倫・政経	50	歴史総合、日本史探究	○ ○	歴史総合、世界史探究	○ ○	公共、倫理	○ ○	公共、政治・経済	○ ○	地理総合/歴史総合/公共	○ ○	数	数Ⅰ・数A、数Ⅰから1 数Ⅱ・数B・数C	① 数学Ⅰ、数学A	○ ○	旧数Ⅰ、旧数Ⅰ・旧数Aから1 旧数Ⅱ、旧数Ⅱ・旧数B } から1 旧簿、旧情基	100	② 数学Ⅱ、数学B、数学C	◎ □	理科	物、化、生から2 又は理基礎	物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎	○ ○ ○ ○	—	100	物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎	○ ○ ○ ○	物理	○ ○	化学	○ ○	生物	○ ○	地学	× ×	外	英、独、仏、中、韓から1	英語(リスニングを含む)	○ ○	—	100	ドイツ語	○ ○	フランス語	○ ○	中国語	○ ○	韓国語	○ ○	情	情Ⅰ	情報Ⅰ	◎ □	旧情	●	配 点 合 計					450
	教科	利用教科・科目等				配点																																																																																
		新教育課程による出題科目			旧教育課程による出題科目																																																																																	
	国	国	国語	◎ □	—	100																																																																																
	地歴 公民	地理、日、世、倫、政経 } から1 地理/歴史/公共	地理総合、地理探究	○ ○	旧世B、旧日B、旧地理B } から1 旧現社、旧倫、旧政経 旧倫・政経	50																																																																																
			歴史総合、日本史探究	○ ○																																																																																		
			歴史総合、世界史探究	○ ○																																																																																		
			公共、倫理	○ ○																																																																																		
			公共、政治・経済	○ ○																																																																																		
地理総合/歴史総合/公共			○ ○																																																																																			
数	数Ⅰ・数A、数Ⅰから1 数Ⅱ・数B・数C	① 数学Ⅰ、数学A	○ ○	旧数Ⅰ、旧数Ⅰ・旧数Aから1 旧数Ⅱ、旧数Ⅱ・旧数B } から1 旧簿、旧情基	100																																																																																	
		② 数学Ⅱ、数学B、数学C	◎ □																																																																																			
理科	物、化、生から2 又は理基礎	物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎	○ ○ ○ ○	—	100																																																																																	
		物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎	○ ○ ○ ○																																																																																			
		物理	○ ○																																																																																			
		化学	○ ○																																																																																			
		生物	○ ○																																																																																			
		地学	× ×																																																																																			
外	英、独、仏、中、韓から1	英語(リスニングを含む)	○ ○	—	100																																																																																	
		ドイツ語	○ ○																																																																																			
		フランス語	○ ○																																																																																			
		中国語	○ ○																																																																																			
		韓国語	○ ○																																																																																			
情	情Ⅰ	情報Ⅰ	◎ □	旧情	●																																																																																	
配 点 合 計					450																																																																																	
<p>注1 ◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□印の数字は成績利用科目数を示します。 2 ●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。 3 理科で「理基礎」を含む2科目を受験した場合は、「第1解答科目」又は「第2解答科目」のいずれかによらず、得点が高い方の科目のみを利用します。 なお、「理基礎」を受験する場合は、「物基」「化基」「生基」から2つ選択してください。 4 理科で基礎を付さない科目のみを受験する場合は、「物」「化」「生」から2科目選択してください。この場合、2科目の合計得点(200点満点)を100点満点に換算した上で利用します。</p>																																																																																						
<p>(2) 書類審査〈調査書、推薦書、活動報告書〉 審査書類は、第2次選考の個人面接において内容を確認する場合があります。</p>																																																																																						
<p>2 第2次選考〈集団討論／個人面接〉〔200点〕 本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、アドミッション・ポリシーへの適合性等について評価を行います。評価に基づき、大学入学共通テスト等の成績にかかわらず不合格となることがあります。</p> <p>(1) 集団討論 提示されるテーマに関して討論を行い、結論を導きます。 その過程を複数の担当者により評価します。</p> <p>(2) 個人面接 複数の面接担当者による個人面接を行います。また、提出書類等の内容を確認する場合があります。</p>																																																																																						
備考	<p>第1次選考合格者が3名以下の場合、第2次選考で集団討論を実施せず、個人面接のみ200点の配点とします。この場合に、集団討論で評価予定だった項目は、個人面接及び出願時の提出書類を基に評価し、個人面接の得点に反映します。</p>																																																																																					

学部・学科	薬学					
	薬学 科 〈創薬研究者育成型（長井枠）〉					
募集人員	5人					
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件を満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校を令和5年4月1日から令和7年3月31日までに卒業した者又は卒業見込みの者で、令和7年度大学入学共通テストにおいて本学部が指定した全教科・科目を受験した者</p> <p>(2) 学業成績・人物ともに優れ、薬剤師資格の取得を希望するとともに、研究者として薬学に貢献することが期待できる者</p> <p>(3) 大学入学後、創製薬科学研究者育成コースのカリキュラムを履修することを前提とし、徳島大学大学院薬学研究科において大学院進学を強く志望する者</p> <p>(4) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が3.8以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>					
選抜方法等	第1次選考及び第2次選考の結果を総合して判定します。					
	1 第1次選考〈大学入学共通テスト／書類審査〉					
	(1) 大学入学共通テスト〔600点〕					
	本選抜で指定する大学入学共通テストの利用教科・科目等及び配点は、次のとおりです。					
	なお、大学入学共通テストの成績が本学部が指定する各科目の合計点（傾斜後：600点満点）の概ね70%未満の場合は、合格者となりません。					
	教科	利用教科・科目等			配点	
		新教育課程による出題科目			旧教育課程による出題科目	
	国	国	国語	◎ □	—	100
	地歴 公民	地理、日、世、倫、政経 }から1 地理/歴史/公共	地理総合、地理探究	○	旧世A、旧世B 旧日A、旧日B 旧地理A、旧地理B 旧現社、旧倫、旧政経 旧倫・政経 }から1	50
			歴史総合、日本史探究	○		
歴史総合、世界史探究			○			
公共、倫理			○			
公共、政治・経済			○			
		地理総合/歴史総合/公共	○又は2			
数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	① 数学Ⅰ、数学A 数学Ⅰ	◎ □	旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B	100	
		② 数学Ⅱ、数学B、数学C	◎ □			
理科	化 物、生から1	物理基礎/物理基礎 化学基礎/化学基礎 生物基礎/生物基礎 地学基礎/地学基礎	× } × } × } × }	—	150	
		物理	○	}		
		化学	◎			
		生物	○			
		地学	×			
外	英、独、仏、中、韓から1	英語（リスニングを含む。） ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	○ } ○ } ○ } ○ } ○ }	—	200	
情	情Ⅰ	情報Ⅰ	◎ □	旧情	●	
配点合計					600	
注1 ◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□印の数字は成績利用科目数を示します。						
注2 ●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。						
注3 理科の配点は、化学を100点、物理又は生物を50点とします。						
(2) 書類審査〈調査書、推薦書、活動報告書、学びの設計書〉〔200点〕 審査書類は、第2次選考の個人面接において内容を確認する場合があります。						
2 第2次選考〈論述レポート／個人面接〉〔500点〕 本学部が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、アドミッション・ポリシーへの適合性等について評価を行います。評価に基づき、大学入学共通テスト等の成績にかかわらず不合格となることがあります。						
(1) 論述レポート 薬学に関する講義を聴き、論述形式のレポートを作成します（全て日本語）。						
(2) 個人面接 アドミッション・ポリシーに基づいて複数の面接担当者による個人面接を行います。提出書類や論述レポートの内容を確認する場合があります。						
備考	<ul style="list-style-type: none"> 入学志願者数の状況によっては、第1次選考通過者を募集人員の約5倍とする場合があります。 書類審査又は第2次選考におけるいずれかの点数が一定水準以下の場合は、不合格となることがあります。 					

推
薦
Ⅱ

学部・学科	薬 学 部																																																																																												
	薬 学 科 〈先導的地域医療薬剤師育成型（地方貢献枠）〉																																																																																												
募集人員	5人																																																																																												
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件を満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校を令和5年4月1日から令和7年3月31日までに卒業した者又は卒業見込みの者で、令和7年度大学入学共通テストにおいて本学部が指定した全教科・科目を受験した者</p> <p>(2) 学業成績・人物ともに優れ、薬剤師の不足する地域の医療を担う薬剤師のリーダーとして、社会に貢献することを強く志望する者</p> <p>(3) 大学入学後、先導的薬剤師育成コース（研究型地域医療薬剤師）のカリキュラムを履修することを前提とし、徳島大学大学院薬学研究科において大学院進学に意欲のある者</p> <p>(4) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が3.8以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>																																																																																												
選抜方法等	<p>第1次選考及び第2次選考の結果を総合して判定します。</p> <p>1 第1次選考〈大学入学共通テスト／書類審査〉</p> <p>(1) 大学入学共通テスト〔600点〕 本選抜で指定する大学入学共通テストの利用教科・科目等及び配点は、次のとおりです。 なお、大学入学共通テストの成績が本学部が指定する各科目の合計点（傾斜後：600点満点）の概ね70%未満の場合は、合格者となりません。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">教科</th> <th colspan="3">利用教科・科目等</th> <th rowspan="2">配点</th> </tr> <tr> <th colspan="2">新教育課程による出題科目</th> <th>旧教育課程による出題科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>国語</td> <td>◎ □</td> <td>—</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">地歴 公民</td> <td rowspan="5">地理、日、世、倫、政経 } から1 地理/歴史/公共</td> <td>地理総合、地理探究</td> <td>○</td> <td rowspan="5">旧世A、旧世B 旧日A、旧日B 旧地理A、旧地理B 旧現社、旧倫、旧政経 旧倫・政経 } から1</td> <td rowspan="5">50</td> </tr> <tr> <td>歴史総合、日本史探究</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>歴史総合、世界史探究</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>公共、倫理</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>公共、政治・経済</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>地理総合/歴史総合/公共</td> <td>○ ○ ○ } 0又は2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C</td> <td>① 数学Ⅰ、数学A 数学Ⅰ</td> <td>◎ □ ×</td> <td>旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>② 数学Ⅱ、数学B、数学C</td> <td>◎ □</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>化 物、生から1</td> <td>物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎</td> <td>× × × ×</td> <td rowspan="5">—</td> <td rowspan="5">150</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎</td> <td>× × × ×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>物理</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>化学</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>生物</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>地学</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英、独、仏、中、韓から1</td> <td>英語（リスニングを含む。） ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語</td> <td>○ ○ ○ ○ ○ } □</td> <td>—</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>情</td> <td>情Ⅰ</td> <td>情報Ⅰ</td> <td>◎ □</td> <td>旧情</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">配 点 合 計</td> <td></td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 ◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□囲みの数字は成績利用科目数を示します。 注2 ●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。 注3 理科の配点は、化学を100点、物理又は生物を50点とします。</p> <p>(2) 書類審査〈調査書、推薦書、活動報告書、学びの設計書〉〔200点〕 審査書類は、第2次選考の個人面接において内容を確認する場合があります。</p> <p>2 第2次選考〈小論文／個人面接〉〔500点〕 本学部が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、アドミッション・ポリシーへの適合性等について評価を行います。評価に基づき、大学入学共通テスト等の成績にかかわらず不合格となることがあります。</p> <p>(1) 小論文 日本語で書かれた文章や図表等により、記述・論述式の出題を行います。</p> <p>(2) 個人面接 アドミッション・ポリシーに基づいて複数の面接担当者による個人面接を行います。提出書類や小論文の内容を確認する場合があります。</p>			教科	利用教科・科目等			配点	新教育課程による出題科目		旧教育課程による出題科目	国	国	国語	◎ □	—	100	地歴 公民	地理、日、世、倫、政経 } から1 地理/歴史/公共	地理総合、地理探究	○	旧世A、旧世B 旧日A、旧日B 旧地理A、旧地理B 旧現社、旧倫、旧政経 旧倫・政経 } から1	50	歴史総合、日本史探究	○	歴史総合、世界史探究	○	公共、倫理	○	公共、政治・経済	○			地理総合/歴史総合/公共	○ ○ ○ } 0又は2			数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	① 数学Ⅰ、数学A 数学Ⅰ	◎ □ ×	旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B	100			② 数学Ⅱ、数学B、数学C	◎ □			理科	化 物、生から1	物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎	× × × ×	—	150			物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎	× × × ×			物理	○			化学	◎			生物	○			地学	×	外	英、独、仏、中、韓から1	英語（リスニングを含む。） ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	○ ○ ○ ○ ○ } □	—	200	情	情Ⅰ	情報Ⅰ	◎ □	旧情	●	配 点 合 計					600
	教科	利用教科・科目等			配点																																																																																								
		新教育課程による出題科目		旧教育課程による出題科目																																																																																									
	国	国	国語	◎ □	—	100																																																																																							
	地歴 公民	地理、日、世、倫、政経 } から1 地理/歴史/公共	地理総合、地理探究	○	旧世A、旧世B 旧日A、旧日B 旧地理A、旧地理B 旧現社、旧倫、旧政経 旧倫・政経 } から1	50																																																																																							
			歴史総合、日本史探究	○																																																																																									
			歴史総合、世界史探究	○																																																																																									
			公共、倫理	○																																																																																									
			公共、政治・経済	○																																																																																									
			地理総合/歴史総合/公共	○ ○ ○ } 0又は2																																																																																									
数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	① 数学Ⅰ、数学A 数学Ⅰ	◎ □ ×	旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B	100																																																																																								
		② 数学Ⅱ、数学B、数学C	◎ □																																																																																										
理科	化 物、生から1	物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎	× × × ×	—	150																																																																																								
		物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎	× × × ×																																																																																										
		物理	○																																																																																										
		化学	◎																																																																																										
		生物	○																																																																																										
		地学	×																																																																																										
外	英、独、仏、中、韓から1	英語（リスニングを含む。） ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	○ ○ ○ ○ ○ } □	—	200																																																																																								
情	情Ⅰ	情報Ⅰ	◎ □	旧情	●																																																																																								
配 点 合 計					600																																																																																								
備考	<p>・入学志願者数の状況によっては、第1次選考通過者を募集人員の約5倍とする場合があります。</p> <p>・書類審査又は第2次選考におけるいずれかの点数が一定水準以下の場合は、不合格となることがあります。</p>																																																																																												

学部・学科等	理 工 学 部																																								
	理工学科（昼間）〈主体性・創造性重視型〉																																								
	数理科学コース	自然科学コース	社会基盤デザインコース	機械科学コース	応用化学システムコース	電気電子システムコース	知能情報コース	光システムコース																																	
募集人員 (受入人員の目安)	6人	9人	24人	25人	24人	22人	23人	10人																																	
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者とします。</p> <p>(1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者で、令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学部が指定した全教科・科目を受験した者</p> <p>(2) 学習意欲旺盛で、人物、学業成績ともに優秀な者</p> <p>(3) 高等学校において、次の教科・科目を履修した（見込みを含む。）者</p> <p>① 普通科に在籍している者</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>数理科学コース 自然科学コース</td> <td>社会基盤デザインコース 知能情報コース 光システムコース</td> <td>機械科学コース 応用化学システムコース 電気電子システムコース</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td colspan="3">数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物基、化基、生基、地学基から2</td> <td>物基、化基</td> <td>物基、化基、物、化</td> </tr> </table> <p>※「数学C」については、旧教育課程の履修者においては、一般選抜の個別学力検査の出願範囲（P8）を含む科目とします。</p> <p>② 理数に関する学科に在籍している者</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>数理科学コース 自然科学コース</td> <td>社会基盤デザインコース、機械科学コース、応用化学システムコース、電気電子システムコース、知能情報コース、光システムコース</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td colspan="2">理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>理数物理、理数化学、理数生物、理数地学から2</td> <td>理数物理、理数化学</td> </tr> </table> <p>③ 専門教育を主とする学科に在籍している者（①の教科・科目でも可）</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>数理科学コース 自然科学コース</td> <td>社会基盤デザインコース 機械科学コース 電気電子システムコース 知能情報コース 光システムコース</td> <td>応用化学システムコース</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td colspan="3">数Ⅰ、数Ⅱ 情報に関する科目※から1又は簿記及び財務会計Ⅰ</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物基、化基、生基、地学基から2</td> <td>科学と人間生活、物基、化基から2</td> <td>物基、化基</td> </tr> </table> <p>※「情報に関する科目」は、4ページの新旧対照表で該当するいずれかの科目です。</p> <p>(4) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が3.5以上の者</p>									数理科学コース 自然科学コース	社会基盤デザインコース 知能情報コース 光システムコース	機械科学コース 応用化学システムコース 電気電子システムコース	数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C			理	物基、化基、生基、地学基から2	物基、化基	物基、化基、物、化		数理科学コース 自然科学コース	社会基盤デザインコース、機械科学コース、応用化学システムコース、電気電子システムコース、知能情報コース、光システムコース	数	理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ		理	理数物理、理数化学、理数生物、理数地学から2	理数物理、理数化学		数理科学コース 自然科学コース	社会基盤デザインコース 機械科学コース 電気電子システムコース 知能情報コース 光システムコース	応用化学システムコース	数	数Ⅰ、数Ⅱ 情報に関する科目※から1又は簿記及び財務会計Ⅰ			理	物基、化基、生基、地学基から2	科学と人間生活、物基、化基から2	物基、化基
		数理科学コース 自然科学コース	社会基盤デザインコース 知能情報コース 光システムコース	機械科学コース 応用化学システムコース 電気電子システムコース																																					
	数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C																																							
	理	物基、化基、生基、地学基から2	物基、化基	物基、化基、物、化																																					
		数理科学コース 自然科学コース	社会基盤デザインコース、機械科学コース、応用化学システムコース、電気電子システムコース、知能情報コース、光システムコース																																						
	数	理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ																																							
	理	理数物理、理数化学、理数生物、理数地学から2	理数物理、理数化学																																						
		数理科学コース 自然科学コース	社会基盤デザインコース 機械科学コース 電気電子システムコース 知能情報コース 光システムコース	応用化学システムコース																																					
	数	数Ⅰ、数Ⅱ 情報に関する科目※から1又は簿記及び財務会計Ⅰ																																							
	理	物基、化基、生基、地学基から2	科学と人間生活、物基、化基から2	物基、化基																																					
2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員には、特に制限を設けません。																																									
選抜方法等	第1次選考及び第2次選考の結果を総合して判定します。																																								
	1 第1次選考〈大学入学共通テスト／書類審査〉																																								
	(1) 大学入学共通テスト 本選抜で指定する大学入学共通テストの利用教科・科目等及び配点は、次のとおりです。 なお、大学入学共通テストにおいて、本学科各コースが次のとおり指定する成績に達しない場合は、合格者となりません。																																								
	① 社会基盤デザインコース、機械科学コース 大学入学共通テストの成績が全国平均点（大学入試センターが発表する各科目の平均点の合計点）程度																																								
	② 数理科学コース、自然科学コース、応用化学システムコース、電気電子システムコース、知能情報コース、光システムコース 大学入学共通テストの成績が全国平均点の90%程度																																								
	教科	利用教科・科目等				配点																																			
	国	国	国語	◎	□	200	100	50	200	100																															
	地歴 公民	地理、日、世、倫、政経 } から1 地理/歴史/公共	地理総合、地理探究 歴史総合、日本史探究 歴史総合、世界史探究 公共、倫理 公共、政治・経済	○ ○ ○ ○	□	100	50	50	100	100																															
		地理総合/歴史総合/公共	地理総合 歴史総合 公共	○ ○ ○							0又は2																														

推
薦
Ⅱ

教科	利用教科・科目等				配点												
					数理科学 コース、 自然科学 コース	社会基盤 デザイン コース	機械科学 コース	応用化学 システム コース、 電気電子 システム コース	知能情報 コース、 光システム コース								
数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	①	数学Ⅰ，数学A 数学Ⅰ	◎ ×	} □	200	200	300	200	200							
		②	数学Ⅱ，数学B，数学C	◎							} □						
理科	数理科学コース 自然科学コース	物 化 生 地学 } から52	物理基礎／ 化学基礎／ 生物基礎／ 地学基礎	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	× × × ×	} □	200										
			物理	物理	○												
			化学	化学	○												
			生物	生物	○												
			地学	地学	○												
			社会基盤デザインコース 機械科学コース 応用化学システムコース 電気電子システムコース 知能情報コース 光システムコース	物理基礎／ 化学基礎／ 生物基礎／ 地学基礎	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎						× × × ×	} □		200	300	200	200
			物理	物理	◎												
		化学	化学	◎													
		生物	生物	×													
		地学	地学	×													
外	英、独、仏、中、韓から1		英語（リスニングを含む。） ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	○ ○ ○ ○ ○	} □	200	200	200	200	200							
			英語（リスニングを含む。）	○													
			ドイツ語	○													
			フランス語	○													
			中国語	○													
情	情Ⅰ	情報Ⅰ		◎	} □	●	●	●	●	●							
配点合計						900	750	900	900	800							

注1 ◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□印の数字は成績利用科目数を示します。
注2 ●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。

(2) 書類審査〈調査書、推薦書、志望理由書、活動報告書〉

2 第2次選考〈個人面接（口頭試問を含む。）〉

複数の面接担当者による個人面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づき評価を行い、出願書類等の内容について確認を行う場合があります。また、基礎学力や理解力を確認するため、口頭試問を行う場合があります。口頭試問を行う場合における科目等の範囲は、下表のとおりです。
なお、第1次選考の結果により、面接を免除する場合があります。

【口頭試問において基礎学力・理解力を確認する科目の範囲】

科目	数 学			理 科		英 語
	数学Ⅰ・ 数学A	数学Ⅱ・ 数学B	数学Ⅲ・ 数学C	物理基礎 ・物理	化学基礎 ・化学	
数理科学	口頭試問は行わない					
自然科学						
社会基盤デザイン						
機械科学						
応用化学システム (注)	●	●	●	●	●	●
電気電子システム	●	●	●			
知能情報	●	●	●			●
光システム	●	●	●			●

注 応用化学システムコースにおいては、数学、理科及び英語の中から口頭試問を行う場合があります。

備考 志望コース別に選抜します。

その他 徳島大学理工学部 入学時日亜特別給付金について
入学時給付金制度は、日亜化学工業株式会社より贈られた寄附金を原資とし、徳島大学理工学部への入学を希望する志願者のうち経済的に困窮している入学者に対して、重点的に入学後の生活を支援することを目的としています。
本奨学金に申請し、内定した場合、入学後に所定の手続を行うことで奨学生として正式に採用されます。
詳細は、徳島大学理工学部ホームページを確認してください。
【問い合わせ先】徳島大学理工学部事務課学務係 TEL：088－656－7315

学部・学科等	理 工 学 部																																																																																								
	理工学科（昼間）																																																																																								
	医光／医工融合プログラム																																																																																								
募集人員	15人																																																																																								
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者とします。</p> <p>(1) 高等学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者で、令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学部が指定した全教科・科目を受験した者</p> <p>(2) 学業成績、人物ともに優れ、医学・光学（工学）融合分野に関する研究に強い関心を持ち、医光／医工融合プログラムの趣旨を深く理解している者</p> <p>(3) 高等学校において、「数学Ⅲ」又は「理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ」のいずれかを履修した（見込みを含む。）者</p> <p>(4) 高等学校における調査書「全体の学習成績の状況」が3.5以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>																																																																																								
選抜方法等	<p>第1次選考の成績及び第2次選考の結果を総合して判定します。</p> <p>1 第1次選考〈大学入学共通テスト／書類審査〉</p> <p>(1) 大学入学共通テスト〔600点〕 本選抜で指定する大学入学共通テストの利用教科・科目等及び配点は、次のとおりです。 なお、大学入学共通テストの成績が全国平均点（大学入試センターが発表する各科目の平均点の合計点）程度に達しない場合は、合格者となりません。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">教科</th> <th colspan="4">利用教科・科目等</th> <th rowspan="2">配点</th> </tr> <tr> <th colspan="3">新教育課程による出題科目</th> <th>旧教育課程による出題科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">数</td> <td rowspan="2">数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C</td> <td>① 数学Ⅰ，数学A</td> <td>◎</td> <td rowspan="2">} □</td> <td rowspan="2">旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B</td> <td rowspan="2">200</td> </tr> <tr> <td>数学Ⅱ</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>② 数学Ⅱ，数学B，数学C</td> <td>◎</td> <td rowspan="2">} □</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">理科</td> <td rowspan="7">物 化</td> <td>物理基礎</td> <td>物理基礎</td> <td>×</td> <td rowspan="7">} □</td> <td rowspan="7">-</td> </tr> <tr> <td>化学基礎</td> <td>化学基礎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>生物基礎</td> <td>生物基礎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>地学基礎</td> <td>地学基礎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>物理</td> <td></td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>化学</td> <td></td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>生物</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>地学</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">外</td> <td rowspan="5">英</td> <td>英語（リスニングを含む。）</td> <td>◎</td> <td rowspan="5">} □</td> <td rowspan="5">-</td> <td rowspan="5">200</td> </tr> <tr> <td>ドイツ語</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>フランス語</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>中国語</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>韓国語</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>情</td> <td>情Ⅰ</td> <td>情報Ⅰ</td> <td>◎</td> <td>□</td> <td>旧情</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">配 点 合 計</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 ◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□囲みの数字は成績利用科目数を示します。 注2 ●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。</p> <p>(2) 書類審査〈調査書、推薦書、志望理由書、活動報告書〉〔100点〕 活動報告書については、当プログラムでは「意欲的に取り組んだ活動」を審査します。</p> <p>2 第2次選考〈個人面接〉〔200点〕 教科・科目に関する口頭試問は行いません。 なお、第1次選考の結果により、面接を免除する場合があります。</p>					教科	利用教科・科目等				配点	新教育課程による出題科目			旧教育課程による出題科目	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	① 数学Ⅰ，数学A	◎	} □	旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B	200	数学Ⅱ	×			② 数学Ⅱ，数学B，数学C	◎	} □					理科	物 化	物理基礎	物理基礎	×	} □	-	化学基礎	化学基礎	×	生物基礎	生物基礎	×	地学基礎	地学基礎	×	物理		◎	化学		◎	生物		×	地学		×	外	英	英語（リスニングを含む。）	◎	} □	-	200	ドイツ語	×	フランス語	×	中国語	×	韓国語	×	情	情Ⅰ	情報Ⅰ	◎	□	旧情	●	配 点 合 計					600
教科	利用教科・科目等				配点																																																																																				
	新教育課程による出題科目			旧教育課程による出題科目																																																																																					
数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	① 数学Ⅰ，数学A	◎	} □	旧数Ⅰ・旧数A 旧数Ⅱ・旧数B	200																																																																																			
		数学Ⅱ	×																																																																																						
		② 数学Ⅱ，数学B，数学C	◎	} □																																																																																					
理科	物 化	物理基礎	物理基礎	×	} □	-																																																																																			
		化学基礎	化学基礎	×																																																																																					
		生物基礎	生物基礎	×																																																																																					
		地学基礎	地学基礎	×																																																																																					
		物理		◎																																																																																					
		化学		◎																																																																																					
		生物		×																																																																																					
地学		×																																																																																							
外	英	英語（リスニングを含む。）	◎	} □	-	200																																																																																			
		ドイツ語	×																																																																																						
		フランス語	×																																																																																						
		中国語	×																																																																																						
		韓国語	×																																																																																						
情	情Ⅰ	情報Ⅰ	◎	□	旧情	●																																																																																			
配 点 合 計					600																																																																																				
備考	<p>医光／医工融合プログラムは、大学卒業又は大学院（創成科学研究科、医学研究科）修了まで一貫した教育体制を取っています。入学から卒業又は修了まで当プログラムに所属し、教育・指導を受けることとなりますので、入学後の他コースへの変更は認めません。</p>																																																																																								

学部・学科		生物資源産業学部																																																																
		生物資源産業学科		〈主体性・表現力重視型〉																																																														
募集人員		22人																																																																
推薦要件		<p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みであり、令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学部が指定した全教科・科目を受験した者</p> <p>(2) 学習意欲旺盛で、人物、学業成績ともに優秀な者</p> <p>(3) 高等学校における調査書の「理科」又は「理数化学」の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>																																																																
選抜方法等		<p>大学入学共通テストの成績及び書類審査の結果を総合して判定します。</p> <p>1 大学入学共通テスト 本選抜で指定する大学入学共通テストの利用教科・科目等及び配点は、次のとおりです。 なお、大学入学共通テストの成績が全国平均点（大学入試センターが発表する各科目の平均点の合計点）の90%程度に達しない場合は、合格者となりません。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th colspan="3">利用教科・科目等</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">数</td> <td rowspan="2">数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C</td> <td>①</td> <td>数学Ⅰ，数学A 数学Ⅰ</td> <td rowspan="2">} Ⅱ</td> <td rowspan="2">100</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>数学Ⅱ，数学B，数学C</td> <td>○ Ⅱ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">理科</td> <td rowspan="5">化 物、生から1</td> <td rowspan="4">物理基礎／ 化学基礎／ 生物基礎／ 地学基礎</td> <td>物理基礎</td> <td>×</td> <td rowspan="5">} Ⅱ</td> <td rowspan="5">100</td> </tr> <tr> <td>化学基礎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>生物基礎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>地学基礎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>物理</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>化学</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>生物</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>地学</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">外</td> <td rowspan="5">英</td> <td>英語（リスニングを含む。）</td> <td>○</td> <td rowspan="5">} Ⅱ</td> <td rowspan="5">100</td> </tr> <tr> <td>ドイツ語</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>フランス語</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>中国語</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>韓国語</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>情</td> <td>情Ⅰ</td> <td>情報Ⅰ</td> <td>○</td> <td>Ⅱ</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td colspan="4">配点合計</td> <td></td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 ◎印は必ず受験を要する科目、○印は選択科目・出題範囲、□囲みの数字は成績利用科目数を示します。 注2 ●印を付し点数化していない教科・科目等は、総合判定の参考とします。</p> <p>2 書類審査〈調査書、推薦書、活動報告書、学びの設計書〉〔150点〕</p>				教科	利用教科・科目等			配点	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	①	数学Ⅰ，数学A 数学Ⅰ	} Ⅱ	100	②	数学Ⅱ，数学B，数学C	○ Ⅱ	理科	化 物、生から1	物理基礎／ 化学基礎／ 生物基礎／ 地学基礎	物理基礎	×	} Ⅱ	100	化学基礎	×	生物基礎	×	地学基礎	×	物理	○	化学	○	生物	○	地学	×	外	英	英語（リスニングを含む。）	○	} Ⅱ	100	ドイツ語	×	フランス語	×	中国語	×	韓国語	×	情	情Ⅰ	情報Ⅰ	○	Ⅱ	●	配点合計					300
教科	利用教科・科目等			配点																																																														
数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	①	数学Ⅰ，数学A 数学Ⅰ	} Ⅱ	100																																																													
		②	数学Ⅱ，数学B，数学C			○ Ⅱ																																																												
理科	化 物、生から1	物理基礎／ 化学基礎／ 生物基礎／ 地学基礎	物理基礎	×	} Ⅱ	100																																																												
			化学基礎	×																																																														
			生物基礎	×																																																														
			地学基礎	×																																																														
		物理	○																																																															
化学	○																																																																	
生物	○																																																																	
地学	×																																																																	
外	英	英語（リスニングを含む。）	○	} Ⅱ	100																																																													
		ドイツ語	×																																																															
		フランス語	×																																																															
		中国語	×																																																															
		韓国語	×																																																															
情	情Ⅰ	情報Ⅰ	○	Ⅱ	●																																																													
配点合計					300																																																													
備考																																																																		

帰国生徒選抜

1 募集人員

学 部	学 科	募集人員
総合科学部	社会総合科学科	若干人

2 出願資格

日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を取得している外国籍者で、保護者の海外勤務等の事情により保護者とともに海外に在留したことがあり（保護者が先に帰国した場合を含む。）、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を令和5年4月1日から令和7年3月31日までに修了した者若しくは修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもので、外国において最終の学年を含め2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者

（注）外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学した期間については、外国において学校教育を受けたものとはみなしません。

- (2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を令和5年又は令和6年に授与された者
- (3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格又はフランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を令和5年又は令和6年に取得した者

3 選抜方法

入学者の選抜は、出願書類及び(1)①②の結果を総合して判定します。

(1) 選考方法

① 小論文

課題の出題言語は、日本語とします。

② 面接等

面接方法	そ の 他
複数の面接担当者による個人面接	成績利用（提出された英語能力試験の成績を利用します。） ●提出書類について 以下の試験等のいずれかの成績を証明する書類（出願時点において有効なもの。有効期限のないものは、その受験日が出願時点から遡り2年以内であること。） 実用英語技能検定（CSE）、TOEFL(iBT)、 TOEIC(L&R)、Cambridge English、IELTS

社 会 人 選 抜

1 募集人員及び出願資格

学 部	学 科 等	募集人員	出 願 資 格
総 合 科学部	社 会 総 合 科学科	若干人	高等学校を卒業した者又はそれと同等以上の学力があると認められる者で、令和7年3月31日までに23歳に達しており、社会人としての経験を通算5年以上有する者とします。 ※定時制又は通信制課程の学校（大学を含む。）の在学期間は社会人としての期間に含めます。
医 学 部	保 健 学 科 攻 看 護 学 専 攻	若干人	高等学校を卒業した者又はそれと同等以上の学力があると認められる者で、令和7年3月31日までに22歳に達しており、社会人としての経験を通算4年以上有する者とします。 ※定時制又は通信制課程の学校（大学を含む。）の在学期間は社会人としての期間に含めます。
理 工 学 部	社会基盤デザインコース	若干人	高等学校を卒業した者又はそれと同等以上の学力があると認められる者で、次のいずれかに該当する者とします。 (1) 事業所等の長の推薦を受けた者で、入学時に職務経験を通算1年以上有する者 (2) 令和7年3月31日までに21歳に達しており、社会人としての経験を通算3年以上有する者 ※定時制又は通信制課程の学校（大学を含む。）の在学期間は社会人としての期間に含めます。
	機 械 科 学 コ ー ス	若干人	
	応用化学システムコース	若干人	
	電気電子システムコース	若干人	
	知 能 情 報 コ ー ス	若干人	

- (注) 1 社会人選抜における「高等学校」には、中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。
2 「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認める者」としての出願資格認定については、本学ホームページ受験生サイトを参照又は入試課に照会してください。
なお、本学が認定した出願資格は、本学に限り有効です。

2 選 抜 方 法

(1) 選抜方法

学 部	学 科 等	選 抜 方 法 等
総 合 科学部	社 会 総 合 科学科	出願書類及びア～ウの結果を総合して判定します。 ア 小論文 一般教養及び当学部で勉学するのに十分な基礎的能力（論述能力、表現力等）を備えているかをみるため行います。 イ 面接 当学部で勉学する能力を有する人物であるかをみるため行います。 ウ 成績利用 以下の英語能力試験のうちいずれか一つの成績を用います。 実用英語技能検定 (CSE)、TOEFL (iBT)、TOEIC (L&R)、Cambridge English、IELTS

学 部	学 科 等	選 抜 方 法 等
医 学 部	保健学科看護学専攻	<p>出願書類及び個別学力検査等の結果を総合して判定します。</p> <p>(1) 出願書類 次の試験等のいずれかの成績を証明する書類（受験日が出願時の3年前以内であること。）の提出を求めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実用英語技能検定 2 級以上 ・ TOEFL (iBT) 40点以上 ・ TOEIC (L&R) 500点以上 <p>(2) 個別学力検査等 次の個別学力検査等におけるいずれかの得点が一定水準以下の場合は、合計点のいかんにかかわらず不合格とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小論文 ・ 面接等 <p>複数の評価担当者による集団討論及び複数の面接担当者による個人面接を行います。評価にあたっては、複数項目について点数評価し、面接点として判定します。</p> <p>※志願者が極めて少ない場合は、評価担当者を含めた集団討論となる場合があります。</p>
理 工 学 部 (夜間主)	理 工 学 科	<p>出願書類及び面接等の結果を総合して判定します。</p> <p>複数の面接担当者による基礎学力（理工学科の入学するまでに身につけておくべき教科・科目等の内容を含む数学、英語及び理科等）に関する口頭試問を含む個人面接を行います。評価にあたっては、志望理由、理解力、表現力、適性等の項目について点数評価を行い、面接点として判定します。</p>

私費外国人留学生選抜

1 募集人員

学 部	学 科 等	募 集 人 員	
総 合 科 学 部	社 会 総 合 科 学 科	若 干 人	
医 学 部	医 学 科	若 干 人	
	保 健 学 科	看 護 学 専 攻	若 干 人
		放 射 線 技 術 科 学 専 攻	若 干 人
		検 査 技 術 科 学 専 攻	若 干 人
歯 学 部	歯 学 科	若 干 人	
薬 学 部	薬 学 科	若 干 人	
理 工 学 部	理 工 学 科 (昼 間)	数 理 科 学 コ ー ス	若 干 人
		自 然 科 学 コ ー ス	若 干 人
		社 会 基 盤 デ ザ イ ン コ ー ス	若 干 人
		機 械 科 学 コ ー ス	若 干 人
		応 用 化 学 シ ス テ ム コ ー ス	若 干 人
		電 気 電 子 シ ス テ ム コ ー ス	若 干 人
		知 能 情 報 コ ー ス	若 干 人
		光 シ ス テ ム コ ー ス	若 干 人
生 物 資 源 産 業 学 部	生 物 資 源 産 業 学 科	若 干 人	

2 出願資格

本学の私費外国人留学生選抜に出願できる者は、次の(1)(2)の要件を満たし、かつ(3)各学部等の要件を満たしている者とします。

(1) 日本国籍を有しない者（日本国の永住許可を取得している者を除く。）で、次のいずれかに該当する者

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者若しくは令和7年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ② 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を授与された者
- ③ 外国において、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格又はフランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者

(2) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者

(注) 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校（中等教育学校を含む。）を卒業した者は、この選抜に出願することはできません。

(注) 令和6年度第1回（6月実施）又は第2回（11月実施）のいずれか一方で、(3)各学部等の要件で指定する日本留学試験の教科・科目を、すべて受験してください。両方の試験に分けての受験結果は認めません。

(3) 各学部等の要件

学部	学科等	要件	
総合科学部	社会総合科学科	<p>① 独立行政法人日本学生支援機構が令和6年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：日本語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語 ・数学（コース1） ・総合科目 <p>※ただし、総得点が平均点の85%以上</p> <p>② 次のいずれかの英語能力試験の成績を修めた者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実用英語技能検定 1,700点以上 ・TOEIC (L & R) 225点以上 ・TOEFL iBT 39点以上 ・IELTS 3.5以上 ・Cambridge English 120点以上 	
医学部	医学科	<p>① 独立行政法人日本学生支援機構が令和6年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：日本語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（生物と「物理、化学から1」） <p>② TOEFLにおいて次の成績を修めた者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・iBT80点以上 	
	保健学科	看護学専攻	<p>独立行政法人日本学生支援機構が令和6年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：日本語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語 ・数学（コース1） ・理科（物理、化学、生物から1） <p>※理科を2科目受験している場合は、高得点の科目を採用します。 ※ただし、各教科の得点が満点の70%（日本語の4領域のうち記述は33点）以上</p>
		放射線技術科学専攻	<p>独立行政法人日本学生支援機構が令和6年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：日本語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（物理と「化学、生物から1」） <p>※ただし、各教科の得点が満点の70%（日本語の4領域のうち記述は33点）以上</p>
		検査技術科学専攻	<p>独立行政法人日本学生支援機構が令和6年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：日本語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（物理、化学、生物から2） <p>※ただし、各教科の得点が満点の70%（日本語の4領域のうち記述は33点）以上</p>
歯学部	歯学科	<p>① 独立行政法人日本学生支援機構が令和6年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：日本語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（物理、化学、生物から2） <p>※ただし、日本語及び数学の得点が満点の75%（日本語の4領域のうち記述は37点）以上、理科については2科目合計で150点（1科目の最低点は65点）以上</p> <p>② TOEFLにおいて次の成績を修めた者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・iBT80点以上 	

学部	学科等	要件	
薬学部	薬学科	① 独立行政法人日本学生支援機構が令和6年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：日本語 ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（化学と「物理、生物から1」） ② TOEFLにおいて次の成績を修めた者 ・iBT80点以上	
理工学部	理工学科 (昼間)	数理学科 コース	独立行政法人日本学生支援機構が令和6年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：指定なし ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（物理、化学、生物から2）
		自然科学科 コース	独立行政法人日本学生支援機構が令和6年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：指定なし ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（物理、化学、生物から2）
		社会基盤 デザイン コース	独立行政法人日本学生支援機構が令和6年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：指定なし ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（物理と「化学、生物から1」）
		機械科学 コース	独立行政法人日本学生支援機構が令和6年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：指定なし ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（物理と「化学、生物から1」）
		電気電子 システム コース	独立行政法人日本学生支援機構が令和6年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：指定なし ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（物理と「化学、生物から1」）
		応用化学 システム コース	独立行政法人日本学生支援機構が令和6年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：指定なし ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（化学と「物理、生物から1」）
		知能情報 コース	独立行政法人日本学生支援機構が令和6年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：指定なし ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（物理と「化学、生物から1」）
		光システム コース	独立行政法人日本学生支援機構が令和6年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：指定なし ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（物理と「化学、生物から1」）
生物資源 産業学部	生物資源産業学科	独立行政法人日本学生支援機構が令和6年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：日本語 ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（化学と「物理、生物から1」）	

3 選 抜 方 法

入学者の選抜は、独立行政法人日本学生支援機構が令和6年度に実施する日本留学試験の成績並びに各学部が課す学力検査、小論文、面接及び書類審査の結果を総合して判定します。

なお、受験生は、各学部の試験日及び指定する場所において受験する必要があります。試験日当日に来学できない場合は受験できません。

(1) 学力検査等

- ① 個別学力検査問題の出題及び解答用紙の表記は、日本語で行います。
 - ② 日本留学試験及び英語能力試験の成績が、2出願資格の(3)各学部の要件に記載されている得点の条件未満の場合は、合格者となり得ません。
 - ③ 医学部、歯学部及び薬学部の個別学力検査は、本学一般選抜の前期日程の個別学力検査問題を課します。
 - ④ 歯学部では、出願時に選択した個別学力検査「理科」の科目について、出願後の変更は認めません。
- なお、科目選択による不公平が生じないように得点調整を行うことがあります。

学部・学科等		選抜方法	個別学力検査等の内容
総合 科学部	社会総合科学科	小論文 面接 その他	英語能力試験（実用英語技能検定(CSE)、TOEFL(iBT)、TOEIC(L&R)、Cambridge English、IELTS)の成績
		英語 数学 面接 その他	「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「英語コミュニケーションⅢ」、「論理・表現Ⅰ」、「論理・表現Ⅱ」（「読むこと」、「書くこと」の技能に関する出題を行う。） 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C TOEFLの成績
医学部	保健 学科	看護学専攻 小論文 面接 その他	TOEFLの成績
		放射線技術科学専攻 数学 理科 面接	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C 物理基礎・物理
		検査技術科学専攻 数学 理科 面接	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C 化学基礎・化学
歯学部	歯学 科	英語 数学 理科 面接 その他	「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「英語コミュニケーションⅢ」、「論理・表現Ⅰ」、「論理・表現Ⅱ」（「読むこと」、「書くこと」の技能に関する出題を行う。） 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C 物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から1 TOEFLの成績
薬学部	薬学 科	数学 理科 面接 その他	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C 化学基礎・化学 TOEFLの成績
理工学部	理工学 科	小論文 面接 その他	(※下の表のとおり) TOEFLの成績
生物資源 産業学部	生物資源産業学 科	小論文 面接 その他	志望理由、勉学意欲、理解力を問う質問を行い、総合的に評価を行う。 TOEFLの成績

※理工学部理工学科の各コースの面接では、次のとおり評価を行います。

数理科学コース 自然科学コース	社会基盤デザインコース	機械科学コース	応用化学システムコース	電気電子システムコース	知能情報コース 光システムコース
志望理由、勉学意欲、理解力を問う質問を行い、総合的に評価する。	日本語で志望理由や数学等の質問を行い、総合的に評価する。	日本語で志望理由や数学等の質問を行い、総合的に評価する。	志望理由等について質問を行い、本コースへの適性、学修に必要な基礎的知識等を総合的に評価する。	志望理由、数学、日本語、英語等により、本コースへの適性を総合的に評価する。	志望理由、数学、英語等の質問を行い、本コースへの適性を総合的に評価する。

入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）

全学の受入方針

徳島大学は、その理念、目標、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）*及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）*のもと、卓越した学術及び文化を継承するとともに学びの志と進取の気風をもち、未来へ飛躍する人材を養成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった、次のような人を求めています。

●求める人物像

- ① 高等学校等時に、真摯な態度で学習や多様な活動に意欲をもって取り組み、大学入学後も他の学生・教職員とともに切磋琢磨しながら、学び続ける意志をもつ人
〔求める要素：関心・意欲・態度、協働性〕
- ② 多様な情報に関心をもち続け、自らの自由な発想でその真偽と活用を主体的に判断しようとする人
〔求める要素：関心・意欲・態度、思考力・判断力、主体性、応用力〕
- ③ 本学の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき文科系・理科系に渡る知識・教養のもと、思考を深めて相手に表現できる人
〔求める要素：知識・教養、思考力・判断力、表現力〕
- ④ 自律して社会や地域の諸問題に意欲をもって立ち向かい、その課題解決策を深く掘り下げて伝えようとする人
〔求める要素：関心・意欲・態度、探究力、表現力〕
- ⑤ 他者の意見を真摯に受けとめ、協働して国際社会や地域社会の発展のために貢献しようとする人
〔求める要素：協働性、幅広い視野、創造性〕

※学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）は、本学ホームページの下記 URL にて公開しています。

https://www.tokushima-u.ac.jp/about/information/education_announce/

各学部、学科（専攻）の入学受入方針（アドミッション・ポリシー）について

※必ずお読みください。

本学では、入学受入方針（アドミッション・ポリシー）を具体的に示しています。すべての学部、学科（専攻）の入学受入方針（アドミッション・ポリシー）は、下記の全項目によって成り立っています。入学を希望される方は、各選抜区分（一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜）における実施教科・科目等と同時に、全項目をしっかりと理解しておいてください。

- 各学部、学科（専攻）でどのような人物を育成するか。
- 求める人物像〔高等学校等で修得すべき具体的な内容を含む〕
入学者に求める能力や資質（学力の3要素*を含めたもの）は何か。
- 入学選抜の基本方針
各々の入学選抜（一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜）でどのような力を評価するか。
- 入学選抜方法における選抜内容^{（注1）}
各々の入学選抜でどのような評価方法を活用するか、またその内容は何か。
- 入学選抜方法における重点評価項目〔入学選抜方法と求める人物像との関係性〕^{（注2）}
各々の入学選抜方法でどのような力に比重を置くか。

（注1）大学入学共通テスト、個別学力検査等で課す教科・科目等の詳細は該当ページを必ず確認してください。「入学受入方針（アドミッション・ポリシー）」では、紙幅の都合上、大学入学共通テストと個別学力検査（教科に関するもの）の具体的な教科・科目を省略しています。

（注2）○印を付している項目（求める人物像）は各入学選抜方法で重点的に評価することを意味します。
○印を付していない項目（求める人物像）を全く評価しないということではありません。
また、各々の入学選抜方法に複数の該当選抜区分を記載しているものがありますが、これは、○印の具体的な評価内容がすべて一律であることを意味するものではありません。

※学力の3要素

- ・知識・技能の確実な習得
- ・知識・技能を基にした思考力、判断力、表現力
- ・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

総合科学部

■社会総合科学科

人文・人間・社会・地域・情報等の諸科学における専門知識や専門技能、技術を身につけるとともに、専門分野の融合を図ることでグローバル化する現代社会の諸問題や地域課題を的確に理解し、問題解決に対応し得る実践的な人材の育成を目的としています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

グローバル化、少子高齢化、健康社会づくり、地域活性化などの社会的課題や地域課題に関心をもち、総合的な視点から問題解決を志向しようとする人。人文科学・人間科学・社会科学・地域科学・情報メディアの分野に関心をもつ人。21世紀型社会の創生に向けて貢献する進取の精神をもつ人

表現力

自分が伝えたいことを的確な表現を用いて相手に示すことのできる人

知識・教養

本学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理系も含めた基礎的な知識・教養を身につけた人
思考力・判断力

今までの知識・教養をもとに思考を深めて適切に判断できる人

協働性

問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれることなく、対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語—文化・社会の理解に求められる読解と表現（作文）に関わる幅広い基礎知識及びコミュニケーション力

英語—グローバル化社会に求められる読解と表現（作文）に関わる幅広い基礎知識及びコミュニケーション力

地歴・公民—日本を含む世界の出来事に対する関心と、諸地域の地理・歴史についての基礎知識

数学、理科—理系分野の基礎的内容を理解し、論理的に考える力

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは「知識・教養」「思考力・判断力」を、個別試験では「表現力」「知識・教養」「思考力・判断力」をそれぞれ評価し選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストでは「知識・教養」「思考力・判断力」を、個別試験では「関心・意欲・態度」「表現力」「思考力・判断力」をそれぞれ評価し選抜します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）＜活動実績重視型＞

書類審査で高等学校等時代での部活動、校外活動、芸術及びスポーツなどのいずれかの分野ですぐれた実績を有する者を評価します。小論文では本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力として「表現力」「思考力・判断力」を評価し、面接では前述の実績をもとにしたリーダー的存在となりうる資質と本学部の教育分野への強い関心と積極性を「関心・意欲・態度」「表現力」の面から評価し、以上を総合して選抜します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）＜英語能力重視型＞

書類審査で英語のすぐれた能力、異文化理解能力を有する者を評価します。小論文では本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力として「表現力」「思考力・判断力」を評価し、英語及び日本語での面接では英語のスピーチや会話によって英語の運用能力に関わる「関心・意欲・態度」「表現力」を評価し、以上を総合して選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す：6(7)教科型）＜主体性・表現力重視型＞

大学入学共通テスト6(7)教科型（国語、地歴・公民、数学、理科、外国語）の採点方式で、広範囲にわたり習熟した「知識・教養」「思考力・判断力」を評価します。書類審査では高等学校等時代での教科、部活動、校外活動で培った「関心・意欲・態度」「協働性」を、面接では入学後に期待される学究的指向性を「関心・意欲・態度」「表現力」の面から、積極性、思考態度、専攻希望領域への意欲、より広い分野への関心の有無及び将来性等の項目について評価し、以上を総合して選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す：4教科型）＜主体性・表現力重視型＞

大学入学共通テスト4教科型（国語、外国語、地歴・公民、数学）の採点方式で、いずれかの科目での高く習熟した「知識・教養」「思考力・判断力」を評価し、書類審査では高等学校等時代での教科、部活動、校外活動で培った「関心・意欲・態度」「協働性」を評価します。面接では、入学後に期待される学究的指向性を「関心・意欲・態度」「表現力」の面から、積極性、思考態度、専攻希望領域への意欲、より広い分野への関心の有無及び将来性等の項目について評価し、以上を総合して選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分*	選 抜 内 容
小論文	一般 (後期) 推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語)	【一般 (後期)】 社会的な課題に関する基礎的な能力 (関心、理解力、表現力) を判定する。 【推薦Ⅰ】 本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力 (論述能力、表現力等) を判定する。
集団面接	推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅱ (6) 推薦Ⅱ (4)	複数の面接担当者による集団面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて集団面接を行い、提出書類などの確認を行う場合がある。
個人面接 (スピーチ等含む)	推薦Ⅰ (英語)	「関心・意欲・態度」「表現力」を、英語によるスピーチの内容、パフォーマンス、質疑応答での英語力、会話・コミュニケーション力に即して判定する。
志望理由書	推薦Ⅱ (6) 推薦Ⅱ (4)	本学部に対する志望動機、本学部の教育分野に対する強い関心、専攻したい領域に対する強い意欲について、高等学校の生活等の状況を踏まえて、評価する。
指定調査書	推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語)	活動実績重視型では、志望理由および高等学校等での教科外活動状況 (部活動・生徒会活動・校外活動、大会・競技会・展覧会等での成績等及び資格・免許等) を評価する。英語能力重視型では、志望理由と英語で記入した課題作文を評価する。
調査書	一般 (前期) 一般 (後期) 推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語) 推薦Ⅱ (6) 推薦Ⅱ (4)	【一般 (前期) (後期)】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅰ・推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語) 推薦Ⅱ (6) 推薦Ⅱ (4)	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

* 該当選抜区分内の「(活動)」は「活動実績重視型」、「(英語)」は「英語能力重視型」、「(6)」は「6(7)教科型」、「(4)」は「4教科型」を示す。

●入学者選抜方法における重点評価項目 [入学者選抜方法と求める人物像との関係性]

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表 現 力	知識・教養	思考力・判断力	協 働 性
共通テスト	一般 (前期) 一般 (後期) 推薦Ⅱ (6) 推薦Ⅱ (4)			○	○	
個別学力検査 < 教 科 >	一般 (前期)		○	○	○	
小論文	一般 (後期) 推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語)	○	○		○	
集団面接	推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅱ (6) 推薦Ⅱ (4)	○	○			
個人面接 (スピーチ等含む)	推薦Ⅰ (英語)	○	○			
志望理由書	推薦Ⅱ (6) 推薦Ⅱ (4)	○				○
指定調査書	推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語)	○		○		○
調査書	一般 (前期) 一般 (後期) ----- 推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語) 推薦Ⅱ (6) 推薦Ⅱ (4)	○		(総合判定の参考)		○

医 学 部

高い責任感、倫理観、ならびに生涯学び続ける意志をもち、国際性と研究能力を兼ね備えながら、基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を实践できる医療人へ成長できる人を求めています。

■医 学 科

医学科では、基本的な臨床能力及び基礎的な医学研究能力を備え、生涯にわたり医療、教育、保健・福祉活動を通じて社会に貢献し、医学の発展に寄与することができる人材を養成することをめざしています。そのため、医学科では、次のような人物を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

医学と生命科学に強い関心があり、自らを振り返りながら生涯学び続ける意欲があり、謙虚な態度で病める人に寄り添い、医学や医療の課題に真摯かつ熱心に対応できる人

知識・教養

本学科の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる知識や教養をもつ人

思考力・判断力

これまでに獲得した知識や教養をもとに思考を深めて適切に判断できる人

表 現 力

自分が伝えたいことを相手の視点に立って適切に表現できる人

主 体 性

自分の意志と判断で社会や地域に対して責任をもって行動できる人

協 働 性

問題解決のために、国籍や日本における各地域、世代、考え方にとらわれることなく、相手の立場や多様性を尊重しながら互いに協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学－基礎的知識・技法と数学的思考法

理 科－物理・化学・生物の基礎的な知識と科学的な自然観・探究心。なお、合格者は、大学入学後に備えて、大学受験における未選択科目の基礎的な知識を再確認しておくこと。

国語・英語－地域社会や国際的分野において医療人として活躍できるための基礎的なコミュニケーション能力、読解力、思考力

地歴・公民－将来、医療人として活躍するために必要な常識的な知識や素養

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価し、個別試験では「関心・意欲・態度」「表現力」をあわせて評価します。学力とともに、生涯にわたり社会に貢献し、医学の発展に寄与する医療人へ成長できる人を総合的に選抜します。

総合型選抜（大学入学共通テストを課す）＜四国研究医型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験ではこれらに加え、「関心・意欲・態度」「表現力」「主体性」「協働性」を評価します。四国研究医型は、四国地区の環境や生活に関心をもちつつ、地域に貢献し、国際性と研究能力を兼ね備えた医師をめざす者を積極的に受入れることとしています。本学科における入学者の多様性は極めて重要です。本学科の資源を最大限に活用し、他の選抜区分で入学する学生の模範となる人物を求めます。よって、医療を通じて四国地区、そして世界に貢献する複合的な視点をもって活躍するリーダー性、そして医学科で学ぶために必要不可欠な資質を深く評価することを目的としています。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜適性と学力重視型（一般枠・地域枠）＞

大学入学共通テストでは「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験では2段階にわたって「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し、「思考力・判断力」「主体性」「協働性」をあわせて評価します。学力とともに、高等学校等段階における多様な能力、関心等を重視し、それらを表現できる人を総合的に選抜します（一般枠、地域枠共通）。地域枠は、「主体性」の評価を綿密に行います。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
総合討論	総合型	総合討論(集団討論に加え、小論文形式の出題やレポート作成を組み合わせた選抜)は下記の手順で実施する。 ①(小論文形式)日本語で書かれた文章や図表等により、記述・論述式の出題を行う。 ②(集団討論)①の解答終了後に出題内容の中の題材による集団討論を行う。 ③(まとめレポート)②の終了時に討論のまとめに関する簡単なレポート作成を行う。
個人面接	総合型 推薦Ⅱ(地域枠)	複数の面接担当者による個人面接を行う。 【総合型】 本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。 【推薦Ⅱ(地域枠)】 地域医療に対して責任を持って行動できる主体性等について評価する。
集団討論	推薦Ⅱ	複数の評価担当者による集団討論を行う。
集団面接	一般(前期) 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による集団面接を行う。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
活動報告書	総合型	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動(部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動)」を評価し、「資格・検定等」の成績を参考にする。 ※作成方法については、「『活動報告書』作成要領」を必ず確認すること。
調査書	一般(前期) 総合型 推薦Ⅱ	【一般(前期)】面接の参考資料とする。 【総合型・推薦Ⅱ】アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
志望理由書	総合型 推薦Ⅱ	医学部医学科を志望する理由・動機、入学後に学びたいこと及び将来への抱負を400字程度で具体的に記述して提出する。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
推薦状	推薦Ⅱ	志願者のスポーツ、文化活動、ボランティア活動又は国際交流等の課外活動の指導者など、直接志願者をよく知っている成人が、推薦理由、課外活動、活動成果、人物(協調性、指導性、忍耐力、責任感など)、その他について記載して提出する。推薦状の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	知識・教養	思考力・判断力	表現力	主体性	協働性
共通テスト	一般(前期) 総合型 推薦Ⅱ		○	○			
個別学力検査 <教科>	一般(前期)		○	○			
総合討論	総合型			○	○		○
個人面接	総合型 推薦Ⅱ(地域枠)	○			○	○	
集団討論	推薦Ⅱ			○	○	○	○
集団面接	一般(前期) 推薦Ⅱ	○			○		
活動報告書	総合型	○				○	○
調査書	一般(前期) 総合型 推薦Ⅱ						
志望理由書	総合型 推薦Ⅱ						
推薦状	推薦Ⅱ						

医 学 部

高い責任感、倫理観、ならびに生涯学び続ける意志をもち、国際性と研究能力を兼ね備えながら、基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を实践できる医療人へ成長できる人を求めています。

■医科栄養学科

『食律生命』の理念のもとに、医学と連携した医科栄養学を通して、高度化する医療と人々の食生活の改善・健康の維持増進に資することができる、次のような人を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

栄養学・医学に強い関心があり、医科栄養学を生涯にわたり学ぶ目標をもつ人

知識・教養

本学科の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる知識や教養をもつ人

思考力・判断力

幅広い視野と柔軟な感性を有し、今までの知識・教養をもとに思考を深めて適切に判断できる人

表 現 力

自分が伝えたいことを相手の視点に立って適切に表現できる人

探 究 力

自分が関心をもったことを深く掘り下げ、その中から新たな課題を発見できる人

協 働 性

問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれることなく、相手の立場や多様性を尊重しながら互いに協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英 語—医学・栄養学の専門的な論文を将来読み、理解できるための読解力と表現力、コミュニケーション能力

数 学—数学の基本的な概念や原理・法則の理解、また計算力と論理的な思考法

理 科—自然科学を理解する基礎学力と科学的な自然観・探究心

国 語—様々な文献の読解力と、自分が伝えたいことを表現できる基礎的な文章力

地歴・公民—将来、良識ある社会人として必要な基本的知識と素養

そ の 他—食生活や医療に対する関心をもち、理論的に科学を思考する能力と姿勢

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価し、個別試験ではこれらに加え「関心・意欲・態度」「表現力」「協働性」を評価します。国内のみならず国際的な視野をもつ人物を求めるため、英語能力に重点を置くとともに、自律的な学びを継続させ実践できる人を総合的に選抜します。また、本学科は入学者の多様性を重視するため、英語能力に重点を置く「英語受験方式」に加え、英語と理科（化学基礎・化学）の総合力に重点を置く「総合受験方式」の2つの方式により入学者選抜を行います。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）＜主体性重視型＞

個別試験で「思考力・判断力」「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し、「協働性」「探究力」「知識・教養」をあわせて総合的に評価します。学校推薦型選抜Ⅰでは、医科栄養学研究に対して、高い主体性をもって行動できる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性と学力重視型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、2段階にわたって「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し、「協働性」「探究力」「思考力・判断力」をあわせて評価します。学力とともに、高等学校等段階における多様な能力、関心等を重視し、それらを表現できる人を総合的に選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
基礎学力考査	推薦Ⅰ	「英語」「数学（数Ⅲを除く。）」の基礎学力の確認（記述式）を行い、高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を判定する。
集団討論	推薦Ⅰ	複数の評価担当者による集団討論を行う。
個人面接	一般（前期） 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行う。 【推薦Ⅰ】 本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、基礎学力考査及び書類審査、集団討論の成績にかかわらず不合格となることがある。 【推薦Ⅱ・一般（前期）】 本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
志望理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	医学部医科栄養学科に志望した動機、理由、入学後の希望等について、詳細に記入して提出する。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
調査書	一般（前期） 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	【一般（前期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅰ・推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	知識・教養	思考力・判断力	表現力	探究力	協働性
共通テスト	一般（前期） 推薦Ⅱ		○	○			
個別学力検査 ＜教科＞	一般（前期）		○	○	○		
基礎学力考査	推薦Ⅰ		○	○			
集団討論	推薦Ⅰ			○	○		○
個人面接	一般（前期）	○			○		○
	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○		○	○	○	
調査書	一般（前期）			（総合判定の参考）			
	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○					○
志望理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ			（面接の参考）			

医学部

高い責任感、倫理観、ならびに生涯学び続ける意志をもち、国際性と研究能力を兼ね備えながら、基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を実践できる医療人へ成長できる人を求めています。

■保健学科

保健・医療・福祉の分野において、人間尊重の倫理に立脚した高い使命感をもち、高度の専門知識・技術を基に、チーム医療、地域医療及び国際的な医療支援に貢献できる人を求めています。

◆看護学専攻

国際化、高度化する医療の発展を支える看護学の知識・技術を修得するために必要な基礎学力を備えるとともに、健康の維持・増進、生活の質を高めるにふさわしい潜在的資質を有する人を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

看護への志向性をもち、人間、生命、健康、医療、環境に強い関心とそれらを学ぶ意欲があり、自己の将来像について明確な目標をもっている人

協働性

お互いの立場や考えを尊重して良好な人間関係を築くことができる人

理解力・表現力

他者の思いや状況を理解し、自分の考えを適切に表現し伝えることができる人

知識・教養

保健・医療・福祉など専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*文科系・理科系にわたる基礎的な知識・教養をもつ人

思考力・判断力

高等学校で身につけた知識・教養をもとに、論理的な思考によって物事を判断し、課題を解決しようとする人

幅広い視野

自分たちが住む地域の保健医療や日常生活に関心を向け、国際的な視野をもちながら多角的に物事をとらえることのできる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語—文章を正しく理解する能力と自分の考えを適切に表現するための作文能力

地歴・公民—基礎学力を有し、社会と人の生活を関連づけて考える姿勢と能力

数学—基本的な知識と計算力及び論理的に思考する能力

理科—自然科学を理解する基礎学力と科学的に思考する能力

外国語—基礎的な読解力・作文力・コミュニケーション能力

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験では、これらに加えて「関心・意欲・態度」「理解力・表現力」も評価します。看護への志向性等を踏まえ、より深い知識とともに、思考をめぐらせて表現できる人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験では、これらに加えて「関心・意欲・態度」「協働性」「理解力・表現力」「幅広い視野」も評価します。知識のみならず、学び意欲や自分で課題を発見し、主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性・表現力重視型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験では、これらに加えて「関心・意欲・態度」「協働性」「理解力・表現力」「幅広い視野」を評価します。高等学校等段階における看護に対する関心や意欲などを重視し、協働性をもった人を総合的に選抜します。

(注) 本専攻では、各選抜で実施する個別学力検査等におけるいずれかの得点が一定水準以下の場合は、合計点のいかにかわらず不合格とします。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
小論文	一般（後期）	保健・医療に関する文章や図表等をもとに論述式の出題を行う。
集団討論	一般（後期） 推薦Ⅱ	複数の評価担当者による集団討論を行う。試験室で提示されたテーマをもとに討論を行う。
集団面接	一般（前期）	複数の面接担当者による集団面接を行う。本専攻が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、可否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
個人面接	一般（後期） 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行う。提出書類などの内容を確認する場合がある。
志望理由書	推薦Ⅱ	本専攻への志望理由について、今までの学生生活等の状況を踏まえて、300～400字で簡潔に作成して提出する。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 面接の参考資料とする。 【推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像との関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	協働性	理解力・表現力	知識・教養	思考力・判断力	幅広い視野
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ				○	○	
個別学力検査 ＜教科＞	一般（前期）				○	○	
小論文	一般（後期）			○		○	○
集団討論	一般（後期） 推薦Ⅱ	○	○	○			○
集団面接	一般（前期）	○		○			
個人面接	一般（後期） 推薦Ⅱ	○		○			
調査書	一般（前期） 一般（後期） ----- 推薦Ⅱ				(面接の参考)		○
志望理由書	推薦Ⅱ				(面接の参考)		

医 学 部

高い責任感、倫理観、ならびに生涯学び続ける意志をもち、国際性と研究能力を兼ね備えながら、基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を実践できる医療人へ成長できる人を求めています。

■保健学科

保健・医療・福祉の分野において、人間尊重の倫理に立脚した高い使命感をもち、高度の専門知識・技術を基に、チーム医療、地域医療及び国際的な医療支援に貢献できる人を求めています。

◆放射線技術科学専攻

先進的な放射線科学を修得するために必要な理数系の基礎学力に優れ、医学に対する幅広い知識の修得を積極的に行い、医療人としての豊かな人間性とチームワーク精神を自ら高め、診療放射線技師資格取得をめざす明確な目的意識をもった、医療の発展に寄与できる資質を有する人を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

放射線科学、生命、健康、医療に対する強い関心とそれらを学ぶ意欲があり、自己の能力を高めるための努力を惜しまない人

思考力・判断力・表現力

論理的な思考によって物事を理解し、適切な判断ができ、相手の視点に立って表現できる人

応 用 力

将来の技術革新に対応できる人

協 働 性

お互いの立場や考えを尊重して良好な人間関係を築くことができる人

知識・教養

本専攻の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる基礎的な知識・教養をもつ人

幅広い視野

国際的な視点から地域社会の視点に至るまで、幅広い視野で課題の解決に取り組める人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」における内容の理解、計算力及び論理的に思考する能力

理 科—「物理基礎」、「物理」における内容の理解、自然科学を理解する基礎学力と科学的に思考する能力
外国語、国語—基礎的な読解力・作文力・コミュニケーション能力

地 歴・公 民—将来、地域や国際社会で医療人として、また、良識をもった人間として活躍するために必要な知識や素養

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」、「知識・教養」を評価し、個別試験ではこれらに加えて「関心・意欲・態度」「表現力」「応用力」「協働性」「幅広い視野」も評価します。自然科学を理解する基礎学力に優れ、豊かな人間性ととも論理的に判断・行動する資質をもつ人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」、「知識・教養」を評価し、個別試験では、「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「応用力」「協働性」「幅広い視野」を総合的に評価します。知識のみならず、思考を巡らせて表現できる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性重視型＞

大学入学共通テストでより深い「思考力・判断力」、「知識・教養」を評価し、個別試験では、「関心・意欲・態度」「協働性」「幅広い視野」「思考力・判断力・表現力」を総合的に評価します。高等学校等段階における多様な能力、関心などを重視し、それを表現できる人を総合的に選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
小論文	一般（後期）	保健・医療に関する文章や図表等をもとに論述式の出題を行う。
集団面接	一般（前期）	複数の面接担当者による集団面接を行う。なお、本専攻が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
個人面接	一般（後期） 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行う。 【一般（後期）】 アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行う。提出書類などの内容を確認する場合がある。 【推薦Ⅱ】 本専攻が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
志望理由書	推薦Ⅱ	本専攻への志望理由について、今までの学生生活等の状況を踏まえて、400字程度で簡潔に作成して提出する。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 面接の参考資料とする。 【推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況を踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像との関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	思考力・判断力	応用力	協働性	知識・教養	幅広い視野
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ		○			○	
個別学力検査 < 教 科 >	一般（前期）		○	○		○	
小論文	一般（後期）	○	○	○			○
集団面接	一般（前期）	○	○		○		○
個人面接	一般（後期） 推薦Ⅱ	○	○		○		○
調査書	一般（前期） 一般（後期） ----- 推薦Ⅱ			(面接の参考)			
志望理由書	推薦Ⅱ	○			○		○
				(面接の参考)			

医学部

高い責任感、倫理観、ならびに生涯学び続ける意志をもち、国際性と研究能力を兼ね備えながら、基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を実践できる医療人へ成長できる人を求めています。

■保健学科

保健・医療・福祉の分野において、人間尊重の倫理に立脚した高い使命感をもち、高度の専門知識・技術を基に、チーム医療、地域医療及び国際的な医療支援に貢献できる人を求めています。

◆検査技術科学専攻

医学ならびに医療に対する関心が高く、国際的な視野と豊かな人間性をもち、医療人として臨床検査技術を身につけ、応用できる能力を育成するために必要な学力を有する人を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

生命科学や医学、医療に強い関心があり、自分で明確な目標をもって意欲的に学習に取り組める人

探究力

好奇心旺盛で、自分の興味があることについて徹底的に探究しようとする人

表現力

集団の中で自分の意見をはっきりと伝えることができる人

知識・教養

高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる基礎的な知識・教養をもつ人

思考力・判断力

自分のもっている知識や教養をもとに考慮して、客観的に適切な判断ができる人

協働性

問題解決のために対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理 科—「化学」、「生物」及び「物理」の幅広い知識と科学的な探究心

数 学—数学の基本的な概念や原理・法則の理解、また計算力と論理的な思考法

外国語、国語—地域社会や国際的な分野において活躍するための基礎的なコミュニケーション能力・読解力

地 歴・公 民—将来、良識ある社会人として地域で活躍するために必要な基本的な知識と素養

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価し、個別試験では深い思考力や幅広い知識、さらに当専攻への関心・意欲等を明確に示すことができる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性・表現力重視型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、「探究力」「表現力」「関心・意欲・態度」「協働性」を評価します。学ぶ意欲や自分で課題を発見し、自主的に判断・行動できる確かな資質をもつ人を選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
集団面接	推薦Ⅱ	複数の面接担当者で集団面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行う。提出書類などの内容を確認する場合がある。
志望理由書	一般（前期） 推薦Ⅱ	<p>【一般（前期）】 本専攻への志望理由について、今までの学生生活等の状況を踏まえて、400字以内で簡潔に「志望理由書」を作成して提出する。調査書及び「志望理由書」を参考にしつつ、アドミッション・ポリシーに基づいて総合的に評価を行い、合否を判定する。</p> <p>【推薦Ⅱ】 本専攻への志望理由について、これまで学んできた環境や関心事などを考慮して、400字以内で簡潔に作成して、提出する。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。</p>
調査書	一般（前期） 推薦Ⅱ	<p>【一般（前期）】 総合判定の参考とする。</p> <p>【推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。</p>
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	探究力	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性	
共通テスト	一般（前期） 推薦Ⅱ				○	○		
個別学力検査 ＜ 教 科 ＞	一般（前期）				○	○		
集団面接	推薦Ⅱ	○	○	○			○	
調査書	一般（前期）	(総合判定の参考)						
	推薦Ⅱ	○	○				○	
志望理由書	一般（前期）	(総合判定の参考)						
	推薦Ⅱ	(面接の参考)						

歯 学 部

豊かな人間性を基盤として、医療・保健・福祉を通して健康長寿の推進への情熱と、教育・研究を通して人類の知を
発展させる意欲にあふれた人材に成長できる人物を求めています。

■歯 学 科

生命科学に興味と情熱をもち、人間的な優しさをそなえた歯科医師・歯学研究者をめざす、次のような人物を求
めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

- ・患者の立場を理解できる豊かな人間性をもつ人
- ・歯科医療の発展への情熱をもち、生涯にわたって貢献しようと考えている人
- ・歯科医療で国際的な活動をしたいと思っている人
- ・歯科医学に関係する研究に関心をもち、新しい発見や治療法の開発に貢献したいと思っている人

表 現 力

自分の意見や考えを相手に伝えることができる人

知識・教養

本学科で歯科医学を学び、生涯にわたって学びを継続するために、高等学校等で修得すべき*理科系・文科系に
わたる基礎的な知識と教養をもつ人

思考力・判断力

広い視野と論理的思考をもって行動できる人

協 働 性

オープンマインドな姿勢で他者と協力して課題に取り組める人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英語、国語－新聞や書籍（英文も含む）等を積極的に熟読し、読解力や論理的思考力を身につける。

理 科－理科は化学、物理および生物の知識がすべて必要となり、大学受験で選択した以外の理科の科目に
ついては修得が必要です。合格者には、入試で選択しなかった科目を学習してもらうため、入学ま
でに取り組むべき課題を提供する予定です。

数 学－高等学校等で履修した数学を再確認し、数学的思考ができるようにする。

地歴・公民－社会全般（高校で履修しなかった教科も含む）にわたって興味をもち、世界的視点から日本の文化、
思想、制度、歴史及び地理について考察できるようにしておく。

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験では「思考力・判断力」「知識・
教養」「関心・意欲・態度」「協働性」「表現力」を評価します。知識のみならず、学ぶ意欲や自分で課題を発見
し、主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に評価し選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では「思考力・判断力」「協
働性」を重点的に評価し、「関心・意欲・態度」「表現力」を合わせて評価します。優れた思考力に基づいてみ
ずから課題を発見し、協働して解決できる人を総合的に評価し選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性・表現力重視型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では2段階に渡って「関
心・意欲・態度」「表現力」「思考力・判断力」「協働性」を重点的に評価します。高等学校等段階における多様
な能力、歯科医学に対する高い関心・適応性、意欲等を重視し、それを深く表現できると同時に、協働性に富
む人を総合的に評価し選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
小論文	一般（後期）	日本語及び英語で書かれた文章や図表等をもとに、現代の社会における諸問題について考察し、みずからの考えを表現する出題を行う。
個人面接	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行い、提出書類等の確認をする場合がある。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
集団討論	推薦Ⅱ	提示されるテーマ（医療や健康に関する現代の社会の諸問題）に関して討論を行い、結論を導く。その過程を複数の担当者により評価する。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団討論では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト等の成績にかかわらず不合格となることがある。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅱ】 面接の参考とする。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。
志望理由書	推薦Ⅱ	本学科への志望理由について、今までの学生生活等の状況を踏まえて、800字程度で作成して提出する。参考資料として面接時の評価にも用いる。

●入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表 現 力	知識・教養	思考力・判断力	協 働 性
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ			○	○	
個別学力検査 ＜ 教 科 ＞	一般（前期）			○	○	
小論文	一般（後期）	○	○		○	
個人面接	一般（前期）	○	○			○
	一般（後期）					
	推薦Ⅱ	○	○			
集団討論	推薦Ⅱ		○		○	○
調査書	一般（前期）	(総合判定の参考)				
	一般（後期）					
	推薦Ⅱ	(面接の参考)				
志望理由書	推薦Ⅱ	(面接の参考)				

歯 学 部

豊かな人間性を基盤として、医療・保健・福祉を通して健康長寿の推進への情熱と、教育・研究を通して人類の知を
発展させる意欲にあふれた人材に成長できる人物を求めています。

■口腔保健学科

人間的な優しさを持ち、口腔保健及び福祉の専門知識と技能を身につけ健康長寿の推進に貢献できる、次のよう
な人物を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

- ・学習意欲・好奇心が旺盛で、チャレンジ精神のある人
- ・歯や口の健康に興味を持ち、歯科の病気の予防に貢献したいと考える人
- ・高齢者や障害者などに関する現代社会・地域社会の諸問題を見据え、その解決に貢献したいと考える人

表 現 力

自分の考えや意見を論理的に説明できる人

知識・教養

本学科の専門分野を学び、将来にわたって学びを継続するために、高等学校等で修得すべき*全領域の科目にわ
たる知識・教養をバランスよくもつ人

思考力・判断力

今までの知識・教養をもとに思考を深めて適切に判断できる人

協 働 性

チーム医療における問題解決のために、職種や世代、考え方にとらわれることなく、対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英 語－基礎的なコミュニケーション能力や読解力を身につけておく。

理 科－理科の学習を通じて自然科学に深い関心を持ち、その基礎的な考え方を身につけておく。

国 語－国語の学習を通じて、現代人としての常識的な知識とともに、日本語による論理的な記述力やコ
ミュニケーション能力を身につけておく。

数 学－単に公式を暗記し問題に当てはめるだけではなく、論理的な思考を展開するために必要な理解力と
応用力を身につけておく。

地歴・公民－地歴・公民に広く関心を持ち、多様な価値観や世界観、考え方があることを理解しておく。

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験では「思考力・判断力」「知識・
教養」「関心・意欲・態度」「表現力」「協働性」を評価します。知識のみならず、学ぶ意欲や、自分で課題を発
見し、主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価します。個別試験では個人面接を行
い、口腔保健に対する「関心」や「意欲」、さらには「協働性」を評価し、それを表現できる人を総合的に選抜
します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性・表現力重視型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、2段階に渡って
「関心・意欲・態度」「表現力」「思考力・判断力」「協働性」を重点的に評価します。高等学校等段階における
多様な能力、口腔保健に対する「関心」や「意欲」を重視し、それを深く表現できると同時に協働性に富む人
を総合的に評価し選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
個人面接	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行い、提出書類等の確認をする場合がある。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
集団討論	推薦Ⅱ	複数の評価担当者による集団討論を行う。提示されたテーマをもとに討論を行う。集団討論では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト等の成績にかかわらず不合格となることがある。
活動報告書	推薦Ⅱ	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動（部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動）」を評価し、「資格・検定等」の成績を参考にする。 ※作成方法については、「『活動報告書』作成要領」を必ず確認すること。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅱ】 面接の参考とする。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像との関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表 現 力	知識・教養	思考力・判断力	協 働 性
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ			○	○	
個別学力検査 < 教 科 >	一般（前期）			○	○	
個人面接	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	○	○			○
集団討論	推薦Ⅱ		○		○	○
活動報告書	推薦Ⅱ	○				
調査書	一般（前期） 一般（後期） ----- 推薦Ⅱ			(総合判定の参考)		
				(面接の参考)		

薬 学 部

■薬 学 科

薬学を基盤とし、薬剤師・研究者・教育者として、薬物療法・医薬品創製およびそれに資する科学全体の向上に、情熱・倫理観・使命感をもって貢献できる人材を求めています。薬学部の教育方針は、多様な薬学分野を基盤とした幅広い知識と技能を身につけ、薬学を含む種々の職能領域と相互連携しうる能力をもち、自ら活躍できる場を積極的に開拓できる可能性をもった人材（インタラクティブ YAKUGAKUJIN）を育成することです。したがって、既成概念にとらわれない柔軟な思考能力をもち、向学心に満ち、未踏分野の開拓精神に溢れた人材を募集します。

●求める人物像

関心・意欲・態度

薬学にかかわる広範な領域に強い関心とそれらの学びに対する意欲があり、自ら未踏分野を開拓しようとする姿勢・態度を有する人

探 究 力

自分が関心をもったことを深く掘り下げて探究し、その中から新たな問題・課題を発見できる人

表 現 力

自分が伝えたいことを適切かつ簡潔に、相手の立場に配慮して表現できる人

知識・教養

薬学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*基礎的かつ広範な知識や教養を有する人

思考力・判断力

修得した知識・教養・技能を基盤に、思考を深化・展開させ、科学的エビデンスに基づいて未知の課題に対して適切な解を判断できる素養を有する人

協 働 性

多職種の人と協働して活躍できる素養を有する人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理 科—化学および基礎的な物理・生物の知識

数 学—理系数学についての基本的な知識・技能と論理的思考法

英語、国語—基礎的な読解力・表現力・発信力・コミュニケーション能力

そ の 他—将来、薬剤師・研究者・教育者として活躍するためには、上記以外の科目もあそそかにせず、また部活やボランティア等、様々な活動に積極的に取り組むことで、幅広い視野と高い倫理観、豊かな人間性を育ててもらいたい。

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、これらに加え「関心・意欲・態度」「表現力」「協働性」を評価します。幅広い知識を基盤に柔軟な科学的思考のできる人を求めるとともに、豊かな人間性と倫理観のある人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、これらに加え「関心・意欲・態度」「表現力」「協働性」を評価します。幅広い知識を持ち、化学の学力が顕著な人を求めます。

本学部の教育方針への理解・学ぶ意欲等を深く評価するため集団面接と志望理由書を課し総合的に選抜します。学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜創薬研究者育成型（長井枠）＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、「関心・意欲・態度」「探究力」「表現力」「思考力・判断力」「協働性」を評価します。徳島大学薬学部は、日本薬学の開祖である長井長義博士の進言により、「薬の創製（創薬）」を目的として設立されました。したがって「薬の創製（創薬）」に伝統をもち、創薬研究者を育成する環境を有することに強みがあります。創薬研究者育成型（長井枠）は、創薬に強い関心を示すとともに、高等学校等時に意欲的に取り組んだ主体的な活動を活かし世界に通用する創薬研究者をめざす人を求めます。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜先導的地域医療薬剤師育成型（地方貢献枠）＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、「関心・意欲・態度」「探究力」「表現力」「思考力・判断力」「協働性」を評価します。徳島大学薬学部は、世界に通用する創薬研究者・高度医療薬剤師の育成に加えて、地域医療を担う薬剤師の育成機能を有しています。先導的地域医療薬剤師育成型（地方貢献枠）は、薬剤師の不足する地域の医療を担う薬剤師のリーダーとして社会に貢献する人を求め、世界と地方を繋ぐ多様な入学者の受け入れを行います。

※本選抜はいわゆる「地域枠」ではありません。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
論述レポート	推薦Ⅱ (長)	薬学に関連する講義を聞き、論述形式のレポートを作成する (全て日本語)。
小論文	推薦Ⅱ (地)	日本語で書かれた文章や図表等により、記述・論述式の出題を行う。
集団面接	一般 (前期) 一般 (後期)	複数の面接担当者による集団面接を行い、提出書類等の確認をする場合がある。本学部が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、可否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
個人面接	推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)	アドミッション・ポリシーに基づいて複数の面接担当者により個人面接を行う。提出書類や論述レポートもしくは小論文の内容の確認を行う場合がある。
志望理由書	一般 (後期)	本学部への志望理由について、これまでの学生生活等の状況を踏まえて、800字から1,000字で簡潔に記述して提出する。アドミッション・ポリシーに基づいて評価を行い、可否を判定する。
学びの設計書	推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)	【長井枠】 大学入学から大学院を経て創薬研究者までを繋ぐ設計書を作成する。自分がこれから学びたい分野とその理由を含めて、800字から1,000字で簡潔に記述して提出する。面接時に参考資料として用いる。 【地方貢献枠】 大学入学から大学院を経て地方もしくは薬剤師の不足する地域に貢献する薬剤師までを繋ぐ設計書を作成する。自分がこれから学びたい分野とその理由を含めて、800字から1,000字で簡潔に記述して提出する。面接時に参考資料として用いる。
活動報告書	推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動 (部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動)」「資格・検定等 (参考)」を評価する。 ※作成方法については、「『活動報告書』作成要領」を必ず確認すること。
調査書	一般 (前期) 一般 (後期) 推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)	【一般 (前期) (後期)】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅱ (長井枠) (地方貢献枠)】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目 [入学者選抜方法と求める人物像との関係性]

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	探究力	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
共通テスト	一般 (前期) 一般 (後期) 推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)				○	○	
個別学力検査 <教科>	一般 (前期) 一般 (後期)			○	○	○	
論述レポート	推薦Ⅱ (長)		○	○	○	○	
小論文	推薦Ⅱ (地)			○		○	
集団面接	一般 (前期) 一般 (後期)	○		○			○
個人面接	推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)	○	○	○			○
志望理由書	一般 (後期)	○					
学びの設計書	推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)		○	○			
活動報告書	推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)	○	○				
調査書	一般 (前期) 一般 (後期) ----- 推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)					(総合判定の参考)	
		○					○

* 該当選抜区分内の「(長)」は「創薬研究者育成型 (長井枠)」、「(地)」は「先導的地域医療薬剤師育成型 (地方貢献枠)」を示す。

理工学部

■理工学科

自ら課題を探究し、未知の問題に対して俯瞰的視野から総合的な判断を下すことができる能力を兼ね備え、科学技術のイノベーションに柔軟に対応しながらグローバルに活躍できる理工系人材を養成します。そのため、理工学部理工学科では、次のような人物を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

科学技術の両輪となる理学と工学を融合した理工学の各専門分野に強い関心と学びに対する意欲があり、明確な目標をもっている人

表現力

自分が伝えたいことを相手に表現できる人

知識・教養

本学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる基礎的な知識や教養をもつ人
思考力・判断力

今までの知識・教養をもとに、広い視野で論理的に思考を深めて適切に判断できる人

主体性・創造性・協働性

多様な経験をもとに、主体的に創造性豊かな発想ができる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」における内容の理解と数学的思考力
理 科—「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」（受験者が入学試験で利用する科目）における内容の理解と科学的思考力

国語、英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力

そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、倫理、政治・経済、現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「知識・教養」と「思考力・判断力」を評価します。一般選抜では、理工学部1学科制のもと、俯瞰的視野を有して学び続ける意欲をもつ入学者を求めるとともに、入学者の主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。入学後の教養教育・専門教育に対応できる幅広い知識と理数系に対する深い思考力をもつ人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「知識・教養」と「思考力・判断力」を評価します。一般選抜では、理工学部1学科制のもと、俯瞰的視野を有して学び続ける意欲をもつ入学者を求めるとともに、入学者の主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。入学後の教養教育・専門教育に対応できる幅広い知識と理数系に対する深い思考力、さらに本学科の志望領域への関心・意欲等を明確に示すことができる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

<次世代光フロンティア入試>

光システムコースへの入学希望者を対象に、個別試験で「関心・意欲・態度」と「知識・教養」を重点的に評価し、「表現力」と「主体性・創造性・協働性」を合わせて総合的に評価します。本選抜においては、発光・受光素子、光材料、光情報、生体光学など次世代光科学に関する研究に強い関心とそれを学ぶために必要な基礎学力をもつとともに、将来、光科学を通じて生活を豊かにすることへ意欲を有する入学者の受入を目的としています。

<理工学経験重視型入試（工業に関する学科を対象）>

個別試験で「関心・意欲・態度」と「知識・教養」を重点的に評価し、「表現力」と「主体性・創造性・協働性」を合わせて総合的に評価します。高い主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。本選抜においては、工業に関する学科を卒業見込とする者を対象とし、各専門分野への強い関心と必要な基礎学力をもつとともに、多様で創造性のある実習経験等が豊富な入学者の受入を目的としています。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）<主体性・創造性重視型>

大学入学共通テストで「思考力・判断力」と「知識・教養」を評価します。個別試験では、2段階にわたって「関心・意欲・態度」と「主体性・創造性・協働性」を重点的に評価し、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を合わせて総合的に評価します。高い主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。高等学校等段階における多様な経験をもとに柔軟に対応できる力を重視するとともに、各専門分野への強い関心を表現できる人を総合的に選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
志望調書	一般（後期）	試験実施日当日（個別学力検査（数学）終了後）において、志望するコースへの志望理由等に関連したテーマ・内容1題を提示し、志望調書を作成して提出する。資料の持込は認めない。アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
個人面接 （口頭試問含む）	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行い、提出書類等の確認をする場合がある。また、高校の基礎学力や理解力を確認するため、口頭試問を行う場合がある（口頭試問の詳細は推薦Ⅰ・推薦Ⅱにおける推薦要件及び選抜方法等の該当ページを参照）。なお、推薦Ⅱにおいては第1次選考の結果により、面接を免除する場合がある。
活動報告書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動（部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動）」を評価する。また、推薦Ⅰ・次世代光フロンティア入試においては「資格・検定等」を併せて評価し、推薦Ⅰ・理工学経験重視型入試においては「意欲的に取り組んだ活動」で工業に関する学科特有の活動実績を評価し、「資格・検定等」の成績を参考にする。 ※作成方法については、『活動報告書』作成要領を必ず確認すること。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅰ・推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。
志望理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	志望するコースへの志望理由を300～400字程度で簡潔に作成して提出する。志望理由書は本人の自筆で記入すること。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。

●入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表 現 力	知識・教養	思考力・判断力	主体性・創造性・協働性
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ			○	○	
個別学力検査 < 教 科 >	一般（前期） 一般（後期）			○	○	
志望調書	一般（後期）	○				
個人面接 （口頭試問含む）	推薦Ⅰ	○	○	○		
	推薦Ⅱ	○	○	○	○	
活動報告書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○				○
調査書	一般（前期） 一般（後期）			（総合判定の参考）		
	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○				○
志望理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ			（面接の参考）		

生物資源産業学部

■生物資源産業学科

生物資源産業学部では、バイオテクノロジーを応用した生物資源の生産、医薬、食品としての有効利用に関連する幅広い知識、国際的に通用する専門性、バイオ産業創出に必要な起業マインドをもった人材の育成を目的としています。そのため、生物資源産業学部では、次のような人物を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

バイオテクノロジー、生命、医療、食料、農業、環境に強い関心と学びに対する意欲があり、自分で明確な目標を定めることができる人

探究力

興味や関心を持った科学的事象を深く掘り下げることができる人

表現力

自分が伝えたいことを相手の視点に立って適切に表現できる人

知識・教養

本学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる知識・教養をもつ人

思考力・判断力

幅広い知識と教養、多くの経験をもとに深く思考し、適切に判断できる人

協働性

問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれることなく、対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理 科—化学および基礎的な物理、生物の知識

数 学—理系数学についての基本的な知識・技能と論理的思考法

英 語—国際的な専門分野を学ぶために必要な読解力と基礎的な運用能力

国 語—様々な文献の読解力と、自分が伝えたいことを表現できる基礎的な文章力

地歴・公民—地歴・公民における基礎的内容の理解

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験ではこれらに加えて「表現力」「関心・意欲・態度」を評価します。知識のみならず、学ぶ意欲や自分で課題を発見し、主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価し、個別試験ではこれらに加えて「探究力」「表現力」を評価します。より深い知識とともに、思考を巡らせて表現できる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）〈地方創生型〉

学校推薦型選抜Ⅰでは、地方創生に意欲をもつ入学者の受け入れを目的としており、「地域産業振興枠」と「専門学校・総合学科全国枠、地域枠」があります。いずれの枠も大学入学共通テストを課さず、個別試験のみで選抜します。個別試験では「関心・意欲・態度」「表現力」「知識・教養」「思考力・判断力」を重点的に評価し、「探究力」「協働性」をあわせて総合的に評価します。

<地域産業振興枠>

自らの住む地域に愛着を持ち、地域の生物資源を利用する産業を発展させる創造的活動をめざす入学者の受け入れを目的としています。本枠は、学科（普通科や専門教育を主とする学科等）の指定や地域の限定を行わず広く募集します。

<専門学校・総合学科全国枠、地域枠>

地域の1次産業や6次産業の担い手としての活動をめざす入学者の受け入れを目的としています。本枠は、（各地域の産業界と結びつきの強い専門教育を受けた）専門学校・総合学科を対象とし、「全国枠」および「地域枠」により募集します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）〈主体性・表現力重視型〉

4教科の大学入学共通テストでより深い「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。調査書、活動報告書から「関心・意欲・態度」「協働性」を、学びの設計書から「探究力」「表現力」を評価します。高等学校等段階における多様な能力、関心等を重視し、それを表現できる人を総合的に選抜します。

各学部・学科（専攻）の「求める人物像」は、P64～P85を確認してください。
なお、「知識・教養」で示す「高等学校等で習得すべき具体的な内容」については、次の各選抜においては参考としてご覧ください。

帰国生徒選抜

●入学者選抜の基本方針

【総合科学部】

小論文では本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力として「知識・教養」「表現力」「思考力・判断力」ならびに日本語の能力を評価、また、英語能力試験の成績で英語の能力を評価します。面接では入学後に期待される学究的指向性を「関心・意欲・態度」の面から評価し、以上を総合して選抜します。

社会人選抜

●入学者選抜の基本方針

【総合科学部】

小論文では本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力として「知識・教養」「表現力」「思考力・判断力」を、評価します。面接では出願書類及び英語能力試験の成績を参考にしながら入学後に期待される学究的指向性を「関心・意欲・態度」の面から評価し、以上を総合して選抜します。

【医学部保健学科看護学専攻】

個別試験（小論文）で「基礎学力」「理解力・表現力」「思考力・判断力」「幅広い視野」を評価します。これに加えて面接で「関心・意欲・態度」「協働性」「理解力・表現力」を評価します。英語能力は英語能力試験の成績で評価します。経験を活かし、健康の維持・増進、生活の質を高めるにふさわしい確かな資質を有する人を総合的に選抜します。

【理工学部】

出願書類で「関心・意欲」と「知識・教養」を評価し、面接では左記の外「態度」「表現力」「主体性・創造性・協働性」を加えて総合的に評価します。主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。

私費外国人留学生選抜

●入学者選抜の基本方針

【総合科学部】

英語能力試験、独立行政法人日本学生支援機構の実施する日本留学試験によって、英語及び日本語のすぐれた能力ならびに「知識・教養」を評価します。小論文では本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力として「知識・教養」「表現力」「思考力・判断力」を評価します。面接では日本語の能力と「表現力」「思考力・判断力」に加えて、入学後に期待される学究的指向性を「関心・意欲・態度」の面から評価し、以上を総合して選抜します。

【医学部医学科】

個別学力検査で「知識・教養」「思考力・判断力」とあわせて「関心・意欲・態度」「表現力」「主体性」を評価します。日本で学ぶ意欲が高く、医学や生命科学に強い関心を持つ人材を総合的に選抜します。

【医学部保健学科看護学専攻】

日本留学試験で「日本語の語学力」「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、これに加えてTOEFLの成績を利用し「語学力」を評価します。さらに、小論文では「関心・意欲・態度」「理解力・表現力」「幅広い視野」も評価します。学ぶ意欲や自分で課題を発見し、主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に選抜します。

【医学部保健学科放射線技術科学専攻】

日本留学試験で「日本語の語学力」「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験でこれらに加えて「関心・意欲・態度」「応用力」「協働性」「幅広い視野」を評価します。自然科学を理解する基礎学力に優れ、論理的に判断・行動する資質をもつ人を総合的に選抜します。

【医学部保健学科検査技術科学専攻】

日本留学試験で「日本語の語学力」、「思考力・判断力」、「知識・教養」を評価します。これに加えて個別試験で「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個人面接で「探求力」「表現力」「関心・意欲・態度」「協働性」を評価します。学ぶ意欲や自分で課題を発見し、自主的に判断・行動できる確かな資質をもつ人を選抜します。

【歯学部歯学科】

日本留学試験、TOEFL および個別学力検査で入学後の学習に必要な「思考力・判断力」「知識・教養」を備えているかを評価します。また、面接で「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し、「協働性」を合わせて評価します。日本文化に強い関心を持つと同時にグローバルな視点からの発想力を備え、それを日本人学生と共有して課題を発見し、協働して解決できる人を総合的に評価し選抜します。

【薬学部】

日本留学試験等の成績で「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、これらに加え「関心・意欲・態度」「表現力」「協働性」を評価します。

【理工学部】

小論文で「関心・意欲」「知識・教養」「思考力・判断力」「表現力」を評価し、面接では左記の外「態度」「主体性・創造性・協働性」を合わせて総合的に評価します。主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。

【生物資源産業学部】

TOEFL 及び日本留学試験によって、英語及び日本語の能力ならびに「知識・教養」を考査します。小論文では「知識・教養」「表現力」「思考力・判断力」を、面接では日本語の能力と「表現力」「思考力・判断力」「関心・意欲・態度」を総合的に評価し選抜します。

位置図



常三島キャンパス

総合科学部
理工学部、生物資源産業学部

徳島市南常三島町1丁目1番地
徳島市南常三島町2丁目1番地

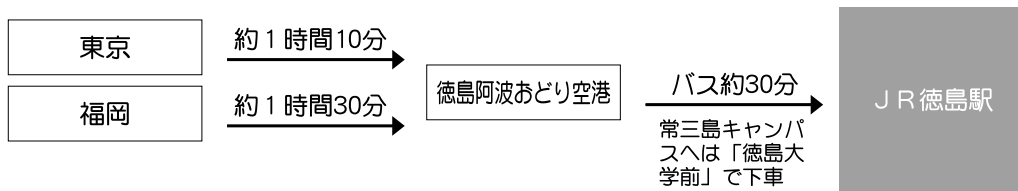
蔵本キャンパス

医学部、歯学部
薬学部

徳島市蔵本町3丁目18番地の15
徳島市庄町1丁目78番地の1

交通アクセス

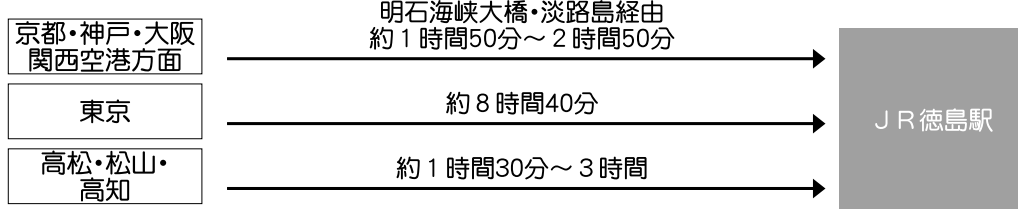
■航空機利用の場合



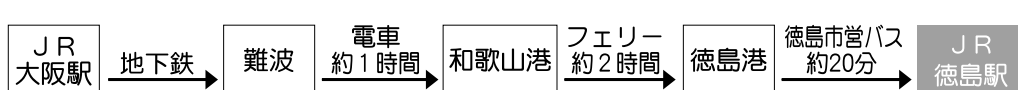
■鉄道利用の場合



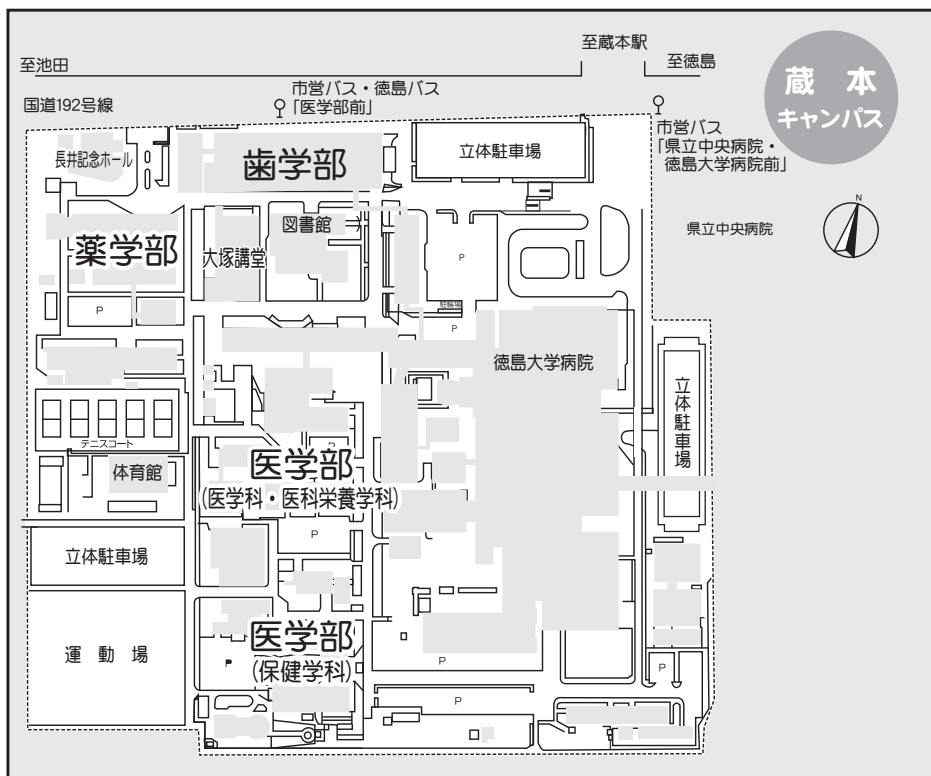
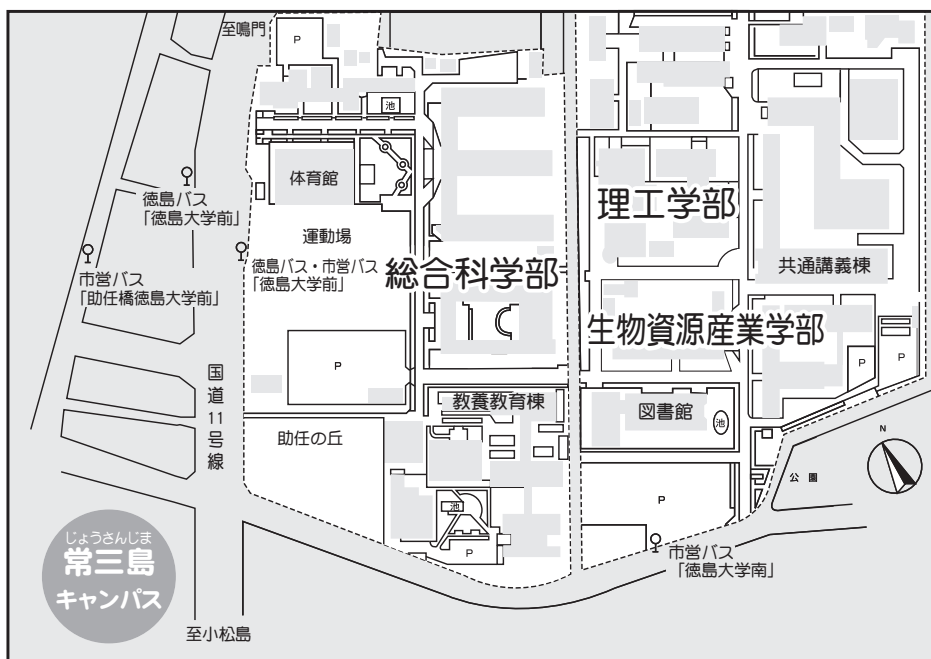
■バス利用の場合



■フェリーボート利用の場合



キャンパスマップ



徳島駅から各キャンパスへのアクセス



総合科学部
理工学部
生物資源産業学部

徳島市営バス

「助任橋・徳島大学前」
「徳島大学前」

下車
徒歩 5分



医学部
歯学部
薬学部

徳島市営バス

「県立中央病院・
徳島大学病院前」
「医学部前」

下車
徒歩 2分

徳島大学
受験生サイト

■ 大学案内・選抜要項等の請求方法

■ オープンキャンパス案内

■ 試験実施状況

■ その他、各種入試情報を時期に応じてお知らせしています。

ホームページ <https://www.tokushima-u.ac.jp/admission/>



問い合わせ先

〒770-8501 徳島市新蔵町2丁目24番地

徳島大学入試課

受付時間：
月～金曜（祝日を除く。）
8:30～17:00

Tel 088-656-7091 E-mail nyuinfo@tokushima-u.ac.jp

■ 学部・学科等に関する事項

教養教育（学務部教育支援課） Tel 088-656-7308

総合科学部 Tel 088-656-7108

医学部

医学科・医科栄養学科 Tel 088-633-7028・7029

保健学科 Tel 088-633-9009

歯学部 Tel 088-633-7310

薬学部 Tel 088-633-7247

理工学部 Tel 088-656-7315・7317

生物資源産業学部 Tel 088-656-8021